

淡緑色であるが赤色を帯びたるものもあり、用途は主として製油原料に供せらる。

◎輸入税率

大麻子、亞麻子共に無税

◎主要生産者

本邦に於ては織物の原料に供する纖維採取の目的を以て栽培するものが殆んど全部にして、種子の生産は

二二、棉 子

棉の種子は不整なる隋圓形をなし直徑五ミリ乃至八ミリである。本品の世界的産地はヨーロッパ南部地方北米、アジア、アフリカ、西印度地方、支那等にして、本邦に於ては棉の生産はあるが殆んど全部綿纖維の採取を目的とし、種子の採取を目的とせるものは殆んどなく、従つて棉子の生産は極く少量に過ぎずして大部分支那方面より輸入さる。

◎輸入税率

無税

本邦に於ける生産は少量にして主要生産者として特掲すべき者なし。

◎主要輸入者

- 三井物産株式会社 (東京)
- 三菱商事株式会社 (シ)
- 小津武林起業株式会社 (大阪)
- 株式会社岩井商店 (シ)
- 長瀬商會 (神戸)

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	597,855貫	992,441圓	490,523擔	1,820,644圓
11	500,218	760,140	301,255	1,178,192
12	401,741	621,917	423,460	1,729,855
13	483,011	782,967	342,874	1,392,222
14	360,939	606,247	634,875	2,868,968
昭和1	259,635	382,391	955,992	3,963,898
2	254,411	359,903	929,804	3,447,913
3	218,052	283,250	1,193,595	4,905,856
4	209,780	274,985	1,630,661	6,380,961
5	241,055	295,649	1,196,928	3,769,242

	國 産 數量	價
大正10	3,188,400貫	6,14
11	3,150,760	5,15
12	1,802,075	2,72
13	2,231,468	3,09
14	2,130,464	2,82
昭和1	2,489,347	3,56
2	2,256,262	3,67
3	2,362,033	3,98
4	2,543,596	3,76
5	2,565,612	3,56

(大麻の産額にして種)

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
茨 城	61,223貫	78,372圓
埼 玉	32,493	27,984
千 葉	25,672	35,206
滋 賀	3,766	10,417
鳥 取	29,293	37,761
廣 島	16,770	18,048

主要國別輸入額

國 名	數量	價 額
支 那	1,091,036擔	4,483千圓
關 東 州	83,438	338
東部アフリカ	17,181	76

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價
岩 手	92,616貫	105,
栃 木	1,259,090	2,253,
新 潟	31,587	120,
石 川	40,352	89,
長 野	190,692	407,
廣 島	205,072	249,
熊 本	67,849	84,

◎外國競争者

天津、漢口、上海等より積出される支那産品、大連、營口等より積出される滿州産品とが、本邦輸入の主なる競争者である。

◎輸入の主要原因

棉子油の需要は逐年増加し、その製油業亦逐年隆盛に赴きつゝあるに拘らず、是れが原料たる棉子の内地生産は頗る僅少なるため、製油業者は何れも輸入に仰がざるを得ない。

◎輸入品と國産品の優劣

國産棉子は品質頗る優良にして、製油原料として上等品であるが、支那及滿州産品は製法粗雑にして夾雜物多く、國産品よりも劣等である。然れどもその生産豊富にして一時に多量購入の便あり、且つ頗る廉價である。

◎輸入防止の主要處置

本品の輸入を防止すれば製油業の發達を阻害するを以て、現状の儘放任するのが得策である。

原料とする搾油業は逐年隆盛に赴きつゝあるが故である。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は殆んど自家用生産にして優劣を比較するに足らず。

◎輸入防止の主要處置

内地産額の増加は期待し難きを以て、輸入に仰ぐ外なし。



二二、蔬菜・果實等の罐詰・罐詰及壺詰

本品の主たる輸入品はアスパラガス、パイナップル、ピーチ、ペアー等にして、砂糖、蜜、糖水等を以て貯藏したるものと、單に乾燥し或は殺菌法を施し、又は鹽水にて貯藏したるもの等があり、主として米國より輸入さる。

◎輸入税率

(一) 砂糖、蜂蜜、糖水、糖蜜等を以て貯藏せるものは、百斤に付十二圓七〇錢。

(二) 蔬菜罐詰は百斤に付七圓九〇錢 同壺詰は百斤に付 七圓六〇錢 同壺詰は百斤に付 一圓九五錢 其他の物は價格に對する三割

(三) 蔬菜以外の罐詰は百斤に付七圓二五錢、同壺詰は八圓五〇錢、同壺詰は三圓二〇錢。

◎主要生産者

- 日本アスパラガス株式會社 (北海道)
- 隈本商會 (千葉)
- 廣島農産加工組合 (廣島)
- 臺灣鳳梨株式會社 (臺灣)
- 阿辻罐詰工場 (〃)

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	1,736,743貫	3,891,811圓	1,604,124擔	578,851圓
11	2,812,277	4,615,517	2,042,689	823,529
12	2,270,415	4,568,507	1,548,484	617,412
13	2,735,269	5,748,120	2,943,028	1,352,230
14	3,324,276	5,531,957	3,148,935	1,105,558
昭和 1	2,515,352	4,518,696	—	1,667,726
2	2,411,064	4,105,969	—	1,363,534
3	3,408,617	5,692,827	—	1,342,993
4	3,567,549	5,456,298	—	1,483,467
5	3,868,963	5,768,297	322,305	107,743

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
山 形	84,438貫	187,865圓
東 京	421,454	919,279
愛 知	198,168	384,481
京 都	247,010	326,783
大 阪	546,326	702,562
廣 島	191,810	247,187

主要國別輸入額

國 名	數量	價 額
支 那	50擔	87千圓
英領印度	184	7
英 吉 利	142	10
佛 蘭 西	459	47
北 米	3,440	467
布 哇	176	4

◎主要輸入者

- 德田鳳梨罐詰工場 (〃)
- 臺灣物産合名會社 (〃)
- 加島罐詰所 (廣島)
- 濱口罐詰工場 (〃)
- 佐高商店 (大阪)

- 三井物産株式會社 (東京)
- 株式會社明治屋 (〃)
- 太平洋貿易株式會社 (〃)

◎外國競争者

- リビー會社 (米國)
- ゲツベスト會社 (〃)
- サンキスト會社 (〃)

◎輸入の主要原因

アスパラガス及パイナップルは主として内地生産不足に因る。

◎輸入品と國産品の優劣

種類多くして一々優劣を比較し難いが、品質は略同等である。

◎輸入防止の主要處置

内地に於ける生産額増加を奨勵することが肝要である。

二三、柑 橘 類

柑橘には其の種類頗る多く枚舉に追ないが、内地に於ける生産は本邦の特産物なる密柑を始めとし、歐米その他各國原産のものを殆んど全部移植して産額逐年増加しつつある。

入 額	價 額
—圓	—
113,968	—
24,168	—
31,568	—
21,466	—
18,237	—
18,999	—
17,056	—

額	價 額
8,542圓	—
3,956	—
1,124	—

◎主要輸入者

- 鈴木洋酒店 (横濱)
- 太平洋貿易株式會社 (東京)
- 千足屋 (〃)
- 萬惣商店 (〃)



(二) 蔬菜以外の罐詰は百斤に付七圓二五錢、同量詰は八圓五〇錢、同量詰は三圓二〇錢。

◎主要生産者

- 日本アスパラガス株式會社 (北海道)
- 隈本商會 (千葉)
- 廣島農産加工組合 (廣島)
- 臺灣鳳梨株式會社 (臺灣)
- 阿辻罐詰工場 (〃)

二三、柑 橘 類

柑橘には其の種類頗る多く枚舉に追ないが、内地に於ける生産は本邦の特産物なる密柑を始めとし、歐米その他各國原産のものを殆んど全部移植して産額逐年増加しつつある。従つて本品中輸入されるものは主としてネーブル、オレンジ、レモン等特種のものにして、而も輸入額は漸減し、却つて海外諸國への輸出増加を見つゝある。

輸入品の包装は三十斤乃至五十斤の籠入りにして主として米國産品及び支那産品である。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——四圓

◎主要生産者

密柑は紀州、静岡、愛媛等の各縣に産し、ネーブル及びオレンジは廣島縣豊田郡及御調郡、和歌山縣那賀郡、愛媛縣西宇和郡、静岡縣田方郡及庵宗郡等が主産地。レモンは廣島縣豊田郡、鹿兒島縣に、ボンカンは臺灣及び南洋サイパン島に夫々相當の産額あり、生産者頗る多し。

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	19,132,290貫	5,688,026圓	——斤	——圓
11	75,957,514	22,560,430	——	——
12	75,428,717	23,731,261	——	——
13	74,922,148	24,698,164	404,097	113,968
14	77,063,924	26,084,691	91,359	24,168
昭和1	99,849,280	24,800,397	101,429	31,568
2	81,022,940	23,980,139	82,498	21,466
3	100,294,493	25,661,119	75,965	18,237
4	112,568,964	24,621,354	81,637	18,999
5	124,597,098	25,098,168	77,374	17,056

	國 産 額		價 額
	數量	價 額	
大正10	1,736,743貫	3,880,000	3,880,000
11	2,812,277	4,600,000	4,600,000
12	2,270,415	4,500,000	4,500,000
13	2,735,269	5,700,000	5,700,000
14	3,324,276	5,500,000	5,500,000
昭和1	2,515,352	4,500,000	4,500,000
2	2,411,064	4,100,000	4,100,000
3	3,408,617	5,600,000	5,600,000
4	3,567,549	5,400,000	5,400,000
5	3,868,963	5,700,000	5,700,000

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
神奈川	6,220,158貫	1,374,124圓
靜 岡	20,033,528	4,341,391
愛 知	1,801,049	473,246
大 阪	6,997,276	1,563,500
和歌山	20,861,234	4,637,626
廣 島	5,672,612	1,845,187
愛 媛	7,964,504	2,098,461

主要國別輸入額

國 名	數量	價 額
米 國	30,219斤	8,542圓
支 那	15,624	3,956
關 東 州	5,198	1,124

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
山 形	84,438貫	187,000
東 京	421,454	919,000
愛 知	198,168	384,000
京 都	247,010	326,000
大 阪	546,326	702,000
廣 島	191,810	247,000

◎輸入の主要原因

アスパラガス及パイナップルは主として内地生産不足に因る。

◎輸入品と國産品の優劣

種類多くして一々優劣を比較し難いが、品質は略同等である。

◎輸入防止の主要處置

内地に於ける生産額増加を奨励することが肝要である。

◎主要輸入者

- 鈴木洋酒店 (横濱)
- 太平洋貿易株式會社 (東京)
- 千足屋 (〃)
- 萬惣商店 (〃)
- 萬屋商店 (〃)

◎外國競争者

- サンキスト果物會社 (米國)
- アメリカン果物會社 (〃)

◎輸入の主要原因

レモン、オレンジ、ネーブル等は米國に於ける産額豊富にして品質も比較的優良なるが爲めに輸入さる。

◎輸入品と國産品の優劣

レモンは外國産稍々優良であるがオレンジ、ネーブル等は殆んど優劣なく、価格は國産品が遙かに低廉である。

◎輸入防止の主要處置

本品は内地生産額の増加及び品質改良に依つて殆んど輸入の必要を認めざるに至つた。故に高率の關稅を課し輸入を禁絶する必要がある。



二四、栗、胡桃及其他の核子

栗は支那、ヨーロッパ南部の佛、伊、スペイン諸國に産し、榛子は歐洲各國、アフリカ及びアジア北部、蓮子は支那、印度、胡桃は支那、印度、ギリシヤ、小亞細亞、アフリカ北米及南米、ブラジルナツトはブラジル、ベネヅエラ及ギヤナ等に、ピ1カンナツトは北米に夫々産す。本邦には栗、胡桃、蓮子等の生産豊富である。此等は何れも食用に供せられ、輸入品は大部分支那産である。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——七圓八五錢

◎主要生産者

本品は殆んど全部農林業者の副産物にして、栗は岩手、岡山、新潟、茨城諸縣が主産地、胡桃は長野市及上田市附近が主産地である。ピスタシユナツト、ブラジルナツト、ピイカンナツト、アーモンドナツト、ココナツト等は内地生産なし。

◎主要輸入者

北澤商會 (東京) 池上桂助 (〳)

Table with 6 columns: Year, Quantity, Domestic Price, Quantity, Imported Price. Rows for years 大正10-14 and 昭和1-5.

主要府縣別生産額

Table with 3 columns: Prefecture, Quantity, Price. Rows for 岩手, 長野, 岐阜, 岡山, 廣島.

主要國別輸入額

Table with 3 columns: Country, Quantity, Price. Rows for 支那, 關東州, 英領印度.

◎外國競争者

- List of foreign competitors: 中川市太郎, 株式會社明治屋, 龜屋商店, 朝鮮物産協會, 岡田洋行, 宗像豊次郎, 川勝洋行, 青木商店, コード・リエー商會, ワイ・マーク商會.

◎輸入の主要原因

栗は日露戦後出征軍人が持歸りて以來年々輸入し、ナツト類は製菓原料及食卓用として需要増加しつゝある爲めに輸入さる。

◎輸入品と國産品の優劣

輸入品は國産品よりも優良である

◎輸入防止の主要處置

栗の外は輸入額少く、輸入防止の必要を認めない。

二五、紅茶

紅茶の國內生産額は頗る少く到底需要を充し得ざるため、支那その他の各國より輸入さる。輸入紅茶には紅茶と紅茶粉の兩種あり、又支那産紅茶は花白毫、橙黄白毫、白毫、白

Table with 2 columns: Price, Amount. Rows for years 大正10-14 and 昭和1-5.

額

Table with 2 columns: Price, Amount. Rows for 151千圓, 419, 24.

◎外國競争者

- List of foreign competitors: 龜屋商店, 祭原商店, 松下商店, 鈴木洋酒店.



本品は殆んど全部農林業者の生産物にして、栗は岩手、岡山、新潟、茨城諸縣が主産地、胡桃は長野市及上田市附近が主産地である。ピスタシユナツト、ブラジルナツト、ピイカンナツト、アーモンドナツト、ココナツト等は内地生産なし。

◎主要輸入者

北澤商會 (東京)  
池上桂助 (〃)

二五、紅茶

紅茶の國內生産額は頗る少く到底需要を充し得ざるため、支那その他の各國より輸入さる。輸入紅茶には紅茶と紅茶粉の兩種あり、又支那産紅茶は花白毫、橙黄白毫、白毫、白毫小種、小種、工夫、武彝の七種がある。烏龍茶も亦紅茶の一種にして外見類似してゐるが、煎汁の色相及び風味は紅茶と異なる。

◎輸入税率

紅茶は百斤に付——二二圓六〇錢  
紅茶粉 同上——六圓八〇錢  
其他 同上——六圓

◎主要生産者

三井合名會社支社 (臺灣)  
日本紅茶株式會社 (静岡)  
鶴方村共同製茶組合 (三重)

◎主要輸入者

ウイルキンソン合名會社(神戸) (横濱)  
カルノー商會 (〃)  
カルソン商會 (〃)  
コードリエ商會 (〃)  
ワイマーク商會 (〃)  
ウイトコスキ商會 (〃)

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	3,433貫	16,782圓	747,215斤	433,514圓
11	1,729	8,904	1,110,547	589,927
12	1,724	8,997	1,273,241	771,474
13	993	4,822	957,446	802,715
14	1,497	7,268	582,631	345,694
昭和1	5,994	16,643	836,579	584,812
2	4,422	20,311	666,936	503,240
3	5,541	23,781	777,684	598,620
4	5,694	22,462	1,000,107	748,263
5	5,749	23,968	871,135	727,563

茶

	國産	
	數量	價額
大正10	123,139石	2,800
11	114,262	2,400
12	100,444	2,400
13	128,056	2,900
14	111,343	2,500
昭和1	143,364	2,900
2	90,759	2,200
3	159,039	3,300
4	121,045	3,100
5	148,562	3,200

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
東京	1,188貫	4,173圓
静岡	2,338	10,190
福岡	1,198	5,357

主要國別輸入額

國名	數量	價額
支那	5,048斤	151千圓
英領印度	2,542	419
英吉利	135	24

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
岩手	12,992石	266
長野	8,029	157
岐阜	9,642	137
岡山	7,682	126
廣島	16,344	201

◎外國競争者

龜屋商店 (東京)  
祭原商店 (〃)  
松下商店 (〃)  
鈴木洋酒店 (〃)  
リプトン社 (英國)  
ジュビリヤ社 (〃)  
カルソン社 (〃)  
アイデアル社 (〃)

◎輸入の主要原因

國産紅茶は生産少く、加ふるに品質及風味に於て外國産品中リプトン茶の如き優秀なるものなき爲めである。因みにウイルキンソン合名會社はリプトン社の日本代理店にして、輸入紅茶の九割は同社扱ひである。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は初煎にて香味を失ふ缺點ありて、到底外國産には及ばない。

◎輸入防止の主要處置

内地の優良生産者を保護し、紅茶樹の繁殖を奨励すると共に一方關稅の引上げをなす事が急務である。

身は日露戦争後出征軍人が持歸して以來年々輸入し、ナツト類は製菓原料及食卓用として需要増加しつつある爲めに輸入さる。

◎輸入品と國産品の優劣

輸入品は國産品よりも優良である

◎輸入防止の主要處置

栗の外は輸入額少く、輸入防止の必要を認めない。



二六、珈琲

(種子及製品)

コーヒーの世界的産地は南米ブラジルにして、ブラジルコーヒーの名聲は世界的に普く知られてゐる。ブラジルに次いでジャバ、西印度、中部アメリカ、メキシコ、アラビヤ、東印度、セイロン、ヒリツピン等が主産地である。本邦に於ては臺灣、小笠原島、南洋殖民地等に栽培されるが、産額として見るべきものなく、需要の殆んど全部海外より輸入されつゝある。輸入コーヒーには種子のみ輸入して内地に於て加工するものと、製品を直接輸入するものがある。

輸入コーヒー種子の包装は二重麻袋入にしてモツカ産品は四〇封度包一個、又は八〇封度包二個を一袋とし、瓜哇産は六六封度包二個又は三三封度包一袋とし、中部アメリカ産品は一三六封度内外、その他の産品は一三六封度乃至一三六封度内外の麻袋入りである。又コーヒー製品の包装は罐入りにして、一〇封度乃至五〇封度を一箱とす。

主要國別輸入額

國名	數量	價額
英領印度	130擔	9千圓
蘭領印度	13,321	664
其他亞細亞諸國	2,950	227
佛蘭西	204	15
北米	2,295	210
伯刺西爾	1,558	115
其他アフリカ諸國	300	24

(國産額不詳)

輸入額

	數量	價額
大正10	634,063擔	312,686圓
11	790,598	346,078
12	925,199	462,930
13	1,393,410	792,690
14	1,354,978	1,120,169
昭和1	1,762,128	1,208,611
2	2,114,312	1,244,582
3	2,241,414	1,384,001
4	2,979,934	1,926,040
5	3,144,322	1,395,307

◎輸入税率

種子百斤に付——一五圓一〇錢  
製品 同上——二五圓一〇錢

◎主要生産者

珈琲種子の生産者としては擧ぐべきものがないが、製品の生産者は東京及大阪方面に多數あり、其の主たるもの左の如し。

- カフエー・パウリスター (東京)
- 松岡商店 (シ)
- 相原商店 (ト)

◎主要輸入者

- (種子)
- 三井物産株式会社 (東京)
- 有馬洋行 (神戸)
- 石光商會 (シ)
- エツチ・クラメル商會 (大阪)
- 藤崎商會 (横濱)
- 蜂谷商會 (シ)
- 眞田商會 (シ)
- 中澤商店 (シ)
- ガッツ・ブラザース商會(神戸)
- (製品)
- 太平洋貿易株式会社 (東京)

◎外國競争者

- ガッツ・ブラザース商會(神戸)
- 古屋商店 (横濱)
- シュワバー・ハー兄弟商會(米國)
- エム・ジエー・ブランデン
- スタイン商會 (シ)
- ヒルス兄弟商會 (シ)
- チーク・ニール・コーヒー會社(シ)
- サスマン・フォームサー會社(シ)
- ジエー・エー・フォルガー(シ)
- リプトン會社 (英國)
- コナコーヒー會社 (布哇)

◎輸入の主要原因

國産品殆んど無きたためである。

◎輸入品と國産品の優劣

優劣を比較すべきものなし。

◎輸入防止の主要處置

臺灣及小笠原島等に珈琲栽培を奨励して生産増加を圖るの外なし。

二七、ココロ (種子及製品)

ココロ(カカオ)はコロンビヤ、ベネツエラ、ギアナ、ブラジル、エクアドル、ペルー等の南米地方、中部アメリカ、メキシコ、西印度、ジャバ、セイロン等に多く産す。果實

價額

- 101千圓
- 51
- 11
- 82
- 153

◎主要輸入者

- (種子)
- 森永製菓株式会社 (東京)
- オットライメルス商會 (シ)

◎輸入の主要原因

ココロ種子は内地生産なきに依る。製品は内地生産あるも製法に於て外國品に及ばざる點少なからず、外國製品程一般需要者間に信用を



瓜哇産は六六封度包二個又は三個を一袋とし、中部アメリカ産品は一三六封度内外、その他の産品は一三六封度乃至一三六封度内外の麻袋入りである。又コーヒー製品の包装は罐入りにして、一〇封度乃至五〇封度を一箱とす。

輸入品はジャバ、ブラジル、中部アメリカ、アラビヤ及び米國産品が大部分を占めてゐる。

ニ七、コ、ー、コ、ー、コ、ー (種子及製品)

輸 入		數量	價 額
大正	10	634,063擔	3
	11	790,598	3
	12	925,199	4
	13	1,393,410	7
	14	1,354,978	1,1
昭和	1	1,762,128	1,2
	2	2,114,312	1,2
	3	2,241,414	1,3
	4	2,979,934	1,9
	5	3,144,322	1,3

コーヒー(カカオ)はコロンビヤ、ベネヅエラ、ギアナ、ブラジル、エクアドル、ペルー等の南米地方、中部アメリカ、メキシコ、西印度、ジャバ、セイロン等に多く産す。果實を切開き種子に附着したる酸性の液を除去し、箱に入れ密閉して醗酵せしめ、又は二日程中に埋めたる後日光に晒したるものにして、コーヒー粉は更に熬炒して外皮を除き粉末としたるものである。

本邦に於てはコーヒー種子の生産なきため、種子を海外より輸入して加工精製す。

◎輸入税率

種子は一〇〇斤に付——六圓  
製品は一〇〇斤に付——四三圓

◎主要生産者

森永製菓株式会社 (東京)  
明治製菓株式会社 (シ)

此の外多數生産者あるも、何れも原料種子を輸入し之に加工して粉末となし、或は塊となすに過ぎずしてコーヒー種子の生産者と思ふべきものはない。

主要國別輸入額

輸 入 額		主要國別輸入額	
數量	價 額	國 名	價 額
大正	10	英 吉 利	101千圓
	11	獨 逸	51
	12	瑞 西	11
	13	蘭 和	82
	14	北 米	153
昭和	1		
	2		
	3		
	4		
	5		

(國産額不詳)

- 三井物産株式会社 (東京)
- 有馬洋行 (神戸)
- 石光商會 (シ)
- エツチ・クラメル商會 (大阪)
- 藤崎商會 (横濱)
- 蜂谷商會 (シ)
- 眞田商會 (シ)
- 中澤商店 (シ)
- ガッツ・ブラザース商會(神戸) (シ)
- (製品) (東京)
- 太平洋貿易株式会社 (東京)

◎主要輸入者

- (種子) 森永製菓株式会社 (東京)
- オットライメルス商會 (シ)
- 長瀬商店 (シ)
- 米國貿易會社 (シ)
- (製品) 國分商會 (東京)
- ウキツコースキー (シ)

◎外國競争者

(種子) 本品の主産地はジャバ、セイロン、その他の諸國であるが、其の取引市場はニューヨーク、ロンドン及アムステルダムにして、本邦に輸入されるものも多く是等取引市場を経て輸入され、生産地よりの直接輸入は比較的少量である。

- (製品) ブンデ・ブラザース (米國)
- パンフーテン (ベルギー)
- フライス (英國)
- カドバリー (シ)
- クワツタ (和蘭)
- ドロステ (シ)

◎輸入の主要原因

國産品殆んど無きためである。

◎輸入品と國産品の優劣

優劣を比較すべきものなし。

◎輸入防止の主要處置

臺灣及小笠原島等に珈琲栽培を奨勵して生産増加を圖るの外なし。

◎輸入の主要原因

コーヒー種子は内地生産なきに依る。製品は内地生産あるも製法に於て外國品に及ばざる點少なからず、外國製品程に一般需要者間に信用を博せず、且つ生産量少くして需要に充たざるが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は製造方法拙劣にして製品優良ならずと一般に見做されてゐたが、近來森永製菓、明治製菓等に於ける技術的進歩著しく、外國品に比して毫も遜色を見ざる優秀品が生産されるに至つた。

◎輸入防止の主要處置

種子の生産は至難であるが、製品はその技術的進歩に依つて容易に輸入を防止し得べし。

◎營業者の希望

本品の如きは氣候風土の關係上内地生産は至難なるに拘はらず、種子に高率の輸入税を課するは當を得ず速かに軽減されん事を望む。



二八、砂

糖

本邦に於ける製糖業は頗る盛大にして海外に輸出を見つゝあるが、原料糖は不足を告げ南洋諸島、蘭領印度その他の主要生産地より輸入されつゝある。

輸入品の包装は各産地に依つて夫々異り、アンペラ包、椰子俵、麻袋入、竹籠入等の各種あり、重量も亦區々である。

◎輸入税率

和蘭標本第十一號未滿のものは百斤に付二圓五〇錢、同上第二百六十二號未滿のものは百斤に付三圓九五錢、其の他のものは百斤に付五圓三〇錢。

◎主要生産者

- 大日本製糖株式會社 (東京)
- 大正製糖株式會社 ( )
- 臺灣製糖株式會社 (臺灣)
- 明治製糖株式會社 ( )
- 鹽水港製糖株式會社 ( )
- 東洋製糖株式會社 ( )
- 帝國製糖株式會社 ( )
- 新高製糖株式會社 ( )
- 臺南製糖株式會社 ( )

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	559,839,123斤	134,575,564圓	5,089,808擔	69,815,337圓
11	935,875,638	135,401,942	6,561,514	63,944,265
12	485,584,141	102,941,802	5,006,435	52,632,223
13	2,205,324,761	187,516,938	5,092,786	63,850,081
14	844,149,681	176,451,927	6,352,169	75,088,562
昭和 1	1,004,494,155	199,253,093	7,568,820	83,672,450
2	1,010,425,018	169,243,644	7,022,826	75,804,004
3	1,114,376,743	191,117,838	6,350,938	64,958,583
4	896,521,123	167,562,165	3,795,281	31,159,748
5	921,156,124	145,126,389	4,077,603	25,973,306

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
北海道	37,628,600斤	8,164,190圓
神奈川	177,250,600	38,463,380
東 京	194,259,544	40,217,779
大 阪	129,883,682	26,452,589
兵 庫	180,772,237	28,212,165
福 岡	240,716,637	31,877,584

主要國別輸入額

國 名	數量	價 額
蘭領印度	6,236,002擔	63,700千圓
比律賓諸島	21,265	199
玖 瑪	89,266	941

◎主要輸入者

- 臺東製糖株式會社 ( )
- 新興製糖株式會社 ( )
- 三井物産株式會社 (東京)
- 三菱商事株式會社 ( )
- 大日本製糖株式會社 ( )
- 大正製糖株式會社 ( )
- 臺灣製糖株式會社 (臺灣)
- 明治製糖株式會社 ( )

◎外國競争者

主として瓜哇糖及び玖瑪糖。

◎輸入の主要原因

臺灣及内地産の砂糖は内地需要の七割内外なるを以て、その不足額が輸入されつゝある。

◎輸入品と國産品の優劣

臺灣産粗糖は、瓜哇及玖瑪産粗糖よりも品質優良である。

◎輸入防止の主要處置

政府は製糖の保護獎勵を益々徹底的ならしめ、糖業者は品質の改良及生産増加を圖る事が急務である。

二九、角砂糖及氷砂糖

角砂糖は棒砂糖を切り、又は直接良質白下糖を原料として製す。氷砂糖は砂糖を溶解し後再び結晶せしめた物にして白色の外黄色褐色等がある

入 額	價 額
—	—圓
6,907	—
3,426	—
16,754	—
13,415	—
64,685	—
36,232	—
45,735	—

額	價 額
16	千圓
3	—
1	—

◎外國競争者

本品は主として米國より輸入されつゝあるが、近年本邦に於て良質のものが多量生産される爲め、輸入額は微々たるものにして、競争は殆ん



- ◎主要生産者
- 大日本製糖株式会社 (東京)
  - 大正製糖株式会社 (東京)
  - 臺灣製糖株式会社 (臺灣)
  - 明治製糖株式会社 (臺灣)
  - 鹽水港製糖株式会社 (臺灣)
  - 東洋製糖株式会社 (臺灣)
  - 帝國製糖株式会社 (臺灣)
  - 新高製糖株式会社 (臺灣)
  - 臺南製糖株式会社 (臺灣)

	國産			輸入	
	數量	價額		數量	價額
大正10	559,839,123斤	134,57	—	—	
11	935,875,638	135,40	—	—	
12	485,584,141	102,94	—	—	
13	2,205,324,761	187,51	20,980	6,907	
14	844,149,681	176,45	11,712	3,426	
昭和1	1,004,494,155	199,25	—	16,754	
2	1,010,425,018	169,24	—	13,415	
3	1,114,376,743	191,11	—	64,685	
4	896,521,123	167,56	—	36,232	
5	921,156,124	145,12	—	45,735	

◎輸入防止の主要處置

政府は製糖の保護獎勵を益々徹底的ならしめ、糖業者は品質の改良及生産増加を圖る事が急務である。

◎輸入防止の主要處置

七割内外なるを以て、その不足額が輸入されつゝある。

◎輸入品と國産品の優劣

臺灣産粗糖は、瓜哇及玫瑰糖産粗糖よりも品質優良である。

二九、角砂糖及氷砂糖

角砂糖は棒砂糖を切り、又は直接良質白下糖を原料として製す。氷砂糖は砂糖を溶解し後再び結晶せしめた物にして白色の外黄色褐色等がある

◎輸入税率  
一〇〇斤に付——七圓四〇錢

◎主要生産者

- (氷砂糖)
- 大日本製糖株式会社 (東京)
  - 大正製糖株式会社 (東京)
  - 臺灣製糖株式会社 (臺灣)
  - 臺南製糖株式会社 (臺灣)
  - 中村氷糖株式会社 (濱松)
  - 旭日氷糖株式会社 (豊橋)
  - 朝日氷糖商會 (豊橋)
- (角砂糖)
- 大日本製糖株式会社 (東京)
  - 大正製糖株式会社 (東京)
  - 臺灣製糖株式会社 (臺灣)
- ◎主要輸入者
- 株式会社明治屋 (東京)
  - 龜屋商店 (東京)
- 此の外主要食料商

	國産			輸入	
	數量	價額		數量	價額
大正10	13,257,026斤	4,993,921圓	—	—	
11	15,591,115	5,406,998	—	—	
12	12,791,913	5,075,130	—	—	
13	15,443,609	5,578,231	20,980	6,907	
14	17,661,125	5,864,620	11,712	3,426	
昭和1	17,566,954	5,456,167	—	16,754	
2	17,456,168	5,321,962	—	13,415	
3	18,165,454	5,998,724	—	64,685	
4	16,958,295	4,564,298	—	36,232	
5	18,126,358	5,656,129	—	45,735	

主要府縣別生産額			主要國別輸入額		
縣名	數量	價額	國名	數量	價額
福岡	—	543,254圓	獨逸	—	16千圓
兵庫	—	198,259	北米	—	3
大阪	—	234,165	和蘭	—	1
神奈川	—	96,568			
東京	—	456,298			
愛知	—	452,166			
臺灣	—	1,234,291			

◎外國競争者  
本品は主として米國より輸入されつゝあるが、近年本邦に於て良質のものが多量生産される爲め、輸入額は微々たるものにして、競争は殆んど行はれなう。

◎輸入の主要原因  
氷砂糖の如きは内地生産過剰にして海外に輸出されつゝある。角砂糖棒砂糖、その他類似品何れも内地生産豊富にして何等輸入の必要を認めないが、本邦在留の外人用その他特殊の需要に依つて輸入されるに過ぎない。

◎輸入品と國産品の優劣  
純粹なる製品は結晶性强固にして溶解度遲きを常とし、又不純物を多量に含有するものは完全に溶解しない。是等の點に就いて比較するに内用品は略同等である。

◎輸入防止の主要處置  
輸入額僅少なるを以て、特に施設を講ずる必要を認めない。



三〇、糖

糖蜜は製糖の副産物にして、多量の不純物を含有し、特殊の方法を用ひざれば砂糖を分離し得ない。故に製糖業者は之を廢糖蜜と稱し、その儘樽詰として市場に出す。甘蔗糖蜜の成分は蔗糖三十一パーセント、葡萄糖二十一乃至二十九パーセント及び無機鹽類その他の不純物にして、その主なる用途はアルコール原料、ラム酒原料、醬油の加味及色付、菓子原料、靴墨原料、燒糖原料等である。輸入糖蜜の包装は樽入にして、一樽の重量三百斤乃至四百八十斤が普通である。

◎輸入税率

糖分を蔗糖として計算したる重量が、全重量の百分の六十を超えざるものは、百斤に付一圓三〇錢、その他は百斤に付二圓五十錢である。

◎主要生産者

- 大日本製糖株式会社 (東京)
- 臺灣製糖株式会社 (臺灣)
- 臺南製糖株式会社 (シ)
- 帝國製糖株式会社 (シ)
- 其他一般製糖會社及精製糖會社

蜜

國産額		輸入額	
數量	價額	數量	價額
大正10	—斤	—斤	—圓
11	—	—	—
12	51,526,162	—	—
13	53,176,811	1,302,883	115,744
14	24,901,360	869,665	70,249
昭和1	35,967,031	756,144	63,564
2	33,192,417	776,159	64,152
3	29,697,417	698,264	60,459
4	31,568,294	789,169	65,128
5	32,996,159	853,219	70,129

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
東京	2,886,272斤	278,904圓
静岡	3,025,940	408,516
愛知	2,483,470	291,071
大阪	4,667,129	448,867
兵庫	3,377,205	101,316
福岡	7,864,753	752,818

主要國別輸入額

國名	數量	價額
北米	825擔	6千圓
瓜哇	890	7

◎主要輸入者

本品の輸入はアルコール製造業者が、價格の安き場合に外國より直接輸入するもの多く、一定の輸入者と見做すべき者はない。

◎外國競争者

主として瓜哇産品。

◎輸入の主要原因

臺灣の各製糖會社に於ては、糖蜜を市場に出すこと少く、殆んど全部アルコールに化成して各地に輸出するが故に、糖蜜の需要者は海外より輸入するの外ない。

◎輸入品と國産品の優劣

瓜哇、香港等に於ては糖蜜の水分を除去し、固形糖蜜となし輸出しつつあるが、本邦に於ては固形糖蜜の生産なく、普通蜜に就いては外國産品と略同等である。

◎輸入防止の主要處置

輸入を防止せず、低廉なる糖蜜の輸入を奨励する事が得策である。

三一、蜂

蜜

蜂蜜の世界的産地は露國、オランダ、北米、支那等にして、本邦内地及朝鮮にも産出するが、國産品は概ね品質優良ならざるため米國、支那その他より輸入さる。

入額	價額
—圓	—
2,981	—
7,186	—
3,753	—
10,566	—
2,856	—
3,012	—
13,567	—
11,259	—

額	價額
10千圓	—
1	—

◎外國競争者

- コードリエ商會 (横濱)
- ワキマーク商會 (神戸)

ゲッツ・ブラザース商會 (米國)



糖分を蔗糖として計算したる重量が、全重量の百分の六十を超えざるものは、百斤に付一圓三〇銭、その他は百斤に付二圓五十銭である。

◎主要生産者

- 大日本製糖株式会社 (東京)
- 臺灣製糖株式会社 (臺灣)
- 臺南製糖株式会社 (シ)
- 帝國製糖株式会社 (シ)
- 其他一般製糖會社及精製糖會社

三一、蜂

蜜

蜂蜜の世界的産地は露國、オランダ、北米、支那等にして、本邦内地及朝鮮にも産出するが、國産品は概ね品質優良ならざるため米國、支那その他より輸入さる。

包装は罐入、罎入、壺入等にして、罐入には半ガロン、一ガロン、五ガロン又は一封度、二封度等の各種あり罎入には一封度、壺入には一封度、二封度、四封度等の各種があり、二個乃至十二個を一箱とす。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——七圓二〇銭

◎主要生産者

- 岩井商會 (東京)
- 高井商店 (大阪)
- 尚ほ本品の採取地としては岐阜、和歌山、香川、千葉、愛知、東京等の諸府縣最も現はれ、各採取地に於て採取せるものは適當に精製せられて市場に出る。

◎主要輸入者

- 龜屋商店 (東京)
- 株式會社明治屋 (シ)

	國産額		.....	輸入額	
	數量	價額		數量	價額
大正10	—貫	—圓	.....	—斤	—圓
11	340,653	797,727	.....	—	—
12	322,077	781,712	.....	5,666	2,981
13	326,483	809,967	.....	52,259	7,186
14	328,427	796,878	.....	5,721	3,753
昭和1	357,928	820,615	.....	15,749	10,566
2	401,022	881,311	.....	4,568	2,856
3	413,026	886,431	.....	4,966	3,012
4	425,293	876,598	.....	18,564	13,567
5	435,321	869,156	.....	15,261	11,259

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
北海道	59,399貫	94,816圓
長野	31,730	82,466
岐阜	32,850	47,563
静岡	15,178	43,504
和歌山	24,535	53,873
山口	15,667	42,728
福岡	45,899	76,254

主要國別輸入額

國名	數量	價額
米國	143擔	10千圓
支那	13	1

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
東京	2,886,272斤	278,9
静岡	3,025,940	408,5
愛知	2,483,470	291,0
大阪	4,667,129	448,8
兵庫	3,377,205	101,3
福岡	7,864,753	752,8

◎輸入品と國産品の優劣

瓜哇、香港等に於ては蜂蜜の水分を除去し、固形糖蜜となし輸出しつゝあるが、本邦に於ては固形糖蜜の生産なく、普通蜜に就いては外國産品と略同等である。

◎輸入防止の主要處置

輸入を防止せず、低廉なる糖蜜の輸入を奨励する事が得策である。

◎外國競争者

- コードリエ商會 (横濱)
- ワキマーク商會 (神戸)
- ゲッツ・ブラザース商會 (米國)
- デー・ガーデン商會 (シ)
- サスマン・ウォルサムサー (シ)

◎輸入の主要原因

國産蜂蜜は其製法不完全なるため米國産品等に比して透明ならず、外觀及品質に於て稍々劣れるため輸入されつゝあつたが、近年國産品漸次改良されて優秀品を生産するに至りたるを以て、輸入額は激減した。

◎輸入品と國産品の優劣

岩谷商會の專賣特許製法に依るものの如きは外國品に比して何等の遜色なく、寧ろ輸入品以上の優良品であるが、尚ほ外國製に及ばざるものも少くない。

◎輸入防止の主要處置

現在に於ても輸入額僅少なるを以て、精製法を改善すれば完全に輸入を防止し得るであらう。



三三、菓子

菓子はその材料及び製法等に依つて種類頗る多く、枚擧に遑がないが輸入菓子は大別して糖菓及び餅菓の兩種とす。糖菓の主なるものはキャンデー、ドロツプス、ローゼンジュボン、ドラージェー、パステル等にして、餅菓の主たるものはチョコレート、支那産月餅、雲片糕等の類である。

本邦に於ける製菓業は逐年發展し俗に所謂西洋菓子の類も殆んど全部内地に於て生産されつゝあるが、而も尙ほ特殊のものは米國、フランス等より輸入さる。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——三三圓

◎主要生産者

- 森永製菓株式会社 (東京)
  - 東洋製菓株式会社 (シ)
  - 明治製菓株式会社 (シ)
  - 今村製菓株式会社 (シ)
  - 佐久間製菓株式会社 (シ)
- 右は主として洋菓製造者であるが此の外本邦在來の菓子製造者は全般に亘り頗る多數を算す。

三三、ジャム及フルトゼリ類

ジャムはその原料に依つて苺ジャム杏ジャム、李ジャム等の區別あり何れも果實を原料とし砂糖を加へて製す。フルトゼリは果實の肉又は汁に砂糖を加へて濃厚なる粘液状

入 額	價 額
—	圓
—	—
51,967	—
22,868	—
213,621	—
184,985	—
193,235	—
152,260	—
146,298	—

入 額	價 額
49	千圓
46	—
15	—
11	—
61	—

輸 入 額	
數量	價 額
677,689斤	585,578圓
857,421	652,419
611,166	455,316
826,043	643,183
335,192	222,124
360,314	213,621
301,747	184,985
309,514	193,235
239,934	152,260
244,718	132,685

國 産 額	
數量	價 額
—	65,951,382圓
—	57,546,392
—	61,837,234
—	74,259,975
—	81,982,492
—	85,239,774
—	92,900,183
—	100,349,556
—	106,153,294
—	112,453,219

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
北海道	—	4,778,843圓
東 京	—	22,757,595
神奈川	—	11,592,521
愛 知	—	10,961,125
大 阪	—	16,366,802
兵 庫	—	6,493,090

主要國別輸入額

國 名	數量	價 額
英 吉 利	846斤	49千圓
佛 蘭 西	624	46
瑞 西	227	15
和 蘭	225	11
北 米	1,057	61
加 奈 陀	24	2

◎主要輸入者

株式会社明治屋 (東京)  
龜屋商店 (シ)

◎外國競争者

米國産品最も多く、佛蘭西及び英國産品は之に次ぐが、輸入額は少く従つて是等諸國産品の間には激烈なる競争は行はれない。

◎輸入の主要原因

洋菓中の特殊なるものは國産品なく、又一部人士は舶來品を崇拜するため、極く少量ながら輸入を見るに過ぎない。

◎輸入品と國産品の優劣

本邦に輸入されつゝある菓子は何れも歐米又は支那等に於ける著名製造業者の製造に係るものであるが、國産菓子は是等に比して、何等の遜色なく、價格に於ても亦低廉である

◎輸入防止の主要處置

全然輸入の必要なきを以て、輸入に對し高率の税を課すべきである。

◎主要輸入者

輸入額僅少にして特掲すべき輸入者なし。



一〇〇斤に付——三三圓

◎主要生産者

- 森永製菓株式会社 (東京)
- 東洋製菓株式会社 (〃)
- 明治製菓株式会社 (〃)
- 今村製菓株式会社 (〃)
- 佐久間製菓株式会社 (〃)

右は主として洋菓製造者であるが此の外本邦在來の菓子製造者は全般に亘り頗る多數を算す。

年次	數量	價額
大正10	—	65,951
11	—	57,546
12	—	61,837
13	—	74,259
14	—	81,982
昭和1	—	85,239
2	—	92,900
3	—	100,349
4	—	106,153
5	—	112,453

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
北海道	—	4,778,84
東京	—	22,757,59
神奈川	—	11,592,52
愛知	—	10,961,12
大阪	—	16,366,80
兵庫	—	6,493,09

◎輸入品と國産品の優劣

本邦に輸入されつゝある菓子は何れも歐米又は支那等に於ける著名製造業者の製造に係るものであるが、國産菓子は是等に比して、何等の遜色なく、價格に於ても亦低廉である

◎輸入防止の主要處置

全然輸入の必要なきを以て、輸入に對し高率の税を課すべきである。

三三三、ジャム及フルートゼリ類

ジャムはその原料に依つて苳ジャム杏ジャム、李ジャム等の區別あり何れも果實を原料とし砂糖を加へて製す。フルートゼリは果實の肉又は汁に砂糖を加へて濃厚なる粘液狀に製したるものである。マルマレドも亦本品の一種にして林檎、梨、橙等に砂糖を加へ煮詰めて軟塊となしたるものである。

輸入品の包装は罐詰又は罎詰を箱詰めとなしたるものにして、罐又は罎の大きさには種々ある。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——一七圓五〇錢

◎主要生産者

- (苳ジャム)
- 鹽川合名會社 (長野)
- 小山清兵衛 (〃)
- 鳴尾ジャム製造所 (兵庫)
- (杏ジャム)
- 日本ジャム製造會社 (東京)
- (オレンヂ、マルマレド)
- 日本ジャム製造會社 (東京)
- 玉川食品製造所 (〃)

年次	國産額		輸入額
	數量	價額	
大正10	—貫	518,818圓	—斤
11	—	590,000	—
12	595,754	1,032,711	—
13	440,660	804,331	105,729
14	327,841	657,342	41,099
昭和1	408,125	637,591	360,314
2	318,714	651,741	301,747
3	455,076	941,864	309,514
4	466,985	962,543	239,934
5	471,546	943,529	216,544

主要國別輸入額

國名	數量	價額
英吉利	846斤	49千圓
佛蘭西	624	46
瑞西	227	15
和蘭	225	11
北米	1,057	61

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
北海道	35,520貫	88,800圓
長野	123,922	271,132
大阪	20,090	70,200
岡山	67,893	87,950
廣島	84,787	183,626
愛媛	21,600	60,480

◎主要輸入者

輸入額僅少にして特掲すべき輸入者なし。

◎輸入の主要原因

當初は専ら外國より輸入せられたが、近年本邦に於ける製造技術進歩し、又その生産量も需要の増加に伴ひ逐年増加せるを以て、輸入漸次減少し特殊なるもの又は特別の事情に因る場合にのみ輸入されるに過ぎざる状態である。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は原料の選擇に意を用ひざるため、外國品に比して品質劣等のものも少くないが、國産品中の優良なるものは外國品に比して何等の遜色なく、價格は外國品よりも低廉である。但し容器等に就いては尙ほ改善の餘地がある。

◎輸入防止の主要處置

内地生産の發達に伴れて輸入漸減しつゝあるを以て、特に防止策を講ずる必要を認めなす。



三四、マカロニー及其他の麵類

マカロニーはセモリナ麥の粉を水にて捏ね特殊の器具を以て壓出し、細長き管状となしたるものにして、伊太利は其の原産地である。

バアーミセリーはマカロニーと同じ原料を用ひ小孔ある壓出機に掛けて壓出し糸状又は紐状に製したるものにして、本邦の素麵より更に細く主としてスープに入れて食せらる。

兩者共包装は七封度乃至百封度の箱入にして、一封度乃至三封度の紙包又は紙函入のもの多く、一封度包は二十四個、二封度包は十八個、三封度包は十二個を以て一箱となす。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——八圓八十錢  
(但し協定は同上——六圓)

◎主要生産者

純正のマカロニー及びバアーミセリーは内地に於て生産されないが、之に代るべき麵類は殆んど全國的に生産され、就中姫路岡山及兵庫地方はその代表的生産地として普く知られてゐる。

年次	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—貫	—圓	—斤	—圓
11	35,929,710	31,364,815	—	—
12	37,303,724	31,564,251	—	—
13	37,515,052	32,296,881	180,791	63,819
14	35,522,478	32,684,375	126,067	50,216
昭和1	35,711,279	32,196,514	156,962	58,196
2	37,937,314	33,441,007	112,564	43,214
3	37,040,637	33,560,920	95,321	39,056
4	38,059,624	33,896,514	86,254	36,541
5	39,956,143	34,165,214	77,566	31,549

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
北海道	884,384貫	770,466圓
茨城	492,208	406,743
新潟	360,148	368,868
三重	594,880	431,376
兵庫	547,836	452,746
香川	863,310	646,693

主要國別輸入額

國名	數量	價額
伊太利	—	12千圓
佛蘭西	—	4
北米	—	14

◎主要輸入者

株式會社明治屋 (東京)  
龜屋商店 (シ)

◎外國競争者

アングレサント (伊太利)  
メーゾン・ブルート會社 (佛國)  
フエランドレナード會社 (シ)  
アメリカン・マカロニー會社 (米國)

◎輸入の主要原因

本品の原料とするセモリナ麥の産出なく、従つて内地に於ては純正品の生産なきためである。

◎輸入品と國産品の優劣

本品の純正なるものは國産なく、下等代用品として小麦粉を原料として製したるものは輸入品に比して品質頗る劣等にして、嗜好者の意を満足に足りない。

◎輸入防止の主要處置

輸入額少く、一部の嗜好者の需要に依るものなるを以て、特に輸入防止策を講ずる必要はない。

◎主要輸入者

株式會社明治屋 (東京)  
龜屋商店 (シ)  
三澤屋 (シ)

三五、ソー

ソーは從來専ら海外輸入に仰ぎつゝあつたが、外人用ソーは本邦人の嗜好に合致せず、本邦人向のものが漸次生産されるに至つて輸入漸減し、現在に於ては殆んど輸入を見

年次	價額
大正10	—
11	—
12	—
13	302,595
14	154,011
昭和1	168,195
2	177,459
3	100,563
4	158,291
5	166,351

年次	價額
大正10	10千圓
11	5



一〇〇斤に付——八圓八十錢  
(但し協定は同上——六圓)

◎主要生産者

純正のマカロニー及びバブアーミセリは内地に於て生産されないが、之に代るべき麵類は殆んど全國的に生産され、就中姫路岡山及兵庫地方はその代表的生産地として普く知られてゐる。

三五、ソ  
ー  
ス

ソースは從來専ら海外輸入に仰ぎつゝあつたが、外人用ソースは本邦人の嗜好に合致せず、本邦人向のものが漸次生産されるに至つて輸入漸減し、現在に於ては殆んど輸入を見ざるに至つた。

輸入ソースは英國製又は米國製が殆んど全部を占め、包装は罌詰と樽詰の二種がある。罌詰は大罌二打、中罌四打、小罌六打を以て夫々一箱となし、樽詰には五ガロン乃至十ガロン入の小樽、十六ガロン入の四半樽、三十二ガロン入の半樽、五十ガロン入の大樽の四種である。

◎輸入税率

樽入二〇斤に付——一圓八〇錢  
其他同上(容器共) 一〇圓八〇錢

◎主要生産者

- ブルドツグ食品株式會社(東京)
- 荒井商店(チキンソース)(シ)
- 大町信商店(M・I印)(シ)
- 白玉ソース株式會社(大阪)
- 山城屋(イカリ印)(シ)
- 越後屋商店(ミツヤ)(シ)
- アカハタソース本舗(シ)
- 愛知トマト製造株式會社(愛知)

	國 産 額		輸 入 額	
	數 量	價 額	數 量	價 額
大正10	—	699,722圓	—斤	—
11	—	568,944	—	—
12	—	885,901	—	—
13	—	924,292	692,765	302,595
14	—	379,959	310,156	154,011
昭和1	—	485,881	345,216	168,195
2	—	868,022	395,395	177,459
3	—	986,065	224,159	100,563
4	—	870,543	335,197	158,291
5	—	976,978	355,273	166,351

	國 産 額	
	數 量	價 額
大正10	—貫	—
11	35,929,710	31,364
12	37,303,724	31,564
13	37,515,052	32,296
14	35,522,478	32,684
昭和1	35,711,279	32,196
2	37,937,314	33,441
3	37,040,637	33,560
4	38,059,624	33,896
5	39,956,143	34,165

主要府縣別生産額

縣 名	數 量	價 額
北海道	—	37,318圓
千葉	—	23,482
東京	—	15,977
大阪	—	18,351

主要國別輸入額

國 名	數 量	價 額
英吉利	214,560斤	10千圓
北 米	112,059	5

主要府縣別生産額

縣 名	數 量	價 額
北海道	884,384貫	770,4
茨 城	492,208	406,7
新 潟	360,148	368,8
三 重	594,880	431,3
兵 庫	547,836	452,7
香 川	863,310	646,6

◎輸入品と國産品の優劣

本品の純正なるものは國産なく、下等代用品として小麦粉を原料として製したるものは輸入品に比して品質頗る劣等にして、嗜好者の意を満足に足りない。

◎輸入防止の主要處置

輸入額少く、一部の嗜好者の需要に依るものなるを以て、特に輸入防止策を講ずる必要はない。

◎主要輸入者

- 株式會社明治屋 (東京)
- 龜屋商店 (シ)
- 三澤屋 (シ)
- ウイトコトスキー商會 (横濱)

◎外國競争者

マコノキー兄弟株式會社(英國)  
リー・エンド・ペリンス (米國)  
右の中マコノスキー社製品は樽入を主とし、リー・エンド・ペリンス社製品は主として罌詰である。

◎輸入の主要原因

現今に於ては國內需要の大部分は國産品を以て充當し、輸入品は特殊の需要家に依つて極く少量の輸入を見るに過ぎない。

◎輸入品と國産品の優劣

品質に於て大差なく、而も價格は外國品の三分の一内外である。

◎輸入防止の主要處置

輸入額僅小なるを以て、特に防止策を講ずる必要なし。



三六、酢

酢は調味料として用ひられ、その製法に依つて醸造製品と混成品の別がある。其成分は品質に依つて異なるも主要成分たる醋酸の含有量は略一定し、三パーセント六パーセントである。

輸入品は主として混成品にして、包装は罇詰と樽入の二種あり、罇詰は大罇三打を以て一箱とし、樽入には五ガロン乃至十五ガロン入の小罇と三十ガロン入の半罇、及び四十七ガロン乃至五十ガロン入の大罇の三種がある。

◎輸入税率

一〇〇リットルに付——一八圓

◎主要生産者

- 株式会社中壱酢店 (愛知)
- 合名会社笹田本店 (名古屋)
- 大阪造酢株式会社 (大阪)
- 尾道造酢株式会社 (尾道)
- 帝國社 (横濱)

◎主要輸入者

- 株式会社明治屋 (東京)
- 龜屋商店 (〆)

年次	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	146,695石	2,369,787圓	—立	—圓
11	156,780	2,286,905	—	—
12	190,185	2,135,483	—	—
13	179,171	3,187,550	33,930	18,512
14	158,680	2,638,741	16,997	10,878
昭和1	143,468	2,112,322	25,456	15,654
2	144,848	2,138,298	32,112	21,562
3	156,722	2,095,714	22,356	13,556
4	159,463	2,153,163	22,163	13,112
5	166,544	2,059,137	15,629	9,656

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
埼玉	4,372石	84,862圓
東京	8,000	105,000
愛知	51,409	596,718
大阪	22,000	442,431
兵庫	24,594	158,250
岡山	7,023	146,056

主要國別輸入額

國名	數量	價額
英國	9,563立	6千圓
獨逸	5,165	3

◎外國競争者

本品の輸入は極く少量にして、英國クロス・エンド・ブラツクウエル會社の製品が最も有力である。

◎輸入の主要原因

國內に於ける本品の生産量は、國內需要を充して尙ほ餘りある状態なるを以て、外國品の輸入は生産不足又は價格低廉等の如き通常の輸入原因に基くものには非ずして、特別の事情即ち主として特殊の嗜好的需要に因るものである。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品には最も普遍的に賞用される粕酢を始めとし、米酢、又は清酒を原料とせるものが多く、輸入品には氷醋酸又は醋酸を原料とせる混成品が多い。故に輸入品は酸味辛烈にして本邦品に於けるが如き風味に乏しく、邦人の嗜好に適しない。

◎輸入防止の主要原因

一部の嗜好的需要に過ぎざるを以て、防止施設の必要なし。

三七、牛

肉

額價額

- 6,101,401圓
- 6,893,947
- 8,466,753
- 7,965,837
- 6,577,721
- 8,359,664
- 7,961,974
- 6,971,954
- 7,157,914
- 8,340,038

價額

- 5,789千圓
- 274
- 40
- 21
- 843

◎外國競争者

支那、滿州等の產品大部分にして就中支那山東省の產品は所謂青島牛の名を以て知られてゐる。

牛肉の成分は含窒素物、無窒素物窒素を含有せる溶解性エキス、灰分及び水分等にして、美味且つ滋養に富み各種肉類中需要最も多し。八歳未滿のもの最良とし、十二歳以上



◎主要生産者

- 株式会社中野酢店 (愛知)
- 合名會社笹田本店 (名古屋)
- 大阪造酢株式會社 (大阪)
- 尾道造酢株式會社 (尾道)
- 帝國社 (横濱)

◎主要輸入者

- 株式會社明治屋 (東京)
- 龜屋商店 ( )

三七、牛

肉

牛肉の成分は含窒素物、無窒素物窒素を含有せる溶解性エキス、灰分及び水分等にして、美味且つ滋養に富み各種肉類中需要最も多し。八歳未満のものを最良とし、十二歳以上のものは劣等である。

國內需要は逐年増加し、屠殺數も亦増加しつゝあるが、價格及びその他の關係上支那、關東州方面より多量に輸入さる。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——二圓

◎主要生産者

肉用牛の飼育も逐年進歩し、各府縣に於ける屠殺數は激増を示しつゝあるが、就中最も多く屠殺するは東京、大阪及兵庫等である。

◎主要輸入者

- 大橋畜産商會 (東京)
- 阿部五六七 ( )
- 吉川田之助 (神戸)
- 向井久吉 ( )

此の外貿易業者の手を経て輸入されるものも少くない。

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	79,732,103斤	53,713,505圓	241,893擔	6,101,401圓
11	13,198,642貫	51,697,106	267,739	6,893,947
12	13,743,400	53,617,441	328,616	8,466,753
13	13,779,939	53,550,251	274,867	7,965,837
14	13,482,482	53,562,480	211,345	6,577,721
昭和1	13,362,405	53,385,993	302,563	8,359,664
2	12,774,799	50,647,455	309,917	7,961,974
3	13,658,123	53,054,506	278,004	6,971,954
4	14,568,294	54,659,098	292,114	7,157,914
5	14,998,356	53,259,186	311,783	8,340,038

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
北海道	433,201斤	1,288,237圓
東 京	1,865,290	7,945,054
神奈川	428,021	1,815,776
愛 知	516,823	2,221,761
京 都	880,391	4,062,716
大 阪	1,691,954	7,355,878
兵 庫	986,933	3,821,293
廣 島	1,500,711	3,986,821

主要國別輸入額

國 名	數量	價 額
支 那	229,118擔	5,789千圓
關 東 州	10,458	274
加 奈 陀	1,225	40
伯 刺 西 爾	1,066	21
濠 太 刺 利	36,160	843

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
埼 玉	4,372石	84,8
東 京	8,000	105,0
愛 知	51,409	596,7
大 阪	22,000	442,4
兵 庫	24,594	158,2
岡 山	7,023	146,0

◎外國競争者

支那、滿州等の産品大部分にして就中支那山東省の産品は所謂青島牛の名を以て知られてゐる。

◎輸入の主要原因

消費量の激増に對して國內生産が不足である事、及び支那、滿州等は肉用牛の生産豊富にして頗る廉價に輸入し得る事等が輸入の主たる原因である。

◎輸入品と國産品の優劣

支那産牛肉は頗る美味であるが、本邦に輸入される間に相當の日數を要するため、輸入後に於ける味は新鮮なる内地牛肉に及ばない。

◎輸入防止の主要原因

國內の生産増加を圖ると共に輸入税を高率に引上げる必要がある。

◎國産奨勵の特別施設

政府は畜産試験場を設け、各府縣には種畜場あり、共に畜牛の改良及増殖を圖りつゝある。

◎輸入防止の主要原因

一部の嗜好的需要に過ぎざるを以て、防止施設の必要なし。

國産品には最も普遍的に賞用される粕酢を始めとし、米酢、又は清酒を原料とせるものが多く、輸入品には氷醋酸又は醋酸を原料とせる混成品が多い。故に輸入品は酸味辛烈にして本邦品に於けるが如き風味に乏しく、邦人の嗜好に適しない。



三八、肉類の罐詰

本品は鳥肉、獸肉及魚介類を罐、曬又は蜜詰等になしたるものにして其の主たるものは諸種の罐詰である油漬も亦罐詰の一種にして、魚類を一旦鹽漬となしたる後、取出して乾燥し水分を去り、油煮又は蒸して罐詰となし、オリブ油、棉子油、胡麻油等を注入し、加熱殺菌したるものである。

輸入品の包装は、普通一封度入二ダース又は四ダース、二封度入一ダース又は二ダースを一箱とす。

◎輸入税率

- (一)鳥獸肉類——價額の二割五分
(二)鰻油漬——百斤 六圓三錢
(三)魚介類——價額の二割

◎主要生産者

- 廣島畜産株式会社 (廣島)
廣島罐詰倉庫株式会社 (廣島)
淺技罐詰製造所 (廣島)
養精舎 (廣島)
若山國藏 (廣島)
濱口富三郎 (廣島)
宇和島畜産株式会社 (愛媛)
宇和島罐詰會社 (廣島)

Table with columns: 國産額 (Quantity, Price), 輸入額 (Quantity, Price). Rows include years 大正10-14 and 昭和1-5.

主要府縣別生産額

Table with columns: 縣名, 數量, 價額. Rows include 北海道, 青森, 東京, 京都, 大阪, 廣島, 福岡.

主要國別輸入額

Table with columns: 國名, 數量, 價額. Rows include 英吉利, 佛蘭西, 北米, 亞爾然丁, 其他南米諸國.

◎主要輸入者

- 三井物産株式会社 (東京)
株式會社明治屋 (東京)
太平洋貿易株式會社 (東京)
ダッツ兄弟商會 (東京)

◎外國競争者

鳥獸肉は主として、米國産品及南米産品にして、リビー、アンモアースキフト等の産品が競争者である。魚介類は米國産品、ノールウエー産品、及び佛蘭西産品である。

◎輸入の主要原因

輸入品の主なるものはコーンビーフ及びサーデン油漬である。コーンビーフは肉類の大量生産所に於ける屑肉を以て製したるものなるが故に價格低廉である。サーデン油漬は品質優良なるが故に輸入さる。

◎輸入品と國産品の優劣

コーンビーフ以外のものは品質價格共に大差なし。

◎輸入防止の主要處置

内地生産の増加を圖る事が急務。

三九、ソーセージ・ハム及ベーコン

ソーセージには罐詰と單に乾燥して錫箔に包みたるものととの兩種がある。何れも豚肉又は牛肉を細く刻み食鹽、香味料等を加へて軟塊とし獸類の筋に詰めたるものにして、俗に

Table with columns: 額 (Price), 額 (Price). Rows include prices like 31,151, 72,900, etc.

Table with columns: 額 (Price), 額 (Price). Rows include prices like 3,000圓, 14,000, etc.

◎主要輸入者

- 株式會社明治屋 (東京)
龜屋商店 (東京)
國分商店 (東京)
鈴木洋酒店 (東京)



三九、ソーセージ・ハム及ベーコン

- ◎主要生産者
- 廣島畜産株式会社 (廣島)
  - 廣島罐詰倉庫株式会社 (廣島)
  - 淺技罐詰製造所 (廣島)
  - 養精舎 (廣島)
  - 若山國藏 (廣島)
  - 濱口富三郎 (廣島)
  - 宇和島畜産株式会社 (愛媛)
  - 宇和島罐詰會社 (愛媛)

國産		數量	價額
大正10	2,600個	985,798貫	5,340
11	35,973	2,967,856	9,900
12	4,129,632	4,446,800	12,000
13	4,446,800	3,492,671	10,000
14	3,492,671	9,165,193	20,000
昭和1	9,165,193	8,677,318	18,000
2	8,677,318	11,314,304	23,000
3	11,314,304	12,563,294	24,000
4	12,563,294	12,864,391	24,000
5	12,864,391		

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
北海道	1,932,075貫	5,340
青森	945,141	1,520
東京	1,384,155	3,390
京都	659,375	850
大阪	708,959	1,210
廣島	1,276,244	2,970
福岡	799,248	730

屑肉を以て製したるものなるが故に價格低廉である。サーデン油漬は品質優良なるが故に輸入さる。

◎輸入品と國産品の優劣  
 コーンビーフ以外のものは品質價格共に大差なし。

◎輸入防止の主要處置  
 内地生産の増加を圖る事が急務。

ソーセージには罐詰と單に乾燥して錫箔に包みたるものとの兩種がある。何れも豚肉又は牛肉を細く刻み食鹽、香味料等を加へて軟塊とし獸類の筋に詰めたるものにして、俗に腸詰と稱す。

ハムは豚の腿肉、ベーコンは豚の腹肉、背肉又は腰肉を、鹽漬として燻製したるものである。包装は一肢毎に食鹽を附し外部を綿布にて包み箱又は樽に入れ食鹽を以て填充したるもの多し。

◎輸入税率

ソーセージ—百斤一六圓五〇錢  
 ハム及ベーコン—同一九圓五〇錢

◎主要生産者

- (ソーセージ) 江戸清商店 (東京)
- ローマイエル商會 (廣島)
- カール・レーモン (函館)
- (ハム及ベーコン) 富岡商會 (神奈川)
- 岡部商會 (廣島)
- 齋藤商會 (廣島)
- カール・レーモン (函館)

	國産		輸入	
	數量	價額	數量	價額
大正10	1,690,663斤	1,472,873圓	—斤	—圓
11	859,099	669,021	—	—
12	2,346,175	1,834,918	35,094	31,151
13	2,197,321	1,305,380	80,610	72,900
14	2,421,898	1,636,529	17,466	21,849
昭和1	2,174,011	1,541,557	—	56,965
2	2,437,355	1,610,118	—	70,883
3	2,414,618	1,360,819	—	77,870
4	2,568,964	1,450,914	—	81,273
5	2,859,294	1,506,298	—	85,296

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
北海道	26,131斤	15,258圓
東京	30,813	37,251
神奈川	1,966,548	1,008,792
三重	30,711	21,070
長崎	139,302	105,451

主要國別輸入額

國名	數量	價額
英吉利	—	3,000圓
北米	—	14,000
加奈陀	—	28,000
濠太刺利	—	29,000

◎主要輸入者

- 株式會社明治屋 (東京)
- 龜屋商店 (廣島)
- 國分商店 (廣島)
- 鈴木洋酒店 (廣島)
- 祭原商店 (廣島)
- 富屋商店 (廣島)
- 松下商店 (廣島)
- ワイマーク商會 (神戸)
- イースタン・エジエンシー(横濱)

◎外國競争者

- リビー社 (米國)
- アーモア社 (加奈陀)
- スウキフト社 (加奈陀)
- シー・イー・モルトン (英國)
- フィツチ・エンド・ソン (廣島)

◎輸入の主要原因

南米及加奈陀米國等に於ては豚肉豊富にして、本品の價格亦低廉なるが爲めであるが、近時國內に於ける生産増加のため、輸入は僅少である

◎輸入防止處置

輸入漸減しつゝあるを以て、特に防止施設の必要を認めず。



四〇、鹹魚

鹹魚は鮭、鱒、鱈、鯿等を鹽藏或は鹹水漬となしたるものにして、本邦に於ける生産額頗る多く海外に輸出されつゝあるが、一方北米加奈陀等より輸入されつゝある。而して輸入品は大部分北米及加奈陀沿岸に出現の本邦人の漁獲せるものなるを以て、一般輸入とは其の趣を異にしてゐる。

輸入鹹魚の中、米國及加奈陀方面より輸入されるものは、二百四十斤乃至四百六十斤の箱入り多く、露領沿岸方面より來るものは大部分無包装である。

◎輸入税率

一〇%

◎主要生産者

日魯漁業株式會社

(東京)

此の外北海道方面に大生産者多數あるも、大部分は日露漁業協約に依り、露領沿海州、カムチャツカ、サガレン方面に於て漁獲せるものである。而して魚の種類は鮭及鱒が大部分を占め、鹹鮭は國內に於ける需要少きため、その生産量も頗る僅少である。

魚

國産額			輸入額		
	數量	價額		數量	價額
大正10	9,588,163貫	12,440,286圓	.....	11,209,994斤	1,162,445圓
11	7,866,247	9,728,159	.....	12,388,553	1,745,130
12	11,625,431	13,854,864	.....	8,897,094	726,672
13	9,485,141	10,647,420	.....	31,897,906	2,755,502
14	9,437,672	11,508,290	.....	11,961,876	1,828,335
昭和1	11,430,824	9,539,614	.....	15,150,412	2,032,036
2	12,575,798	9,974,550	.....	18,421,844	1,402,043
3	12,899,418	9,341,080	.....	34,319,963	3,242,312
4	13,059,214	9,653,294	.....	505,055擔	4,912,257
5	13,258,356	9,546,273	.....	1,152,511	9,859,602

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
北海道	4,989,236貫	4,388,467圓
岩手	951,414	502,821
福井	849,213	652,022
山口	2,452,107	1,373,586

主要國別輸入額

國名	數量	價額
露領アジア	99,288斤	1,218千圓
北米	18,395	159
加奈陀	225,291	1,862

◎主要輸入者

本邦出稼人の漁獲物が大部分を占むるため、外國商人の手を経て輸入されるものは殆んど絶無にして、主として神戸、横濱及函館等の著名海産物問屋を経て輸入さる。

◎外國競争者

加奈陀、及びアラスカ方面の産品が競争者であるが、特に舉ぐべきものがない。

◎輸入の主要原因

鮭、鱒、鱈等は國內需要頗る多く鮮は臺灣、朝鮮方面に需要多きが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

輸入品も國産品も、同種類の魚を略同方面に於て漁獲せるもの多きため品質亦略同様にして、殆んど優劣を認めない。

◎輸入防止の主要處置

内地に於ける生産費の低減を圖ることが肝要である。

四一、バター

(牛酪)

バターには天然バター、人造バター及びギー等がある。天然バターの産地としては英、佛、オランダ、獨逸、デンマーク、北米等の諸國があり、本邦に於ける生産額も逐年増加

入額	價額
249,561圓	
572,816	
692,837	
766,285	
400,455	
792,952	
617,302	
386,974	
446,595	
451,256	

額	價額
1千圓	
51	
185	
91	
56	

◎主要輸入者

- 小牧榮助商店 (東京)
- 合同油脂グリセン株式會社(シ)
- 東洋罐詰合資會社 (横濱)
- 山口八十八商店 (シ)



◎主要生産者

日魯漁業株式會社 (東京)

此の外北海道方面に大生産者多數あるも、大部分は日露漁業協約に依り、露領沿海州、カムチャツカ、サガレン方面に於て漁獲せるものである。而して魚の種類は鮭及鱒が大部分を占め、鹹鮭は國內に於ける需要少きため、その生産量も頗る僅少である。

國産

年	數量	價額
大正10	9,588,163貫	12,400,000
11	7,866,247	9,700,000
12	11,625,431	13,800,000
13	9,485,141	10,600,000
14	9,437,672	11,500,000
昭和1	11,430,824	9,500,000
2	12,575,798	9,900,000
3	12,899,418	9,300,000
4	13,059,214	9,600,000
5	13,258,356	9,500,000

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
北海道	4,989,236貫	4,388,000
岩手	951,414	502,000
福井	849,213	652,000
山口	2,452,107	1,373,000

◎輸入品と國産品の優劣

輸入品も國産品も、同種類の魚を略同方面に於て漁獲せるもの多きため品質亦略同様にして、殆んど優劣を認めない。

◎輸入防止の主要處置

内地に於ける生産費の低減を圖ることが肝要である。

四一、バター

(牛酪)

バターには天然バター、人造バター及びギー等がある。天然バターの産地としては英、佛、オランダ、獨逸、デンマーク、北米等の諸國があり、本邦に於ける生産額も逐年増加しつつある。人造バターは牛脂より搾取し、ギーは水牛の乳汁より製したるものにして、何れもバターの代用に供せらる。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——三六圓九〇錢、但し協定天然バターは一〇〇斤に付三三圓六五錢。

◎主要生産者

- (バター)
- 北海道煉乳株式會社 (札幌)
- 極東煉乳株式會社 (札幌)
- 北海道製酪協會 (札幌)
- 森永製菓株式會社 (東京)
- 明治製菓株式會社 (東京)
- 藤井煉乳株式會社 (兵庫)
- 小岩井農場 (岩手)
- 大島畜産組合 (大島)
- (人造バター)
- 矢谷彦七工場 (東京)

輸入額

年	數量	價額
大正10	203,191斤	249,561圓
11	532,033	572,816
12	586,671	692,837
13	647,074	766,285
14	315,908	400,455
昭和1	701,420	792,952
2	543,552	617,302
3	325,975	386,974
4	384,795	446,595
5	395,621	451,256

國産額

年	數量	價額
大正10	866,501斤	1,126,570圓
11	910,786	1,157,452
12	994,853	1,173,425
13	1,387,011	1,607,232
14	1,417,457	1,702,388
昭和1	1,666,834	1,847,065
2	2,370,122	2,172,311
3	2,374,381	2,618,397
4	2,456,591	2,580,514
5	2,869,964	2,780,165

(天然バターの産額)

主要國別輸入額

國名	數量	價額
丁 抹	7斤	1千圓
北 米	294	51
加 奈 陀	1,558	185
濠太刺利	865	91
新 西 蘭	533	56

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
北海道	1,774,808斤	1,939,095圓
岩 手	25,278	42,973
千 葉	124,739	176,940
東 京	710,968	334,807
神奈川	381,765	143,717
靜 岡	90,195	114,206

◎主要輸入者

- 小牧榮助商店 (東京)
- 合同油脂グリセン株式會社(札幌)
- 東洋罐詰合資會社 (横濱)
- 山口八十八商店 (札幌)
- 株式會社明治屋 (東京)
- 龜屋商店 (札幌)
- 矢谷彦七商店 (札幌)
- 石井季男商店 (神戸)

◎外國競争者

- ウツドランド會社 (加奈陀)
- フレイザバレー會社 (札幌)
- ピーバンス會社 (札幌)
- ゴールデルステート會社(米國)

◎輸入の主要原因

内地生産の不足、外國品は概ね價格低廉なる事等に因る。

◎輸入品と國産品の優劣

品質價格共に外國品に幾分劣る。

◎輸入防止の主要原因

關稅の引上げ、内地生産業者の保護、防腐劑混入取締等が急務である



四二、チーズ (乾酪)

チーズには肥乾酪と瘠乾酪の二種がある。肥乾酪は多量に脂肪を含有せるもの即ち全乳より製し、瘠乾酪は脂肪の含量少きもの即ち脱脂牛乳より製したるものにして、何れも牛乳に攪の胃粘膜を加へ或は酸類を用ひて、乳汁中の乾酪素を分離凝固せしめたるものである。

輸入品の包装は罐詰又は罎詰或は木製の曲物入れ等多く、塊状のものは錫箔、膀胱、パラフィン紙及び綿布等にて包み箱入とす。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——二〇圓五〇錢

◎主要生産者

北海道煉乳株式會社 (札幌)  
トラピスト修道院 (北海道)  
宇都牧場 ( )

◎主要輸入者

株式會社明治屋 (東京)  
龜屋商店 ( )

◎外國競争者

グレヤ・チーズ (瑞西)

輸入額	
數量	價額
73,360斤	81,439圓
102,130	108,671
33,013	33,840
101,715	114,125
61,437	70,888
69,987	80,569
65,164	76,454
63,198	75,492
50,273	64,288
45,124	60,299

國産額		
數量	價額	
大正10	14,113斤	15,136圓
11	12,484	12,684
12	16,497	16,364
13	12,533	12,964
14	19,175	18,266
昭和1	24,208	18,712
2	25,073	19,542
3	35,809	33,665
4	36,964	34,112
5	37,568	34,258

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
北海道	34,281斤	32,498圓
千葉	1,178	754

主要國別輸入額

國名	數量	價額
北米	15,123斤	20千圓
瑞西	5,129	6
和蘭	14,195	19

◎輸入の主要原因

本品の内地に於ける生産は、北海道を始め各地に行はれつゝあるが、未だ完全なる製法に依るもの少く、品質粗悪且つ生産量僅少にして到底内地の需要を充すに足らざる状態である。而も需要は逐年増加しつゝあるを以て、輸入は止むを得ない。

◎輸入品と國産品の優劣

米國、瑞西其他各國よりの輸入チーズには夫々一長一短があるが國産品に比すれば何れも優良である。

◎輸入防止の主要處置

國産を振興し、品質の向上及び生産額の増加を圖ると共に、關稅策に依つて輸入を禁ずるの外なし。

◎政府の特別施設

本品の輸入に對し、十割の奢侈稅を課し輸入防止に努めてゐる。

◎主要輸入者

コールドリエ商會 (神戸)  
乾卵食料品株式會社 (大阪)  
酪素株式會社 ( )  
青木嵩山堂 ( )

四三、コンデンスドミルク

煉乳の國産額は逐年増加し、一部は海外に輸出されるに至つたが、而も輸入は依然として巨額に達してゐる。本品には甘味を附したるものと然らざるものとあり、何れも包装は

輸入額
價額
3,580,062圓
4,931,571
5,999,568
5,749,946
3,971,280
3,826,301
3,751,480
3,642,694
3,995,476
3,269,280

價額
13千圓
9
2,554
1,237



◎主要生産者

北海道煉乳株式会社 (札幌)  
 トラピスト修道院 (北海道)  
 宇都牧場 (〃)

◎主要輸入者

株式会社明治屋 (東京)  
 龜屋商店 (〃)

◎外國競争者

グレイヤ・チーズ (瑞西)

四三、コンデンスドミルク

煉乳の國産額は逐年増加し、一部は海外に輸出されるに至つたが、而も輸入は依然として巨額に達してゐる。本品には甘味を附したるものと然らざるものとあり、何れも包装は一封度罐入にして四打を一箱とす。乳粉即ち牛乳を蒸發乾涸せしめたるものも亦本品の一種に屬す。

◎輸入税率

乾きたるものは一〇〇斤(容器共)に付一三圓四〇錢。其他は同上八圓三〇錢。

◎主要生産者

北海道煉乳株式会社 (札幌)  
 明治製菓株式会社 (東京)  
 森永製菓株式会社 (〃)  
 岡山煉乳株式会社 (岡山)  
 北陸製乳株式会社 (石川)  
 八丈島煉乳株式会社 (八丈島)  
 藤井煉乳株式会社 (兵庫)  
 東洋煉乳株式会社 (静岡)  
 志大煉乳株式会社 (〃)  
 愛知煉乳株式会社 (愛知)  
 日本コナミルク株式会社 (東京)

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	13,083,834斤	5,529,658圓	6,007,162斤	3,580,062圓
11	11,874,934	5,109,900	7,503,882	4,931,571
12	14,083,426	6,025,352	9,542,990	5,999,568
13	16,218,505	6,869,398	9,557,365	5,749,946
14	15,631,282	6,159,949	6,871,725	3,971,280
昭和1	17,720,035	6,324,581	7,697,837	3,826,301
2	18,140,501	7,764,078	7,189,535	3,751,480
3	16,750,369	7,188,145	7,231,109	3,642,694
4	17,954,298	7,854,926	8,234,259	3,995,476
5	18,356,354	7,969,544	7,557,524	3,269,280

	國 産 額	
	數量	價 額
大正10	14,113斤	15,...
11	12,484	12,...
12	16,497	16,...
13	12,533	12,...
14	19,175	18,...
昭和1	24,208	18,...
2	25,073	19,...
3	35,809	33,...
4	36,964	34,...
5	37,568	34,...

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
北海道	6,801,480斤	3,238,533圓
東京	3,549,635	1,514,662
富山	468,450	140,535
石川	482,813	213,357
静岡	2,082,612	971,212
兵庫	1,281,165	478,130
岡山	605,174	197,100

主要國別輸入額

國 名	數量	價 額
英吉利	515斤	13千圓
瑞 西	462	9
北 米	66,438	2,554
濠太刺利	10,131	1,237

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
北海道	34,281斤	32,49
千葉	1,178	75

◎主要輸入者

コールドリエ商會 (神戸)  
 乾卵食料品株式会社 (大阪)  
 酪素株式会社 (〃)  
 青木嵩山堂 (〃)  
 武田長兵衛商店 (〃)

◎外國競争者

ネツスル・アングロスキス煉乳株式会社 (英、米、瑞西、濠洲等に工場を有し、鷲印コンデンスドミルクは最も名高い。)  
 ソーレル・スール會社 (米國)  
 ジョセフ・ネーザン會社 (英國)

◎輸入の主要原因

因襲的に外國品を崇拜する事、小賣商人が打算上外國品の取扱ひを喜ぶ事、外商の巧妙なる宣傳等が主たる原因である。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は輸入品に比し遜色なし。

◎輸入防止の主要處置

輸入品崇拜の觀念を打破すること  
 が最も肝要である。

◎輸入防止の主要處置

國産を振興し、品質の向上及び生産額の増加を圖ると共に、關稅策に依つて輸入を禁ずるの外なし。

◎政府の特別施設

本品の輸入に對し、十割の奢侈稅を課し輸入防止に努めてゐる。

1ズには夫々一長一短があるが國産品に比すれば何れも優良である。



四四、インファントフード

(粉末乳)

インファントフードは牛乳を蒸發乾燥せしめたるものに、穀粉、豆粉等を混じて製したるものにして、混入物に依つて種類頗る多く、従つてその成分も夫々相異つてゐるが、何れも小兒の哺育用又は滋養食料に供せらる。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——二四圓三〇錢

◎主要生産者

- 和光堂 (東京)
- 森永製菓株式会社 (札幌)
- 北海道煉乳株式会社 (札幌)
- 永井越作 (山形)

◎主要輸入者

- コードリエ商會 (神戸)
- 三井物産株式会社 (東京)
- 三共株式会社 (東京)
- 鳥居商店 (札幌)
- アングロ・スミス・ネツスル (横濱)
- 煉乳株式会社 (横濱)
- 嵩山堂 (大阪)
- 酪素株式会社 (札幌)
- 武田長兵衛商店 (札幌)

國産額		輸入額	
數量	價額	數量	價額
大正10	—圓	4,770斤	6,581
11	—	7,540	24,775
12	—	69,884	95,011
13	203,356	188,720	260,786
14	612,289	118,311	89,186
昭和1	1,718,201	261,429	317,384
2	1,319,175	249,234	388,098
3	525,074	312,969	390,586
4	1,199,385	299,747	385,281
5	1,201,798	312,568	394,293

(その他の類似品を含む)

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
北海道	—	6,098,836圓
千葉	—	1,966,895
東京	—	854,848
静岡	—	1,581,186
兵庫	—	481,916

主要國別輸入額

國名	數量	價額
英吉利	—	1,246千圓
佛蘭西	—	1,128
獨逸	—	375
瑞西	—	347
北米	—	429

(その他の類似品を含む)

◎外國競争者

- メリンスフード會社 (英國)
- マーレルソール會社 (米國)
- ユーナイテッド・デリー・アソシエーション (ク)
- ドライミル・コンパニー (ク)
- ネツスル・エンド・アングロ・スミス・コンデンスミルク會社 (ク)
- ブロードランツ・ミルク (ク)
- プログクツ株式会社 (濠州)

◎輸入の主要原因

主として内地生産額の不足に因るが、近年國産額漸次増加し、加ふるに品質向上したるため、輸入は漸減の傾向である。

◎輸入品と國産品の優劣

本品はラクトーゲンの輸入に依つて始めて本邦に宣傳せられたるものにして、内地に於ける生産の歴史は頗る淺きに拘らず、現在に於ては輸入品に比し遜色なきに至つた。

◎輸入防止の主要原因

國産品の眞價を紹介し、輸入品崇拜の謬見を打破する事が肝要である

四五、滋養食料

(肉エキス、ペプトン、ヘモグロビン、ソマ)

肉エキスは鳥肉及獸肉の有效成分を浸出し蒸發濃厚ならしめて製したるものにして、固形、糊状、又は流動體の各種がある。ペプトンは肉蛋白質に人工的消化法を施して製したるものにして、粉末状をなす。ソマ

入額	價額
—圓	—
160,216	61,761
317,384	388,098
390,586	385,281
367,924	

入額	價額
84千圓	88
122	9
82	

- 島久商店 (東京)
- 三組屋商店 (ク)
- 鳥居商店 (ク)
- 友田合資會社 (ク)
- 齋藤滿平藥局 (ク)
- 株式会社明治屋 (ク)



◎主要輸入者

コードリエ商會	(神戸)
三井物産株式會社	(東京)
三共株式會社	(東京)
鳥居商店	(東京)
アングロ・スミス・ネツスル	(横濱)
煉乳株式會社	(横濱)
嵩山堂	(大阪)
酪素株式會社	(大阪)
武田長兵衛商店	(東京)

四五、滋養食料

(肉エキス、ペプトン、ヘモグロビン、ソマ)

肉エキスは鳥肉及獸肉の有効成分を浸出し蒸發濃厚ならしめて製したるものにして、固形、糊状、又は流動體の各種がある。ペプトンは肉蛋白質に人工的消化法を施して製したるものにして、粉末状をなす。ソマトーゼも亦蛋白質に人工的消化法を施して製したるものにして、牛乳ソマトーゼ、アイゼンソマトーゼ等がある。ヘモグロビンは牛の血液より纖維素を除去して製す。此の外チスコット乳劑、ケプラー乳劑等も亦本項に屬するものである。

◎輸入税率

肉エキスは百斤(容器共)に付八六圓八〇錢。其他は價額の三〇%

◎主要生産者

宇和島罐詰株式會社	(宇和島)
三共株式會社	(東京)
武田長兵衛商店	(大阪)
菅井商店	(東京)
日本新藥株式會社	(京都)
◎主要輸入者	
近藤利兵衛商店	(東京)

年次	國産		輸入	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	—圓	—斤	—圓
11	—	—	—	—
12	—	2,762	—	—
13	—	10,200	69,624	160,216
14	—	93,750	31,363	61,761
昭和1	—	209,926	261,429	317,384
2	—	19,031	249,234	388,098
3	—	46,162	312,969	390,586
4	—	45,978	299,747	385,281
5	—	47,541	276,546	367,924

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
神奈川	—	39,700圓
石川	—	4,290
香川	—	2,159
沖繩	—	116

主要國別輸入額

國名	數量	價額
英吉利	1,244斤	84千圓
佛蘭西	1,028	88
獨逸	270	122
瑞西	147	9
北米	421	82

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
北海道	—	6,098,85
千葉	—	1,966,85
東京	—	854,84
静岡	—	1,581,15
兵庫	—	481,91

◎輸入品と國産品の優劣

本品はラクトーゲンの輸入に依つて始めて本邦に宣傳せられたるものにして、内地に於ける生産の歴史は頗る淺きに拘らず、現在に於ては輸入品に比し遜色なきに至つた。

◎輸入防止の主要原因

國産品の眞價を紹介し、輸入品崇拜の謬見を打破する事が肝要である

◎外國競争者

島久商店	(東京)
三組屋商店	(東京)
鳥居商店	(東京)
友田合資會社	(東京)
齋藤滿平藥局	(東京)
株式會社明治屋	(東京)
武田長兵衛商店	(大阪)
丸善藥店	(大阪)
フムウヅ社	(佛國)
ボビナイン社	(米國)
バレンタイン社	(獨逸)
バイエル社	(獨逸)
メルク社	(獨逸)

◎輸入の主要原因

各種類に依つてそれ々異なるも、外國品は概ね品質優良なるに基く。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は未だ海外品に及ばず。

◎輸入防止の主要處置

生産費の低減を圖ると共に、國産品の眞價宣傳に努力すべし。



四六、鳥

卵

鳥卵には鶏、鶉、家鴨、七面鳥其他各種鳥類のものがあるが、各國共通に廣く食用に供せられるものは鶏卵及び家鴨卵である。内地に於ける鶏卵及家鴨卵の生産は逐年激増しつつあるが、支那卵は頗る低廉なるため供給過剰に拘らず多額の輸入を見つゝある。

輸入鶏卵の包装は石油箱を利用し一箱の重量正味二十二斤乃至二十六斤、卵數二百四十個乃至三百六十個が普通である。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——六圓

◎主要生産者

全国各地の農家、養鶏場等に産し副業的生産が大部分を占む。

◎主要輸入者

内外鶏卵株式會社 (東京)  
植松商會 (神戸)

◎外國競争者

上海、天津、青島、濟南地方の産品が大部分である。

Table with columns for Year (大正, 昭和), Quantity (數量), Domestic Value (國産額), and Import Value (輸入額).

主要府縣別生産額

Table with columns for Prefecture (縣名), Quantity (數量), and Value (價額).

主要國別輸入額

Table with columns for Country (國名), Quantity (數量), and Value (價額).

(其他の國より輸入なし)

◎輸入品と國産品の優劣

品質に於ては國産品が遙かに優良である。従つて一般食用としては大部分内地品が用ひられるが、支那卵は價格頗る低廉にして又一時に多量を購入するに便利なるため、菓子原料、及び工業用として輸入さる。

◎國産振興の特別施設

養鶏は農家の副業として、農家經濟上重要なものである。故に政府に於ては夙に之を奨励し、又鶏卵の生産及販賣の圓滑を圖るため、乳肉卵共同處理規則、畜産物販賣斡旋及び受託販賣規則等を設けてゐる。又農林省には畜産試驗場あり、各府縣廳には種畜場ありて養鶏に關する改良増殖の設備、及び其の指導を爲しつゝある。更に各地に養鶏組合を組織せしめて、特に副業的養鶏を奨励しつゝある。

◎輸入防止の主要處置

政府の施設と相俟つて、一般民間に於ても副業的施設を完備し産卵の増加を圖る事が緊要である。

四七、清凉飲料水

清凉飲料水は其の製法に醱酵法を用ひず、又アルコールを含有せざる飲料にして、天然と人造の二種があり、又糖分を含むものと含まざるものとがある。何れも沸騰性を有し美

Table with columns for Price (價額) and Amount (額).

Table with columns for Price (價額) and Amount (額).

◎主要輸入者

龜屋商店 (東京)  
三組屋商店 (〆)  
コードリエ商會 (横濱)  
ロンポー・スズール商會(〆)



全国各地の農家、養鶏場等に産し副業的生産が大部分を占む。

◎主要輸入者

内外鶏卵株式會社 (東京)  
植松商會 (神戸)

◎外國競争者

上海、天津、青島、濟南地方の産品が大部分である。

四七、清涼飲料水

清涼飲料水は其の製法に醱酵法を用ひず、又アルコールを含有せざる飲料にして、天然と人造の二種があり、又糖分を含むものと含まざるものがある。何れも沸騰性を有し美味爽快にして特に夏季の飲用に適す本邦に輸入されるものは主として獨逸及佛蘭西品にして、包装は何れも罐詰箱入である。

◎輸入税率

一〇〇リットルに付——一六圓

◎主要生産者

日本麥酒鑛泉株式會社 (東京)  
三ツ矢サイダー、三ツ矢レモラ、平野水、三ツ矢シトロン、金線サイダー、金線シトロン等)  
大日本麥酒株式會社 (ク)  
(リボンタンサ及リボンシトロン)  
クリフオード・ウキルキンソン炭酸鑛泉株式會社 (神戸)  
(ウキルキンソン炭酸水)  
布引鑛泉株式會社 (ク)  
(布引タンサン、ダイヤモンドレモン)  
鈴木吉次郎(月姫サイダー)(豊橋)

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	18,029,060圓	—	—
11	—	19,339,378	—	—
12	—	16,448,809	—	—
13	—	27,878,211	17,620立	6,653圓
14	—	13,295,683	8,394	2,985
昭和1	—	21,801,860	7,954	2,638
2	—	13,925,010	7,860	2,598
3	—	18,398,544	7,339	2,112
4	—	19,656,289	7,682	2,376
5	—	20,355,186	7,850	2,059

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
北海道	—	775,477圓
埼玉	—	1,842,148
東京	—	2,789,779
神奈川	—	1,253,792
大阪	—	2,094,743
兵庫	—	3,949,273
福岡	—	1,028,426

主要國別輸入額

國 名	數量	價 額
支 那	—	359圓
海峽殖民地	—	63
英 吉 利	—	401
佛 蘭 西	—	168
北 米	—	398
加 奈 陀	—	59

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
北海道	65,631,373個	2,529,0
茨 城	98,002,457	3,322,0
千 葉	154,084,750	5,379,0
靜 岡	91,101,826	3,121,0
愛 知	317,037,119	11,074,3
兵 庫	78,377,287	3,181,8
鹿兒島	82,639,943	2,860,3

◎主要輸入者

龜屋商店 (東京)  
三組屋商店 (ク)  
コードリエ商會 (横濱)  
ロンボー・スゾール商會(ク)  
カルノー商會 (ク)

◎外國競争者

エビアン (佛國)  
ビー・シー・セレステン (ク)  
フランツ・ヨセフ (填國)  
アツポリナリス (英國)  
此他獨逸及米國産品

◎輸入の主要原因

輸入品は大部分醫學上又は持病家の常用に供せられるもの、又は在留外人の需要に依るものにして、一般需要は殆んどない。

◎輸入品と國産品の優劣

各種共外國品に比し遜色を認めず

◎輸入防止の主要處置

特殊の需要に依り且つ僅少額なるを以て、特に防止の必要はない。

農林省には畜産試験場あり、各府縣廳には種畜場ありて養鶏に關する改良増殖の設備、及び其の指導を爲しつゝある。更に各地に養鶏組合を組織せしめて、特に副業的養鶏を奨励しつゝある。

◎輸入防止の主要處置

政府の施設と相俟つて、一般民間に於ても副業的施設を完備し産卵の増加を圖る事が緊要である。



### 四八、麥

### 酒

麥酒は麥芽、ホップ及水を原料とし、之に酵母を加へて醸造せるものにして、麥芽の外に米、玉蜀黍、澱粉糖等を加へたものもある。輸入品は大部分普通麥酒であるが、稀に獨逸産白麥酒及黑麥酒等もある。

輸入品の包装は三十六ガロン大樽、十八ガロン入半樽、九ガロン入小樽等が普通であるが、英國産及米國産には罐詰箱入りがある。

#### ◎輸入税率

百リットルに付——一六圓四〇錢

#### ◎主要生産者

- 大日本麥酒株式會社 (東京)
- 日本麥酒鑛泉株式會社 (シ)
- 麒麟麥酒株式會社 (横濱)
- 帝國麥酒株式會社 (福岡)
- 日英釀造株式會社 (神奈川)
- 高砂麥酒株式會社 (臺灣)

#### ◎主要輸入者

- 株式會社明治屋 (東京)
  - 龜屋商店 (シ)
- 此の外、東京及大阪等の洋酒店に於て輸入する者少なからず。

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	674,428石	59,205,471圓	—立	—圓
11	670,453	100,678,763	—	—
12	769,591	65,771,340	—	—
13	670,261	55,361,251	321,791	165,080
14	808,723	83,528,856	58,984	20,058
昭和1	791,264	74,268,018	45,269	16,298
2	515,584	86,074,642	22,153	8,569
3	901,717	92,188,665	—	—
4	869,123	79,650,178	—	—
5	962,456	77,165,865	—	—

(近年殆んど輸入なし)

#### 主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
北海道	48,333石	5,060,584圓
東 京	183,560	20,169,630
神奈川	88,524	10,359,011
愛 知	108,560	11,097,444
大 阪	143,172	10,022,056
兵 庫	153,751	15,612,154
福 岡	109,200	11,620,400

#### 主要國別輸入額

國 名	數量	價 額
北 米	15,123立	5千圓
獨 逸	4,054	1

(昭和二年度の國別輸入額)

#### ◎外國競争者

獨逸産品最も多く、之に亞いで英國産品、和蘭産品、支那産品、米國産品等であるが、近年國産品の進出に依り、輸入は極く微々たるものである。

#### ◎輸入の主要原因

内地の生産過剰に拘はらず、特殊の需要に依つて輸入さる。

#### ◎輸入品と國産品の優劣

外國製麥酒には原料の配合及製法に依りエール、ホーター、スタウト等の各種がある。國産麥酒は本邦人の嗜好を本位とせるため外國製とは自ら風味を異にす。故に兩者の優劣を比較することは困難であるが、本邦人を本位として見れば、國産品が外國製品よりも優良である。

#### ◎輸入防止の主要處置

僅少の輸入を見つゝあるに過ぎざるを以て、特に防止の必要なく、之に介意せずして輸出の増進乃至國産振興を圖るべきである。

### 四九、葡 萄 酒

葡萄酒には赤、白の二種あり。本邦に於ける生産は歴史淺くして歐米産の如き優良品の生産なきため、多額の輸入を見つゝある。海外に於ける主産國は佛、伊、獨、澳、匈、ス

入 額	價 額
2,025,833圓	
2,397,146	
1,071,984	
1,910,099	
1,322,711	
1,227,811	
953,896	
922,137	
963,045	
269,782	

額	價 額
立 46千圓	
689	
90	
327	
26	
13	

#### 壽屋商店

(大阪)

#### ◎主要輸入者

- 株式會社明治屋 (東京)
- 龜屋商店 (シ)
- 神谷専兵衛本店 (シ)



日本麥酒鑛泉株式會社 (シ)  
 麒麟麥酒株式會社 (橫濱)  
 帝國麥酒株式會社 (福岡)  
 日英釀造株式會社 (神奈川)  
 高砂麥酒株式會社 (臺灣)

◎主要輸入者

株式會社明治屋 (東京)  
 龜屋商店 (シ)  
 此の外、東京及大阪等の洋酒店に於て輸入する者少なからず。

四九、葡 萄 酒

葡萄酒には赤、白の二種あり。本邦に於ける生産は歴史淺くして歐米産の如き優良品の生産なきため、多額の輸入を見つゝある。海外に於ける主産國は佛、伊、獨、澳、匈、スペイン、ポルトガル等にして、就中最も盛大に醸造されるは佛蘭西である。本邦の輸入品も佛蘭西最も多くスペイン、伊太利等の産品は之に亞ぐ。包装は凡て罎詰にして、大罎は一打、小罎は二打を以て一箱とす。尙ほ本品類似品としてシエリー、ヴェルモット、マデーラ、マルサラランラフアエル等あり、何れも國産少く歐米より輸入さる。

◎輸入税率

罎入は一〇〇リットルに付八一圓九〇錢。其他アルコールの含有量百分の十四を超えざるものは一〇〇リットルに付二六圓七〇錢。此の外細別は詳略す。

◎主要生産者

神谷傳兵衛 (東京)  
 宮崎光太郎 (山梨)  
 川上善兵衛 (新潟)

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	24,658石	2,860,014圓	3,870,064立	2,025,833圓
11	14,539	1,304,119	4,613,264	2,397,146
12	64,158	5,733,595	2,171,037	1,071,984
13	59,102	8,967,187	3,834,743	1,910,099
14	42,409	9,658,861	2,985,959	1,322,711
昭和 1	34,648	8,073,085	2,522,374	1,227,811
2	29,458	7,544,137	2,086,446	953,896
3	32,669	6,167,398	2,743,126	922,137
4	33,456	6,543,219	7,619,645	963,045
5	32,569	6,002,447	184,972	269,782

	國 産 額	
	數量	價 額
大正10	674,428石	59,20
11	670,453	100,67
12	769,591	65,77
13	670,261	55,36
14	808,723	83,52
昭和 1	791,264	74,26
2	515,584	86,07
3	901,717	92,18
4	869,123	79,65
5	962,456	77,16

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
東 京	17,891石	2,142,226圓
神奈川	2,322	225,268
新 潟	1,655	116,895
大 阪	3,941	3,149,960
兵 庫	2,412	208,819

主要國別輸入額

國 名	數量	價 額
英 吉 利	28千立	46千圓
佛 蘭 西	1,280	689
伊 太 利	92	90
西 班 牙	984	327
丁 抹	78	26
北 米	37	13

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
北海道	48,333石	5,060,5
東 京	183,560	20,169,6
神奈川	88,524	10,359,0
愛 知	108,560	11,097,4
大 阪	143,172	10,022,0
兵 庫	153,751	15,612,1
福 岡	109,200	11,620,4

壽屋商店

(大阪)

◎主要輸入者

株式會社明治屋 (東京)  
 龜屋商店 (シ)  
 神谷傳兵衛本店 (シ)

右の中神谷本店に於て輸入するものは、蜂印香竄葡萄酒の加工原料に供するものにして、輸入額最も多額である。

◎外國競争者

佛蘭西産品、スペイン産品、及び伊太利産品等。

◎輸入の主要原因

本邦に於ては原料たる葡萄の栽培盛大ならず、且つ佛、伊等の如く葡萄栽培に好適せざるため良質葡萄酒の生産僅少である。加ふるに葡萄酒製造の技術に於ても尙ほ幼稚なるため歐米産品の如き優良品なく、勢ひ輸入を仰ぐの外なき状態である。

◎輸入防止の主要處置

高級品の生産は至難であるが、先づ中等品以下の生産額増加を圖ることが急務である。

の嗜好を本位とせるため外國製とは自ら風味を異にす。故に兩者の優劣を比較することは困難であるが、本邦人を本位として見れば、國産品が外國製品よりも優良である。

◎輸入防止の主要處置

僅少の輸入を見つゝあるに過ぎざるを以て、特に防止の必要なく、之に介意せずして輸出の増進乃至國産振興を圖るべきである。



### 五〇、シヤンパン及リキユル

シヤンパンは多量に炭酸瓦斯を包  
 含せる起泡性葡萄酒にして、佛蘭西  
 産をシヤンパンと呼び、伊太利その  
 他の産品をスパークリングと稱す。  
 リキユルは飲料アルコールに砂糖及  
 び各種植物性エキス、芳香物等を混  
 和したるものにして、五〇%以上の  
 純アルコールを含有す。主産地は伊  
 太利及佛蘭西である。

#### ◎主要生産者

- 大正製酒株式会社 (東京)
- 神谷醸造株式会社 (〃)
- 千代田醸造相互會社 (〃)
- 室酒造株式会社 (〃)
- 攝津酒造株式会社 (兵庫)
- 江ヶ島酒造株式会社 (〃)
- 株式会社明治屋 (東京)
- 龜屋商店 (〃)
- ワキマーク商會 (神戸)
- 豊田商店 (横濱)
- 富屋商店 (大阪)
- 松下商店 (〃)
- 祭原商店 (〃)
- ロンポー・スゾール商會 (横濱)

年次	國産		輸入	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	4,582,615圓	—立	—圓
11	—	7,219,750	—	—
12	—	2,927,625	—	—
13	—	2,237,891	52,442	56,889
14	—	3,721,932	33,885	41,009
昭和1	—	2,838,065	288,851	245,343
2	—	3,145,595	241,477	249,880
3	—	3,118,394	298,827	310,089
4	—	3,566,293	900,144	540,106
5	—	3,456,359	81,212	140,813

#### 主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
東京	—	905,710圓
神奈川	—	151,972
大阪	—	535,180
兵庫	—	351,019
廣島	—	140,601
福岡	—	118,907
沖繩	—	239,382

#### 主要國別輸入額

國名	數量	價額
支那	18千立	6千圓
關東州	56	17
英吉利	98	126
佛蘭西	68	111
獨逸	39	18
和蘭	8	11
玖馬	2	5

#### ◎外國競争者

- ジ・エツチ・エム會社 (佛國)
- モエツト・シヤンドン會社 (〃)
- ポメリー・グレノー (〃)
- チンザノ會社 (伊太利)
- ハイルブロンネル會社 (獨逸)
- バージネット會社 (佛國)
- イー・キュゼニー會社 (〃)
- ゼット・フレリー會社 (〃)
- ポールス會社 (和蘭)

#### ◎輸入の主要原因

シヤンパンは原料及貯藏の關係上  
 本邦に於て生産されず、リキユルそ  
 の他の雜酒類は高價を厭はずして舶  
 來品を歓迎する爲めである。

#### ◎輸入品と國産品の優劣

シヤンパンは比較すべき國産品な  
 く、リキユルは外國品に比して概し  
 て劣等であるが、價格は外國品より  
 も頗る低廉である。

#### ◎輸入防止の主要處置

輸入稅率を引上げ、一方内地生産  
 業者を保護すると共に、生産者自ら  
 も品質向上に努むる事。

#### ◎主要輸入者

- 龜屋商店 (東京)
- 保々近藤合名會社 (〃)
- アイザツク商會 (神戸)
- クーパー商會 (〃)

### 五一、ウイスキー

ウイスキーは歐洲の原産であるが  
 現今に於ては各國に生産され、本邦  
 の生産額も逐年増加しつつある。然  
 れども主産地は依然歐洲にして、就  
 中英國は産額に於て又品質に於て世

年次	價額
大正10	621,190圓
11	724,697
12	620,896
13	973,888
14	416,890
昭和1	439,543
2	475,716
3	591,461
4	592,844
5	511,037

年次	價額
大正10	555千圓
11	3
12	28



江ノ島酒造株式会社

- 株式会社明治屋 (東京)
- 亀屋商店 (シ)
- ワキマーク商會 (神戸)
- 豊田商店 (横濱)
- 富屋商店 (大阪)
- 松下商店 (シ)
- 祭原商店 (シ)
- ロンポール・スズール商會 (横濱)

◎輸入品と國産品の優劣

シヤンパンは比較すべき國産品なく、リキユルは外國品に比して概して劣等であるが、価格は外國品よりも頗る低廉である。

◎輸入防止の主要處置

輸入税率を引上げ、一方内地生産業者を保護すると共に、生産者自らも品質向上に努むる事。

五一、ウイスキー

ウキスキーは歐洲の原産であるが現今に於ては各國に生産され、本邦の生産額も逐年増加しつつある。然れども主産地は依然歐洲にして、就中英國は産額に於て又品質に於て世界隨一である。英國に亞いで米國は産額豊富にして、本邦に輸入されるものは主として英國産品及び米國産品である。原料には大麥、玉蜀黍、ライ麥等が用ひられ、英國産は専ら大麥製、米國産は主として玉蜀黍製である。

◎輸入税率

原容量に對し純アルコールの容量百分の七を超えざるものは、一〇〇リットルに付二七圓八〇錢。其他の罎入りは一〇〇リットルに付一二四圓。其の外は一〇〇リットルに付七三圓九〇錢。

◎主要生産者

- 大正製酒株式会社 (東京)
- 帝國酒造株式会社 (シ)
- 神谷醸造株式会社 (シ)
- 千代田醸造相互會社 (シ)
- 攝津酒造株式会社 (兵庫)

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	260,658石	18,426,091圓	247,559立	621,190圓
11	254,748	20,489,326	274,676	724,697
12	269,246	19,965,253	223,242	620,896
13	303,591	33,509,385	335,199	973,888
14	337,487	24,759,756	130,645	416,890
昭和1	771,457	78,133,933	159,892	439,543
2	344,274	26,867,662	172,812	475,716
3	379,539	29,970,563	218,383	591,461
4	384,563	30,156,455	214,091	592,844
5	388,163	30,855,497	201,667	511,037

(燒酎類の産額)

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價
東 京	—	905
神奈川	—	151
大 阪	—	535
兵 庫	—	351
廣 島	—	140
福 岡	—	118
沖 繩	—	239

主要國別輸入額

國 名	數量	價 額
關 東 州	199千立	555千圓
英 吉 利	2	3
加 奈 陀	16	28

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
北海道	32,204石	2,426,539圓
群 馬	30,028	2,253,088
千 葉	38,713	3,098,214
東 京	35,232	2,806,739
京 都	31,687	2,061,379
福 岡	27,777	2,265,061
鹿兒島	36,568	2,912,778

◎主要輸入者

- 龜屋商店 (東京)
- 保々近藤合名會社 (シ)
- アイザツク商會 (神戸)
- クーパー商會 (シ)
- ウキルキンソン會社 (シ)
- ギロン商會 (横濱)
- ウキツトコスキー商會 (シ)
- アデー・カンブレドン商會 (シ)

◎外國競争者

- ジョン・ベツク會社 (英國)
- ジョン・ウオーカー會社 (シ)
- デステレリー・コンパニー (シ)
- ジョン・デュワー會社 (シ)

◎輸入の主要原因

英國産ウキスキーは獨特の長所を有するが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は殆んど全部合成ウキスキーにして、外國品と比較し難し。

◎輸入防止の主要處置

内地生産を保護助長せしむる事。



五二、食

鹽

食鹽には礦鹽と海鹽との二種あり  
 礦鹽は成層岩間に石膏又は方解石等  
 と共に存する天然物にして、純粹な  
 るものは無色であるが、多くは不純  
 物を含むため白色を呈す。海鹽は海  
 水より製したるものにして、本邦産  
 品は殆んど全部海鹽である。國産鹽  
 は内地需要を充すに足らずして關東  
 州、支那、アフリカ、スペイン等の  
 諸國より輸入さる。世界的主産國は  
 米、露、英、獨等である。

◎輸入税率

天日鹽(碎かざるもの)は一〇〇斤  
 に付一〇錢。其他は價格の三割又  
 朝鮮に於ける輸入は無税。

◎主要生産者

鹽田製鹽の主産地は瀬戸内海を廻  
 る十州地方、即ち播磨、備前、備中  
 備後、安藝、周防、長門、阿波、讃  
 岐、伊豫にして全國總産額の九割を  
 占め、製鹽業者一千七百餘名に達す  
 るも概ね小規模である。

◎主要輸入者

大日本鹽業株式会社 (東京)

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	858,504千斤	26,385,138圓	3,217,339擔	26,385,138圓
11	1,108,492	35,385,189	4,769,113	35,385,189
12	799,846	25,534,539	2,523,160	25,534,539
13	1,061,949	32,880,814	3,330,961	32,880,814
14	1,114,379	34,616,547	2,611,627	34,616,547
昭和1	1,023,556	32,568,556	3,215,694	3,661,341
2	1,031,897	29,865,556	3,639,940	3,594,499
3	1,063,146	31,165,626	3,787,998	3,732,242
4	1,324,466	35,686,612	4,776,797	4,415,426
5	1,125,664	34,124,862	5,118,832	3,985,718

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
兵庫	162,815,208斤	—
岡山	104,738,836	—
廣島	103,281,894	—
山口	151,887,119	—
徳島	91,157,920	—
香川	291,294,870	—
愛知	64,109,363	—

主要國別輸入額

國名	數量	價額
支那	2,383,062擔	1,791千圓
關東州	930,420	1,071
英吉利	65,844	188
獨逸	26,087	30
西班牙	218,680	350
埃及	163,603	298

◎外國競争者

- 東洋拓殖株式会社 (東京)
- 青島鹽納入組合 (〃)
- 旭硝子株式会社 (〃)
- 大日本人造肥料株式会社 (〃)
- 旭電化工業株式会社 (〃)
- 日本曹達株式会社 (〃)
- ラサ島燐礦株式会社 (〃)
- 東海晒粉株式会社 (和歌山)
- 日本染料製造株式会社 (大阪)
- 日本曹達工業株式会社 (山口)

◎輸入の主要原因

永裕鹽業股份有限公司 (青島)  
 ポートサイド鹽業株式会社 (埃及)  
 ソルト・ユニオン社 (スペイン)  
 サリネラ・エスパノラ社 (〃)

内地生産額は需要額の約七割を充  
 すに過ぎざるが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

氣候其他の關係上、内地品は外國  
 品よりも劣等にして高價である。

◎輸入防止の主要處置

輸入防止は殆んど不可能である。

五三、煙

草

煙草には普通紙卷煙草、葉卷煙草  
 及刻煙草の三種あり、紙卷には更に  
 兩切口付の兩種がある。世界に於け  
 る主産國は米國であるが、其他の各  
 國にも之を生産せざるはなく、本邦

額	價額
8,270,658圓	
4,078,913	
9,465,285	
3,989,872	
8,031,262	
3,615,608	
9,850,754	
3,419,822	
3,518,265	
6,600,015	

段は其他)

價額
1,419千圓
2,486
389
405
6,849

- リゲットマイアー (米國)
- アメリカンタバコ會社 (〃)
- ラ・フェルハ (獨逸)
- レームツマ (〃)



鹽田製鹽の主産地は瀬戸内海を廻る十州地方、即ち播磨、備前、備中、備後、安藝、周防、長門、阿波、讃岐、伊豫にして全國總産額の九割を占め、製鹽業者一千七百餘名に達するも概ね小規模である。

◎主要輸入者

大日本鹽業株式會社 (東京)

五三、煙草

煙草には普通紙卷煙草、葉卷煙草及刻煙草の三種あり、紙卷には更に兩切口付の兩種がある。世界に於ける主産國は米國であるが、其他の各國にも之を生産せざるはなく、本邦に於ても、需要を充して尙ほ過剩あり、海外に輸出しつゝあるが、高級品は逆に輸入さる。尙ほ特殊のものとして咀嚼煙草、嗅煙草等がある。

◎輸入税率

葉卷、紙卷煙草、及び刻煙草は三五%。咀嚼煙草は一斤に付二圓二三錢。嗅煙草は一斤に付五圓一七錢。其他三五%。

◎主要生産者

專賣局及臺灣朝鮮、總督府專賣局

◎主要輸入者

專賣局

◎外國競争者

(紙卷煙草)  
ウキルス (英國)  
ウエストミンスター ( )  
アルダス ( )

國産額		輸入額	
數量	價額	數量	價額
昭和 1	26,077,147,690本 6,310,889貫	110,171擔	8,270,658圓 4,078,913
2	28,630,399,390 6,218,612	105,897	9,465,285 3,989,872
3	31,743,489,485 6,359,852	77,131	8,031,262 3,615,608
4	32,404,637,120 6,182,057	112,367	9,850,754 3,419,822
5	31,965,168,142 6,456,324	75,921	3,518,265 6,600,015

(上段は卷煙草、下段は刻煙草) (上段は葉煙草、下段は其他)

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
東京	8,809,034,390本 568,348貫	—
仙臺	2,503,424,150 585,635	—
名古屋	3,625,328,280 588,995	—
大阪	6,225,210,380 178,673	—
熊本	1,905,001,440 438,979	—
鹿兒島	1,847,001,640 310,804	—

主要國別輸入額

國名	數量	價額
支那	26,250擔	1,419千圓
關東州	—	2,486
英領印度	8,100	389
比律賓諸島	8,759	405
北米	67,035	6,849

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
兵庫	162,815,208斤	—
岡山	104,738,836	—
廣島	103,281,894	—
山口	151,887,119	—
徳島	91,157,920	—
香川	291,294,870	—
愛知	64,109,363	—

◎輸入の主要原因

内地生産額は需要額の約七割を充すに過ぎざるが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

氣候其他の關係上、内地品は外國品よりも劣等にして高價である。

◎輸入防止の主要處置

輸入防止は殆んど不可能である。

リゲットマイアー (米國)  
アメリカンタバコ會社 ( )  
ラ・フェルハ (獨逸)  
レームツマ ( )  
(葉卷煙草)  
オリエント (マニラ)  
アルナムブラ ( )  
インスラユ ( )  
ゼルミナル ( )

(刻煙草)

ウキルス (英國)  
ブリテッシュ・アメリカン  
タバコ・コンパニー (米國)

◎輸入の主要原因

國産不足等に基くものでなく、主として在留外人及特殊需要者の嗜好に依り、高級品が輸入さる。

◎輸入品と國産品の優劣

葉卷及紙卷煙草は、外觀品質共に外國品に及ばない。

◎輸入防止の主要處置

内地製品の品種を増加し、品質を向上せしめて廣く内外人の嗜好に適應せしむることが肝要である。



五五、兔毛皮及同製品

毛皮には綿羊皮、山羊皮、狸皮、熊皮、獺皮、貂皮、鼬皮、猫皮、狐皮、獵虎皮、兎皮その他種類頗る多きも、其の用途に依り區別すれば、衣類及附屬品等に用ひらるゝ小動物の毛皮と、敷物、膝掛等に用ひらるゝ大野獸の毛皮の二種にして、小動物毛皮は毛の付きたる儘鞣して後粗毛を抜き、大野獸毛皮は天然の形體及び毛色を保存して用ふるのが普通である。輸入毛皮は主として支那、濠洲方面の産品である。

◎輸入税率

綿羊皮及山羊皮中鞣したるものは百斤に付九圓四〇錢。鞣さざる綿羊皮及山羊皮は無税。  
其他の毛皮は價格の四〇%

◎主要生産者

福井菊三郎、伊藤勝太郎、越島新三郎、秋葉源三郎、松谷毛皮製造所、日本皮革株式會社、廣田辰三郎、早川道助(以上東京)  
井畑徳三郎、北村春、柳生商店、永樂商店、横田商店(以上大阪)  
日本毛皮株式會社、鷺田毛皮店、

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	293,321枚	4,374,581圓	—枚	492,113圓
11	13,352	274,722	—	653,850
12	36,171	292,552	—	558,350
13	24,197	223,218	—	1,264,285
14	140,259	418,404	—	1,635,999
昭和1	174,348	216,996	—	341,378
2	218,508	2,106,494	—	172,500
3	420,387	3,272,680	126,996	228,682
4	246,564	4,296,568	197,113	216,384
5	268,569	4,368,056	94,410斤	93,118

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
北海道	16,305枚	56,400圓
東京	86,000	162,300
岐阜	2,200	15,400
静岡	15,000	28,500

主要國別輸入額

國名	數量	價額
支那	925枚	70千圓
英領印度	29	23
英吉利	85	10
北米	114	46

◎主要輸入者

中村新八、松下熊槌(以上函館)  
明治製革株式會社 (東京)  
井畑徳三郎 (大阪)  
三井物産株式會社 (東京)  
株式會社浪速商會 (大阪)  
北村春 (東京)  
關根商店 (東京)  
奥田與助商店 (東京)

◎外國競争者

レビレン・フレック (佛國)  
ロバートアップルバイ商會(英國)  
チャールスデー (イギリス)  
此の外支那滿州及蒙古産品等。

◎輸入の主要原因

毛皮は需要頗る多きに拘らず、内地生産少きためである。

◎輸入品と國産品の優劣

精製の技術に於ては遜色なし。

◎輸入防止の主要處置

原料毛皮に優良品なきため、或程度輸入は止むを得ず。

五五、兔毛皮及同製品

兎の毛は切取りてフェルト帽子その他の材料に供せられ、毛皮は衣類附屬品その他の毛皮細工に用ひられて用途頗る廣し。兎は歐洲、濠洲、ニュージランド等に多く産し、本

額
價額
—圓
467,650
1,143,268
444,637
324,561
112,539
95,214
6,544
4,512

價額
2千圓
1

ロバートアップルバイ商會(英國)  
チャールスデー商會 (イギリス)  
エス・アンド・ビー・リンググード (イギリス)  
センネット・ブラザース (イギリス)



羊皮及山羊皮は無利  
其他の毛皮は價格の四〇%

◎主要生産者

福井菊三郎、伊藤勝太郎、越島新三郎、秋葉源三郎、松谷毛皮製造所、日本皮革株式會社、廣田辰三郎、早川道助(以上東京)  
井畑徳三郎、北村春、柳生商店、永樂商店、横田商店(以上大阪)  
日本毛皮株式會社、鷺田毛皮店、

五五、兔毛皮及同製品

兎の毛は切取りてフェルト帽子その他の材料に供せられ、毛皮は衣類附屬品その他の毛皮細工に用ひられて用途頗る廣し。兎は歐洲、濠洲、ニュージールランド等に多く産し、本邦に於ては飼兎、野兎共に相當多數にして近年輸出しつゝあるが而も尙ほ濠洲其他各國より輸入さる。

◎輸入税率

毛皮は價格の四割、毛皮製品は價格の五割。

◎主要生産者

伊藤勝太郎商店 (東京)  
秋葉幸三郎商店 (シ)  
秋葉源三郎商店 (シ)  
越島新三郎商店 (シ)  
森村商店 (京都)  
横田商店 (神戸)

◎主要輸入者

三井物産株式會社 (東京)  
ジイ・エフ・クリアランドスキー(シ)  
株式會社浪速商會 (シ)  
帝國製帽株式會社 (濱松)

◎外國競争者

國産		數量	價額
大正10	293,321枚	4,3	
11	13,352	2	
12	36,171	2	
13	24,197	2	
14	140,259	4	
昭和1	174,348	2	
2	218,508	2,1	
3	420,387	3,2	
4	246,564	4,2	
5	268,569	4,3	

國産			輸入		
數量	價額	圓	數量	價額	圓
大正10	293,321枚	374,581	—	—	—
11	13,352	194,559	—	—	—
12	36,171	292,552	—	467,650	
13	24,197	93,790	—	1,143,268	
14	140,259	376,555	—	444,637	
昭和1	159,246	410,514	—	324,561	
2	568,764	1,321,056	—	112,539	
3	786,965	1,865,042	—	95,214	
4	986,514	2,568,162	—	6,544	
5	1,425,068	3,254,126	—	4,512	

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
北海道	16,305枚	56,
東京	86,000	162,
岐阜	2,200	15,
静岡	15,000	28,

主要國別輸入額

縣名	數量	價額	國名	數量	價額
北海道	256,125枚	632,054圓	英吉利	—	2千圓
東京	54,656	124,219	佛蘭西	—	1
大阪	45,219	101,544	(近年輸入殆んどなく) 反つて輸出激增せり)		
岡山	20,149	5,968			

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
北海道	256,125枚	632,054圓
東京	54,656	124,219
大阪	45,219	101,544
岡山	20,149	5,968

◎輸入の主要原因

毛皮は需要頗る多きに拘らず、内地生産少きためである。

◎輸入品と國産品の優劣

精製の技術に於ては遜色なし。

◎輸入防止の主要處置

原料毛皮に優良品なきため、或程度輸入は止むを得ず。

◎輸入の主要原因

近年本品の國內需要は激増しつゝあるに拘らず、特殊なるもの又は特殊の事情に依つて輸入さる。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は製造技術に於て幾分外國品に及ばず、加ふるに工場設備の不完全、染料の不足等のため、製品は光澤及染色の點に於て外國品より稍々劣る。

◎輸入防止の主要處置

内地に於ける兎の飼養を奨励し、原料毛皮の増産を圖る事が先決問題である。

◎政府の特別施設

農林省は地方廳を通じて、兎の飼育を奨励しつゝある。



### 五六、牛皮及水牛皮

牛及水牛皮の生皮を鞣したるものは靴、馬具、軍隊背囊、學生用鞆等の原料に供せらる。世界的産地は牛に於ては支那、安南、印度、濠洲、北米、チリ、ブラジル等を主とし、水牛にありては印度、安南、海峽殖民地、南部支那等が主たる産地である。

本邦へ輸入されるものは支那、北米、濠洲等の産品が大部分を占め、支那、印度産品は乾燥せるものが多く米國及濠洲産は大部分鹽漬せるものである。

#### ◎輸入税率

牛皮及水牛皮共に無税

#### ◎主要生産者

全國の屠殺場

#### ◎主要輸入者

- 大倉商事株式會社 (東京)
- 三井物産株式會社 (〃)
- 三菱商事株式會社 (〃)
- 米國貿易株式會社 (〃)
- 日本皮革株式會社 (〃)
- 明治製革株式會社 (〃)

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	333,822頭	—	150,952擔	6,642,698圓
11	339,859	—	107,649	4,946,083
12	337,364	—	141,211	6,094,606
13	344,450	—	183,733	7,880,684
14	318,310	—	153,176	8,190,288
昭和1	301,750	—	263,816	12,558,381
2	306,453	—	184,879	7,978,932
3	335,046	—	169,331	8,206,641
4	341,269	—	229,453	10,592,650
5	355,412	—	198,554	7,270,331

(牛及犢の屠殺數)

#### 主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
北海道	13,808頭	—
東京	39,035	—
京都	21,266	—
大阪	43,511	—
兵庫	26,048	—
廣島	30,333	—
福岡	13,842	—

#### 主要國別輸入額

國名	數量	價額
支那	104,590擔	4,788千圓
英領印度	5,557	66
暹羅	7,201	106
英吉利	2,963	208
佛蘭西	832	57
北米	39,307	2,600
亞爾然丁	1,711	114
濠太刺利	2,050	122

#### ◎外國競争者

- 櫻組工業株式會社 (東京)
- 秋元皮革株式會社 (〃)
- 日華皮革貿易會社 (大阪)

#### ◎輸入の主要原因

内地に於ける皮革工業の發達は著しく、多量の原料皮革を必要とするに拘らず、國産額は之に伴はずして常に生産不足を告げつゝあり。加ふるに國産品は靴皮革等の製造原料として不適當なる爲に多く輸入さる。

#### ◎輸入品と國産品の優劣

牛皮は牝牛皮と牡牛皮とに依り夫々性質を異にす。而して國産牝牛皮は米國産牝牛皮よりも品質劣等であるが、牝牛皮は表皮に疵少く、外國よりも品優良である。

#### ◎輸入防止の主要處置

牛の飼畜を奨励することは、單に皮のみならず、肉の輸入防止をも兼ねるを以て最も緊要である。

#### ◎外國競争者

本品の印度に於ける市場はボンベイ、カルカッタ等にして、附近生産者及小商人は何れも是等市場を経て

### 五七、緬羊革及山羊革

緬羊革及山羊革の海外より輸入されるものは印度産殊に多く、一般に印度羊皮と種へられてゐる。緬羊皮及山羊皮をタンニン液に依つて鞣製したるものにして、輸入品を再製し

入額	價額
2,889,020圓	
2,572,610	
2,746,263	
3,051,472	
3,008,297	
3,181,318	
2,832,466	
3,449,169	
3,166,940	
3,214,512	

價額
2,281千圓
323
744
12
74



◎主要生産者

全国の屠殺場

◎主要輸入者

- 大倉商事株式会社 (東京)
- 三井物産株式会社 (〃)
- 三菱商事株式会社 (〃)
- 米國貿易株式会社 (〃)
- 日本皮革株式会社 (〃)
- 明治製革株式会社 (〃)

五七、 緬羊革及山羊革

緬羊革及山羊革の海外より輸入されるものは印度産殊に多く、一般に印度羊皮と種へられてゐる。緬羊皮及山羊皮をタンニン液に依つて鞣製したるものにして、輸入品を再製し或は着色して椅子張、馬車及汽車の座席張、鞆、製本、座布團、財布等の材料に供す。

輸入品の包装は粗麻布又はアンペラ包みを普通とし、一包千枚入の重量約四百二十斤内外である。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——二四圓

◎主要生産者

緬羊及山羊の内地に於ける飼育數少く、其の皮の生産者としては殆んど擧ぐべきものがなく。

◎主要輸入者

- 天海商店 (東京)
- 大宮商店 (〃)
- 明治製革株式会社 (〃)
- 井畑徳三郎商店 (大阪)
- 北村春商店 (〃)
- 合名會社吉比商店 (〃)

	國 産 額		輸 入 額	
	數 量	價 額	數 量	價 額
大正10	9,349頭	—	1,367,038斤	2,889,020圓
11	8,016	—	1,373,685	2,572,610
12	8,853	—	1,496,579	2,746,263
13	9,336	—	1,387,659	3,051,472
14	11,835	—	1,108,906	3,008,297
昭和1	11,825	—	1,282,205	3,181,318
2	12,512	—	1,145,556	2,832,466
3	13,922	—	1,391,327	3,449,169
4	13,969	—	1,309,965	3,166,940
5	14,516	—	1,456,298	3,214,512

(緬羊及山羊の屠殺數)

	國 産 額	
	數 量	價 額
大正10	333,822頭	—
11	339,859	—
12	337,364	—
13	344,450	—
14	318,310	—
昭和1	301,750	—
2	306,453	—
3	335,046	—
4	341,269	—
5	355,412	—

(牛及犢の屠殺數)

主要府縣別生産額

縣 名	數 量	價 額
北海道	332頭	—
岩 手	90	—
東 京	303	—
神奈川	223	—
長 崎	1,702	—
鹿兒島	4,550	—
沖 繩	6,453	—

主要國別輸入額

國 名	數 量	價 額
英領印度	9,622斤	2,281千圓
佛領印度支那	1,363	323
英 吉 利	2,640	744
獨 逸	39	12
北 米	138	74

主要府縣別生産額

縣 名	數 量	價 額
北海道	13,808頭	—
東 京	39,035	—
京 都	21,266	—
大 阪	43,511	—
兵 庫	26,048	—
廣 島	30,333	—
福 岡	13,842	—

◎外國競争者

本品の印度に於ける市場はボンペイ、カルカッタ等にして、附近生産者及小商人は何れも是等市場を経て海外に輸出す。その主たる取扱者左の如し。

- ムクンス・ピレ (印度)
- アブヅル・ハキム商會 (〃)

◎輸入の主要原因

本品はその用途頗る多方面に亘り従つて國內に於ける需要は逐年増加しつゝあるに拘らず、國産品として見るべきもの殆んどなく、印度産品は品質優良にして比較的廉價なるが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

輸入品に對比し、優劣を比較すべき國産品なし。

◎輸入防止の主要處置

本品の内地生産増加を圖るの外なく、緬羊及山羊の飼育を奨励することが急務である。同時に關稅に就いても亦考慮を要す。

◎輸入防止の主要處置

牛の飼畜を奨励することは、單に皮のみならず、肉の輸入防止をも兼ねるを以て最も緊要である。

牛皮は牝牛皮と牡牛皮とに依り夫々性質を異にす。而して國産牝牛皮は米國産牝牛皮よりも品質劣等であるが、牝牛皮は表皮に疵少く、外國よりも品優良である。



五八、塗、染及着色革

塗り革は犢又は海豹、綿羊、山羊或は薄く剥ぎたる牛馬革等を、顔料及假漆を以て塗りたるものにして、防水用及び裝飾用に用ひらる。普通黒色であるが、各種の色相のものもあり、帽子の庇、佩劍の帶革、儀式用靴、提靴等の材料に供す。

染め革及び着色革は、牛皮、水牛皮、馬皮、綿羊皮、山羊皮等を鞣したる後、樹皮染料又は化學藥を以て染色又は着色せるものにして、モロツロ革、露西亞革、キツト革等の種類が是れである。主として提靴、オペラバッグ、手袋、製本用等に供せらる。

◎輸入税率

塗革は價格の二割。  
染革は一〇〇斤に付一四五圓。  
着色革は染革に同じ。

◎主要生産者

- 山陽皮革株式会社 (姫路)
- 北中製革所 (大阪)
- 日本皮革株式会社 (東京)
- 明治製革株式会社 (〃)
- 秋元皮革株式会社 (〃)

年次	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	21,553,158圓	175,303斤	1,520,760圓
11	—	19,064,143	259,979	1,752,250
12	—	17,174,094	259,040	1,677,916
13	—	16,997,358	328,095	2,447,185
14	—	20,977,923	273,815	2,279,572
昭和1	—	18,566,294	383,848	2,303,557
2	—	13,212,542	311,342	2,629,243
3	—	19,256,214	247,250	2,372,925
4	—	20,156,942	210,988	2,021,096
5	—	22,455,196	199,571	1,522,574

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
東京	—	2,156,289圓
兵庫	—	1,286,944
岡山	—	1,123,219
大阪	—	7,568,126
愛知	—	965,412
北海道	—	1,356,123

主要國別輸入額

國名	數量	價額
英吉利	45斤	38千圓
獨逸	450	467
和蘭	54	50
北米	1,903	1,794
加奈陀	7	7
濠太刺利	9	9

◎主要輸入者

- 丸二商店 (横濱)
- 南里貿易株式会社 (〃)
- 株式会社由良商店 (大阪)
- 合名會社吉比商店 (〃)
- 田端商店 (東京)
- 野崎商店 (〃)
- 敷井商店 (大阪)

◎外國競争者

- ローレンス・レザー會社 (米國)
- キーストン・レザー會社 (〃)
- フィスター・ボーゲル會社 (〃)
- ダンカンフッド會社 (〃)
- コーネリス會社 (獨逸)

◎輸入の主要原因

輸入品の主たるものは水牛皮及山羊皮を原料とするカーフキツド、カーフボックス等にして、優良なる國産品なきためである。

◎輸入防止の主要處置

本品の原料皮は大部分内地生産の見込みあるを以て、産額の増加及び品質の向上を圖る事が急務である。

五九、靴底革

靴底革は堅牢なる牛革を以て製したるものにして、内地品は數量の不足のため、米國その他より毎年多額の輸入を見つゝある。

年次	價額
大正10	2,938,262
11	1,987,278
12	1,868,165
13	1,892,819
14	1,589,356
昭和1	1,745,341
2	1,604,830
3	1,244,290
4	1,113,091
5	592,332

價額
6千圓
1,234

◎外國競争者

- 株式会社由良商店 (大阪)
- 合名會社吉比商店 (〃)

- カルマン・サルツ商會 (米國)



塗革は價格の二割。  
 染革は一〇〇斤に付一四五圓。  
 着色革は染革に同じ。

◎主要生産者

- 山陽皮革株式会社 (姫路)
- 北中製革所 (大阪)
- 日本皮革株式会社 (東京)
- 明治製革株式会社 (〃)
- 秋元皮革株式会社 (〃)

五九、靴底革

靴底革は堅牢なる牛革を以て製したるものにして、内地品は數量の不足のため、米國その他より毎年多額の輸入を見つゝある。

輸入品の包装は十枚を一巻とし單に麻繩を以て括りたる儘にして、一巻の重量は百二十封度乃至二百三十封度である。

◎輸入税率

バック、バット、バンド、ストリップ其他之に類似するもの、及び靴底革に裁ちたるものは一〇〇斤に付二七圓一〇錢。

其他は一〇〇斤に付一五圓二〇錢

◎主要生産者

- 日本皮革株式会社 (東京)
- 明治製革株式会社 (〃)
- 合名會社田中製革所 (〃)
- 秋元皮革株式会社 (〃)
- 山陽皮革株式会社 (姫路)
- ◎主要輸入者
- 三井物産株式会社 (東京)
- 大阪屋商店 (〃)
- 野崎商店 (〃)

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	1,081,606枚	18,890,061圓	2,332,153斤	2,938,262
11	1,109,043	14,890,033	1,828,055	1,987,278
12	998,886	13,859,874	1,468,897	1,868,165
13	1,070,764	14,690,168	1,686,059	1,892,819
14	1,143,473	17,266,325	1,263,193	1,589,356
昭和1	1,488,993	27,456,983	1,579,745	1,745,341
2	1,994,370	34,425,515	1,338,813	1,604,830
3	1,844,702	33,752,601	802,815	1,244,290
4	1,638,481	32,243,948	886,189	1,113,091
5	1,763,219	32,256,459	502,459	592,332

(牛革全體の産額)

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
東京	582,779枚	10,772,860圓
神奈川	7,000	146,500
大阪	176,281	3,278,499
兵庫	254,923	3,150,689
奈良	3,490	127,390
和歌山	406,356	3,667,858

主要國別輸入額

國名	數量	價額
支那	56斤	6千圓
北米	7,938	1,234

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
東京	—	2,156,
兵庫	—	1,286,
岡山	—	1,123,
大阪	—	7,568,
愛知	—	965,
北海道	—	1,356,

◎輸入の主要原因

輸入品の主たるものは水牛皮及山羊皮を原料とするカーフキツド、カーフボックス等にして、優良なる國産品なきためである。

◎輸入防止の主要處置

本品の原料皮は大部分内地生産の見込みあるを以て、産額の増加及び品質の向上を圖る事が急務である。

◎外國競争者

- 株式会社由良商店 (大阪)
- 合名會社吉比商店 (〃)
- カルマン・サルツ商會 (米國)
- ワグナー會社 (〃)
- キルビー會社 (〃)

◎輸入の主要原因

主として品質及價格に基く。即ち米國製品は鞣法進歩せるため靴底に製作する際作業容易にして、而も耐久力に富み、加ふるに材料豊富にして、比較的廉價に購入し得るが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

品質に於て米國品に及ばざる點少なからず、加ふるに價格に於ては相當高率の關稅あるに拘はらず、尙ほ輸入品が安價である。

◎輸入防止の主要處置

製造技術に於ては外國に劣らず、又内地生産の増加容易なるを以て、或る期間關稅を引上げて内地生産を保護すれば、輸入を防止し得べし。



### 六〇、ローラーレザー

ローラーレザーは綿羊皮を鞣した  
 後、両面を平滑に仕上げたるもの  
 にして、茶褐色を帯び、光澤ありて  
 強靱である。用途は種々あるも紡績  
 機の轉子用最も多く、本邦に於ける  
 生産は需要を充すに足らざるため英  
 國、米國等より輸入さる。

輸入品は普通幅十七吋乃至二十四  
 吋、長さ二十一吋乃至二十七吋半の  
 長方形にして、包装は亜鉛板を以て  
 裏張りせる箱に詰め、三十ダース乃  
 至五十ダースを一箱とす。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——八六圓八〇錢

◎主要生産者

日本皮革株式会社 (東京)

◎主要輸入者

- 三井物産株式会社 (東京)
- 天海商店 (〃)
- 大宮商店 (〃)
- 明治製革株式会社 (〃)
- 井畑徳三郎商店 (大阪)
- 合名會社吉比商店 (〃)
- 北村春商店 (〃)

國 産 額			輸 入 額		
年 次	數 量	價 額	年 次	數 量	價 額
大正10	209頭	—	10	15,357斤	254,976圓
11	336	—	11	39,952	689,466
12	242	—	12	18,001	307,456
13	244	—	13	26,643	402,621
14	296	—	14	19,527	394,163
昭和1	232	—	1	21,016	322,850
2	378	—	2	10,821	145,871
3	606	—	3	7,291	109,742
4	615	—	4	10,387	162,859
5	609	—	5	6,855	96,584

(綿羊の屠殺數)

主要府縣別生産額

縣 名	數 量	價 額
北海道	323頭	—
岩 手	88	—
宮 城	42	—
長 崎	53	—
熊 本	63	—

(綿羊の屠殺數)

主要國別輸入額

國 名	數 量	價 額
英 吉 利	73斤	109千圓

◎外國競争者

アメリカン・ハイド・エンド・  
 レザー會社 (米國)  
 オメロード會社 (英國)

◎輸入の主要原因

紡績業の發達に伴れ、本品の需要  
 額は逐年激増しつゝあるに拘はらず  
 國內に於ける生産は到底之に伴はざ  
 るため輸入さる。

◎輸入品と國産品の優劣

本品は元來綿羊皮を原料となすも  
 のであるが、國産品は小牛皮を以て  
 製したるものにして、輸入品に對し  
 耐久力は二倍内外である。又その價  
 格に於て大差なきを以て使用上頗る  
 有利であるが、糊付稍々困難なるた  
 め作業に熟練を要する缺點がある。  
 従つて需要家中には價格品質共に優  
 良なるに拘らず、國産品を歓迎せざ  
 る者あるは遺憾である。

◎輸入防止の主要處置

内地生産の増加を圖るため關稅引  
 上をなすも一方法である。

◎外國競争者

北米産品、佛蘭西産品、ベルギー  
 産品及獨逸産品等の間に競争があつ  
 たが、近年輸入激減のため殆んど競  
 争を見ざるに至つた。

### 六一、機械用調帶及革管

機械用の帶革は、櫛皮を用ひて鞣  
 したる牛革の最も厚く強靱なる部分  
 を、所要の幅及び長さ製したるも  
 のにして一枚ものと、二枚合せとが  
 ある。鏈革帶も亦本品の一種にして  
 牛革の小條片を載嵌てて連結したる

入 額	價 額
248,625圓	
232,762	
143,505	
222,435	
147,261	
135,641	
147,144	
88,271	
68,811	
45,731	

入 額	價 額
10千圓	
17	
27	
32	



◎主要生産者  
日本皮革株式会社 (東京)

◎主要輸入者  
三井物産株式会社 (東京)  
天海商店 (〃)  
大宮商店 (〃)  
明治製革株式会社 (〃)  
井畑徳三郎商店 (大阪)  
合名會社吉比商店 (〃)  
北村春商店 (〃)

六一、機械用調帯及革管

機械用の帯革は、鞣皮を用ひて鞣したる牛革の最も厚く強靱なる部分を、所要の幅及び長さ製したるものにして一枚ものと、二枚合せとがある。鏈革帯も亦本品の一種にして牛革の小條片を鐵鋏にて連結したるものである。  
革管は消防機、唧筒等に主として用ひられ、牛革を適宜に切斷し革紐又は金屬製釘を以て綴合せて製したるものである。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——三七圓二〇錢

◎主要生産者

合資會社新田帶革製造所(大阪)  
日本皮革株式会社 (東京)  
株式會社大阪帶革製造所(大阪)

◎主要輸入者

本品は従來多量に輸入されつゝあつたが、近年内地に於ける生産額増加し、加ふるに輸入品に比して遜色なき優良品を製出するに至りしため輸入激減した。従つて輸入者として特掲すべきものなし。

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	—圓	44,075斤	248,625圓
11	—	6,363,917	48,979	232,762
12	—	5,725,986	29,934	143,505
13	—	5,073,941	39,064	222,435
14	—	5,123,612	32,145	147,261
昭和1	—	5,683,685	35,983	135,641
2	—	5,389,601	42,210	147,144
3	—	5,150,758	15,488	88,271
4	—	5,000,018	11,792	68,811
5	—	5,764,124	9,259	45,731

國産額  
數量 價額

大正10	209頭
11	336
12	242
13	244
14	296
昭和1	232
2	378
3	606
4	615
5	609

(綿羊の屠殺數)

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
東京	—	596,302圓
神奈川	—	63,935
京都	—	22,520
大阪	—	4,204,695

主要國別輸入額

國名	數量	價額
英吉利	10斤	10千圓
佛蘭西	34	17
獨逸	62	27
北米	48	32

主要府縣別生産額

縣名	數量	價
北海道	323頭	—
岩手	88	—
宮城	42	—
長崎	53	—
熊本	63	—

(綿羊の屠殺數)

◎外國競争者

北米産品、佛蘭西産品、ベルギー産品及獨逸産品等の間に競争があつたが、近年輸入激減のため殆んど競争を見ざるに至つた。

◎輸入の主要原因

國內生産發達し殆んど輸入の必要を認めざるに拘らず、尙ほ小額の輸入を見つゝあるは、特殊の事情に因るものである。

◎輸入品と國産品の優劣

品質に於ては外國品と大差なく、價格は概して國産品が廉價である。

◎輸入防止の主要處置

内地に於て優良品の生産されるに拘らず、多少にても輸入を見るは特殊の關係に依るものとは謂へ憂ふべき現象である。故に本品の如きは關稅を引上げて絶對的に輸入防止の手段を取ると共に、内地生産者が益々原料の精選、及び品質の向上、生産費の低減に努め、優良品の供給に意を注ぐことが肝要である。

耐久力は二倍内外である。又その價格に於て大差なきを以て使用上頗る有利であるが、糊付稍々困難なるため作業に熟練を要する缺點がある。従つて需要家中には價格品質共に優良なるに拘らず、國産品を歓迎せざる者あるは遺憾である。

◎輸入防止の主要處置

内地生産の増加を圖るため關稅引上をなすも一方法である。



六二、獸

獸毛の主たるものは豚毛、山羊毛、馬毛、牛毛等である。豚毛は普通ブリッスルと稱し、野猪毛は飼育猪毛よりも優良である。豚毛の主産地は露國、獨逸、支那、フランス、ハンガリー、北米等にして就中佛國產品及露西亞產品は品質優良である。本邦に於ける豚毛の産出は頗る僅少なるに拘らず、之を原料とする工業は頗る發達し、ブラツシュその他の各種製品は重要輸出品の一つなるを以て、支那方面より豚毛を輸入しつゝある。

山羊毛の主たるものはモヘア及びカシミヤにして、モヘアは小亞細亞の山中に生育するアンゴラ山羊の毛を謂ひ、毛の長さ六吋乃至八吋に達し、美麗なる光澤あり、主としてモヘアと稱する婦人服の原料に供せらる。カシミヤは印度、チベット、蒙古、ヒマラヤ地方に産し、長毛と短毛の二種がある。

馬毛及牛毛は露西亞、獨逸、ベルギー、南米、濠洲等に多く産し、長毛は毛布、飾布、濾囊等の原料に供せられ、短毛は椅子、其の他の填充用に供せらる。

毛 (羊毛を除く)

輸入額

年次	數量	價額
大正10	190,928斤	418,528圓
11	184,054	362,161
12	205,558	279,538
13	295,689	625,180
14	328,092	723,947
昭和1	274,633	509,899
2	186,991	451,666
3	430,440	705,505
4	469,739	677,272
5	1,145,291	1,750,063

主要國別輸入額

國名	數量	價額
支那	1,590斤	174千圓
關東州	1,490	78
英吉利	332	295
獨逸	17	16
白耳義	23	36
北米	628	75
濠洲	197	25

輸入税率

各種共に無税。

主要生産者

國産額少く特掲すべき生産者なし

主要輸入者

- (豚毛) 笹村商店 (大阪)
- 大亞洋行 (大阪)
- 來利洋行 (大阪)
- 田中整毛所 (大阪)
- 新昌號 (大阪)
- 聚源號 (大阪)
- (山羊毛) 阪本平昌 (大阪)
- 徳昌祥 (大阪)
- 新盛號 (大阪)
- 復和公司 (大阪)
- (牛毛) 福本仙太郎 (大阪)
- 株式會社兼松商店 (神戸)
- 廣源號 (大阪)
- 廣和號 (大阪)
- (馬毛) 中川鈴鹿 (大阪)

外國競争者

支那產品、南米產品、露國產品及び濠洲產品等にして、山羊毛は大連及び上海より、牛毛は香港、南米、及濠洲より馬毛は大連及天津より主として輸入さる。

輸入の主要原因

國産品は量少く且つ品質粗惡にして到底需要を充すに足らざるが爲めである。

輸入品と國産品の優劣

國産品として見るべきもの少く、豚毛に就て輸入品と比較すれば、國産豚毛は纖維細くして弾力性に乏しく且つ色相悪く、到底輸入品に及ばざるため、輸入品に混じて下級製品の原料に用ひられるに過ぎない。従つて價格の低廉なるが如きことは到底問題とするに足りない。

輸入防止の主要處置

獸毛は之を各種製品の原料となすものなるが故に、寧ろ輸入を奨勵すべきである。

六三、獸

骨

獸骨の主たるものは象骨、牛骨、水牛骨、馬骨、鯨骨等にして工業上及各種製品の材料に供せられ、又肥料として需要多し。細工用には牛骨象骨及鯨骨が最も多く用ひられ就中

輸入額

價額
2,302千圓
2,046
3,147
3,626
3,680
3,421
2,856
2,877
2,890
1,774,513

額

價額
1,479千圓
579
131
121
274
106

輸入の主要原因

主として支那產品、濠洲產品及び北米產品等である。

國産牛骨は品質粗惡にして細工用



を謂ひ、毛の長さ六吋乃至八吋に達し、美麗なる光澤あり、主としてモヘアと稱する婦人服の原料に供せらる。カンミアは印度、チベット、蒙古、ヒマラヤ地方に産し、長毛と短毛の二種がある。  
馬毛及牛毛は露西亞、獨逸、ベルギー、南米、濠洲等に多く産し、長毛は毛布、節布、濾囊等の原料に供せられ、短毛は椅子、其の他の填充用に供せらる。

六三、獸

骨

獸骨の主たるものは象骨、牛骨、水牛骨、馬骨、鯨骨等にして工業上及各種製品の材料に供せられ、又肥料として需要多し。細工用には牛骨象骨及鯨骨が最も多く用ひられ就中牛の脛骨及臀骨は細工用として最適である。細工物の種類は頗る多いが櫛、扇の骨、摺紙刀、傘柄、ブラツシユ臺、ボタン類等が其主たるものにして、工業上に於ては燐、鹽化アンモニア、骨炭、骨灰及骨粉等の製造原料に供せらる。本邦に輸入されるものは大部分細工用牛骨である。

◎輸入税率

各種骨共に無税

◎主要生産者

特掲すべきものなし。

◎主要輸入者

- 岩井商店 (大阪)
- 乙宗商店 (シ)
- 杉山商店 (シ)
- 兼松商店 (神戸)

◎外國競争者

主要國別輸入額

國名	數量	價額
支那	1,590斤	174
關東州	1,490	78
英吉利	332	295
獨逸	17	16
白耳義	23	36
北米	628	75
濠太刺利	197	25

輸入額

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	7,961千貫	3,062千圓	514,385擔	2,302千圓
11	7,676	3,100	395,298	2,046
12	8,807	3,703	530,687	3,147
13	6,385	3,699	544,518	3,626
14	9,269	4,310	561,680	3,680
昭和1	9,712	4,148	618,924	3,421
2	8,806	3,493	524,713	2,856
3	8,962	3,492	530,180	2,877
4	8,663	3,322	534,366	2,890
5	9,023	3,605	426,015	1,774,513

主要國別輸入額

國名	數量	價額
支那	304,619擔	1,479千圓
關東州	119,404	579
露領アジア	31,351	131
北米	10,988	121
アルゼンチン	21,986	274
濠太刺利	12,908	106

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
山形	144千貫	54千圓
東京	353	113
新潟	17	24
京都	55	9
兵庫	326	108
宮崎	260	107
鹿兒島	7,156	2,854

- 阪本平昌 (大阪)
- 徳昌祥 (シ)
- 新盛號 (シ)
- 復和公司 (シ)
- (牛毛)
- 福本仙太郎 (大阪)
- 株式會社兼松商店 (神戸)
- 廣源號 (シ)
- 廣和號 (シ)
- (馬毛)
- 中川鈴鹿 (大阪)

産豚毛は纖維細くして弾力性に乏しく且つ色相悪く、到底輸入品に及ばざるため、輸入品に混じて下級製品の原料に用ひられるに過ぎない。従つて價格の低廉なるが如きことは到底問題とするに足りない。  
◎輸入防止の主要處置  
獸毛は之を各種製品の原料となすものなるが故に、寧ろ輸入を奨励すべきである。

主として支那産品、濠洲産品及び北米産品等である。

◎輸入の主要原因

國産牛骨は品質粗悪にして細工用に適せざるため、海外より輸入さる。その他の骨類は主として國産數量不足の爲め、又は價格の關係上外國より輸入さる。

◎輸入品と國産品の優劣

内地産各種の骨は品質概ね粗悪である。就中細工物として最も需要多き牛骨の如きは、南米産及北米産に比して品質粗悪なるのみならず、長大なるものが少きため殆んど全部米國方面よりの輸入品が使用されつゝある。又支那方面より輸入されるものは主として肥料用にして、肥料用に於ては輸入品と大差がない。

◎輸入防止の主要處置

本品は之を原料として諸種の細工物を製し、或は工業上に用ふる故に輸入は寧ろ奨励すべきである。



六四、獸蹄及獸角

各種獸蹄の蹄及角は種々の形状に變成し得るため、鈕釦、靴滑り其他の細工物原料として用途廣し。主たるものは牛、水牛、綿羊、山羊及び鹿等にして内地に生産される量は需要に充たざるため北米、濠洲、チリその他より輸入さる。

輸入品の主たるものは牛蹄、水牛蹄、羊蹄、水牛角等にして、包装は麻袋入りを普通とし、一袋の重量八〇封度内外である。

◎輸入税率

各種類共に無税

◎主要生産者

内地産の獸蹄は形小さく且つ弾力性に乏しきため、細工物材料に適せず、従つて屠殺場に於ても之を放棄し或は肥料の原料として供給するに過ぎざる状態である。又獸角にありては鹿角及牛角等が裝飾用として用ひられるが、其の産額は微々たるもので擧げるに足らぬ、従つて獸蹄及獸角の生産者として特に掲ぐべきものは殆んど無い。

年次	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	1,170,988圓	14,301擔	110,774圓
11	—	1,196,102	17,646	155,051
12	—	256,580	23,792	215,816
13	—	497,921	23,513	251,749
14	—	495,281	23,050	206,270
昭和1	—	527,808	27,515	226,683
2	—	418,799	36,004	262,783
3	—	504,079	38,709	322,064
4	—	521,254	73,220	446,049
5	—	532,546	142,656斤	775,271

(骨角蹄甲牙貝類の製品總額)

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
東 京	—	47,700圓
神奈川	—	14,000
京 都	—	13,300
大 阪	—	305,134
高 知	—	17,100
長 崎	—	105,130

主要國別輸入額

國 名	數量	價 額
支 那	4,065擔	27千圓
北 米	4,569	36
智 利	2,053	15
亞爾然丁	14,558	126
濠太刺利	9,289	84

◎主要輸入者

乙宗商店 (大阪)  
杉山商店 ( )  
岩井商店 ( )

◎外國競争者

濠洲産品、南米産品、チリ産品及び北米産品等。

◎輸入の主要原因

内地産品は細工物原料として殆んど用をなさざるが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

外國産獸蹄及獸角は大形にして而も弾力性に富むため、諸種の細工物材料に適し、普通鼈甲物と稱し市場に販賣される安物は大部分熱帯産獸蹄及獸角製であるが、國産品は小形且つ弾力性なく、輸入品とは雲泥の相違である。

◎輸入防止の主要處置

家内工業の主要原料なるが故に大いに輸入を奨励すべく、輸入防止は絶對不可である。

六五、貝殻及同製品

貝殻の内地産品は小形にして厚味に乏しく且つ脆弱にして細工物に適であるため、貝製品の材料として各種類の貝殻が輸入される。輸入貝殻の内主たるものは眞珠貝、蝶貝、雲母貝、夜光貝、飽貝、黃頰

入 額	價 額
895,741圓	
1,698,724	
1,422,968	
1,722,776	
3,565,846	
4,177,971	
3,460,380	
3,315,494	
3,287,469	
2,843,793	

額

價 額
1,388千圓
21
83
566
27
1,179

◎外國競争者

株式會社兼松商店 (神戸)  
平井商店 ( )  
信友組 ( )  
建東信號 ( )



内地産の獸蹄は形小さく且つ弾力性に乏しきため、細工物材料に適せず、従つて屠殺場に於ても之を放棄し或は肥料の原料として供給するに過ぎざる状態である。又獸角にありては鹿角及牛角等が裝飾用として用ひられるが、其の産額は微々たるもので擧げるに足らぬ、従つて獸蹄及獸角の生産者として特に掲ぐべきものは殆んど無い。

六五、貝殻及同製品

貝殻の内地産品は小形にして厚味に乏しく且つ脆弱にして細工物に不適であるため、貝製品の材料として各種類の貝殻が輸入される。輸入貝殻の内主たるものは真珠貝、蝶貝、雲母貝、夜光貝、鮑貝、廣瀬貝、高瀬貝等にして、真珠貝は印度ペルシヤ、濠洲、南洋、中部アメリカ、西印度諸島より輸入され、鮑貝は支那及朝鮮近海に産する黒貝、マタカ、メガイ等の種類が主として輸入さる。何れも卸及その他の貝細工の原料に供せられるものにして、その屑貝は貝灰製造の原料となる。

◎輸入税率  
各種類共に無税

◎主要生産者

本品は大分縣佐賀關、三重縣、千葉縣、岩手縣その他海岸諸縣に産出するも、大部分副業的に採取され、特掲すべき生産者なし。

◎主要輸入者

乙宗商店 (大阪)  
神田合名會社 (〃)

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	2,004,940圓	53,803擔	895,741圓
11	—	1,410,667	105,982	1,698,724
12	—	1,496,922	103,424	1,422,968
13	—	1,997,866	97,255	1,722,776
14	—	2,731,193	142,680	3,565,846
昭和1	—	2,092,558	155,031	4,177,971
2	—	2,314,324	192,663	3,460,380
3	—	1,982,991	215,028	3,315,494
4	—	2,246,516	146,955	3,287,469
5	—	2,359,236	192,523	2,843,793

	國 産 額	
	數量	價 額
大正10	—	1,170
11	—	1,190
12	—	250
13	—	490
14	—	490
昭和1	—	520
2	—	410
3	—	500
4	—	520
5	—	530

(骨角蹄甲牙貝類の類)

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
三 重	—	43,410圓
大 阪	—	567,342
兵 庫	—	384,382
奈 良	—	284,396
和歌山	—	464,801
鳥 取	—	120,113
香 川	—	38,330

主要國別輸入額

國 名	數量	價 額
支 那	153,307擔	1,388千圓
關 東 州	15,691	21
海峽殖民地	2,237	83
蘭 領 印 度	14,184	566
比 律 賓 諸 島	2,549	27
濠 太 刺 利	27,172	1,179

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
東 京	—	47,700
神奈川	—	14,000
京 都	—	13,300
大 阪	—	305,100
高 知	—	17,100
長 崎	—	105,100

株式會社兼松商店 (神戸)  
平井商店 (〃)  
信友組 (〃)  
建東信號 (〃)

◎外國競争者

ボルネオ、シンガポール、セレベス及パラオ近海に産する高瀬貝、支那産ドブ貝、米國ミシツピー産淡水貝、木曜島産マザイオパール等が主たるものである。

◎輸入の主要原因

外國産貝殻は大形にして厚味あり且つ質強靱にして細工物原料に適するがためである。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は小形にして薄く、質脆弱にして光澤に乏しく、下級製品の原料に供せられるに過ぎない。

◎輸入防止の主要處置

輸入を防止するは細工物業の發達を阻害するを以て、當分之を放任すると共に、一方に於て各種優良貝類を移殖して内地生産を圖るべし。

も弾力性に富むため、諸種の細工物材料に適し、普通鼈甲物と稱し市場に販賣される安物は大部分熱帯産獸蹄及獸角製であるが、國産品は小形且つ弾力性なく、輸入品とは雲泥の相違である。

◎輸入防止の主要處置

家内工業の主要原料なるが故に大いに輸入を奨励すべく、輸入防止は絶對不可である。



### 六六、鼈甲及同製品

鼈甲は南洋諸島、東印度諸島其他熱帯地方の海中に棲息するホークビルと稱する海鼈の甲にして、就中東印度セレベス島の東岸よりニウギニアに至る沿海に産するものは甲厚くして最優良品とされてゐる。鼈甲のうち背甲は通常爪又は蹄と稱し、鼈甲に比して品質遙かに良好である。半透明黄色にして濃褐色の美麗な斑紋あるものは優等品とされてゐる。

#### ◎輸入税率

鼈甲は無税。  
鼈甲製品は價格に對する五割。

#### ◎主要生産者

本邦に産する鼈甲は臺灣、小笠原島、琉球等の近海に棲息する鱧龜即ち俗に所謂正覺坊の甲にして、ホークビル甲の純鼈甲とは全然その品位を異にし和甲と稱して、鼈甲の代用品又は擬物に用ひられるに過ぎない而も和甲の産額は僅少である。

#### ◎主要輸入者

熊谷覺兵衛商店

(大阪)

### 六七、珊瑚及同製品

珊瑚は熱帯及温帯の海底岩礁に枝状をなして附着す。其の中軸は比較的太く且つ脆く、普通裝飾用に供せらるゝは此の部分である。世界的産地として名あるは地中海にして、紅海、ペルンヤ灣、アフガニスタン、

輸入額	價額
—	圓
—	—
22,651	—
18,210	—
196,215	—
442,277	—
544,207	—
617,947	—
492,739	—

(額を含む)

大正	昭和	國産額		輸入額	
		數量	價額	數量	價額
10	—	—	20,000圓	24,943斤	349,465圓
11	—	—	20,000	25,012	582,915
12	—	—	25,000	20,218	337,704
13	—	—	30,000	23,459	470,617
14	—	—	30,000	19,337	495,667
1	—	—	30,000	23,062	472,948
2	—	—	32,000	15,707	245,228
3	—	—	33,000	22,114	336,308
4	—	—	35,000	25,619	396,299
5	—	—	35,000	17,265	195,108

(推定額にして正確なる統計なし)

#### 主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
東京	—	15,000圓
沖繩	—	5,000
其他	—	15,000

(推定額にして正確なる統計なし)

#### 主要國別輸入額

國名	數量	價額
海峽殖民地	47斤	29千圓
蘭領印度	59	55
英吉利	14	39
獨逸	21	70
其他アフリカ諸國	32	88
布哇	14	28

#### ◎外國競争者

濠洲産品、南洋産品、東印度諸島産品等もあるも、南洋産品が大部分を占めて居る。

#### ◎輸入の主要原因

別項記載の如く、本邦には純然たる鼈甲の産出なく、而も鼈甲製の櫛笄、鼈簪等は古來本邦人に珍重されるため、本品を原料とする各種製造は盛んにして本品の需要多きが爲めである。

#### ◎輸入品と國産品の優劣

國産の和甲は鼈甲に類似せる斑紋を有し美麗であるが、厚味乏しく且つ鼈甲に比して品位遙かに劣るため鼈甲の代用品として所謂張り物に用ひられるに過ぎない。

#### ◎輸入防止の主要處置

本品は特殊の需要に依るものにして、而も近年輸入漸減しつつあるが故に、特に防止の必要なく、寧ろ本品を材料とせる各種製品の輸出を奨励することが得策であらう。

#### ◎主要輸入者

此外高知及長崎兩縣下に加工業者多數あり。

近年本品の輸入激減せる爲、専門



◎主要生産者  
本邦に産する蟹甲は臺灣、小笠原島、琉球等の近海に棲息する鱒龜即ち俗に所謂正覺坊の甲にして、ホークビル甲の純蟹甲とは全然その品位を異にし和甲と稱して、蟹甲の代用品又は擬物に用ひられるに過ぎない而も和甲の産額は僅少である。

◎主要輸入者  
熊谷覺兵衛商店 (大阪)

六七、珊瑚及同製品

珊瑚は熱帯及温帯の海底岩礁に枝状をなして附着す。其の中軸は比較的太く且つ脆く、普通裝飾用に供せらるゝは此の部分である。世界的産地として名あるは地中海にして、紅海、ベルンヤ灣、アフリカ北岸、布哇沿海等之に亞ぐ。本邦に輸入されるは主として伊太利産珊瑚製品に珊瑚原木は本邦より伊太利その他へ輸出され、加工せるものを再輸入する状態に在る。

◎輸入税率

珊瑚原木は價格に對する四割。珊瑚製品は同五割。

◎主要生産者

(採取業者)  
小笠原珊瑚採取組合(小笠原島)  
臺灣基隆珊瑚採取組合 (臺灣)  
(加工業者)  
諫山久太郎 (大阪)  
朝山亮太郎 (〃)  
熊谷覺兵衛 (〃)  
依田忠治郎 (東京)  
山口兼松 (堺)  
龜井專治 (神戸)

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	2,176貫	887,714圓	—	—圓
11	1,930	616,133	—	—
12	2,016	679,482	—	—
13	1,010	234,420	—	22,651
14	304	67,353	—	18,210
昭和1	6,495	1,038,700	—	196,215
2	609	67,815	—	442,277
3	588	120,941	—	544,207
4	1,028	67,568	—	617,947
5	1,112	87,326	—	492,739

(珊瑚以外の骨角類の輸入額を含む)

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	20,	—	20,
11	—	20,	—	25,
12	—	25,	—	30,
13	—	30,	—	30,
14	—	30,	—	30,
昭和1	—	30,	—	32,
2	—	32,	—	33,
3	—	33,	—	35,
4	—	35,	—	35,
5	—	35,	—	—

(推定額にして正確なし)

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
臺 灣	588貫	120,941圓
小笠原島	226	60,125
高 知	256	54,123
長 崎	196	45,114

主要國別輸入額

國 名	數量	價 額
支 那	—	376千圓
伊 太 利	—	58
北 米	—	93
濠太刺利	—	26

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
東 京	—	15,0
沖 繩	—	5,0
其 他	—	15,0

(推定額にして正確なし)

◎輸入防止の主要處置

本品は特殊の需要に依るものにして、而も近年輸入漸減しつつあるが故に、特に防止の必要なく、寧ろ本品を材料とせる各種製品の輸出を奨励することが得策であらう。

此外高知及長崎兩縣下に加工業者多數あり。

◎主要輸入者

近年本品の輸入激減せる爲、専門取扱者として特掲すべきものなし。

◎外國競争者

伊太利産品及び支那産品は主たる競争者にして、伊太利の加工は世界的に定評あり、又支那に於ては特殊の加工技術發達し、加ふるに工賃低廉なるため是れ亦世界的に認められてゐる。

◎輸入の主要原因

本邦に於ける珊瑚原木の産額は豊富にして伊太利、支那等へ輸出しつつあるが、加工技術幼稚なるため製品が輸入される。

◎輸入防止の主要處置

製品の輸入に高率の輸入税を課すると共に、一方内地に於ける加工技術の發達及加工費の低減を圖ることが急務である。



六八、植物性芳香揮發油

植物性芳香揮發油は、植物の花、果實、皮殻、枝葉、根幹等より採辦せるものにして、丁香油、桂皮油、橙皮油、ネロリ油、ラベンダー油、バラ油其他種類頗る多く、國産品の主たるものは薄荷油及樟腦油である。輸入品の包装は大部分一封度の罐入を箱詰となし、一箱五〇罐が普通である。

◎輸入税率

各種類共に無税

◎主要生産者

- 藤澤友吉商店 (大阪)
- 中山太陽堂 (シ)
- 三輪善兵衛商店 (東京)
- 矢澤商店 (神戸)
- 日本除虫菊株式会社 (和歌山)
- 小林商店 (横濱)
- 多勢商店 (シ)
- 酒井製薬合名会社 (和歌山)
- 高砂香料株式会社 (東京)
- 株式会社稻畑商店 (大阪)
- 日支トレーディング商會 (シ)

	國産額			輸入額	
	數量	價額		數量	價額
大正10	1,613,528斤	956,804圓	.....	530,892斤	2,691,744圓
11	1,637,602	374,685	.....	607,045	3,507,158
12	1,615,067	2,042,819	.....	600,824	2,878,031
13	1,960,078	2,241,819	.....	688,785	4,309,854
14	3,093,510	3,882,255	.....	439,217	2,847,647
昭和1	3,041,910	8,901,261	.....	589,440	3,012,412
2	2,821,966	2,161,291	.....	493,504	2,448,182
3	2,506,175	1,981,127	.....	495,003	2,537,018
4	2,689,923	2,059,225	.....	507,983	2,698,694
5	2,542,869	1,970,510	.....	544,568	2,391,587
(樟腦油と薄荷油の合計)					

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
山形	20,000斤	27,800圓
大阪	323,771	80,286
兵庫	2,498,567	1,871,763

主要國別輸入額

國名	數量	價額
英領印度	475斤	411千圓
蘭領印度	1,024	123
英吉利	551	365
佛蘭西	809	681
獨逸	374	100
伊太利	249	140
和蘭	247	104

◎外國競争者

- 日瑞貿易株式会社 (大阪)
- コンリースエンドコンパニー(神戸)
- ローチエフェイス神戸支店(シ)
- オツペネメール商會 (シ)
- ストロン商會 (シ)
- オットライマー商會 (シ)
- シーベルヘルグナー商會(シ)
- 米國貿易株式会社 (東京)
- 濱口商事會社 (シ)

◎輸入の主要原因

内地は芳香性植物に乏しき事、製油技術外國に及ばざる事、外國品は盛んに宣傳する事等が主因である。

◎輸入防止の主要處置

國內に於て生産可能なるものは關稅引上げに依つて輸入を防止することが急務である。

六九、松精油

松精油は松、杉及類似の樹木より分泌する樹脂を原料として製したるものにして、其の普通品は硬黄、燐樹脂、ゴム等の溶解劑又は假漆塗油の原料に用ひられ、精製品は藥用に

額	價額
—圓	—
—	—
325,525	—
228,435	—
239,426	—
212,873	—
144,159	—
221,559	—
67,489	—

額	價額
立	143千圓

◎外國競争者

- シーベル・ヘグナー商會(神戸)
- 千代田貿易商會 (東京)
- フリーラン會社 (米國)



六九、松

精 油

- 中山大陽堂 (東京)  
 三輪善兵衛商店 (東京)  
 矢澤商店 (神戸)  
 日本除虫菊株式会社 (和歌山)  
 小林商店 (横濱)  
 多勢商店 (シ)  
 酒井製薬合名會社 (和歌山)  
 高砂香料株式会社 (東京)
- ◎主要輸入者  
 株式會社稻畑商店 (大阪)  
 日支トレーディング商會 (シ)

	國 産		輸 入	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	1,613,528斤	956,374	—立	—圓
11	1,637,602	374,042	—	—
12	1,615,067	2,042,241	—	—
13	1,960,078	2,241,382	502,748	325,525
14	3,093,510	3,882,901	332,302	228,435
昭和 1	3,041,910	8,901,216	398,841	239,426
2	2,821,966	2,161,981	452,977	212,873
3	2,506,175	1,981,209	396,186	144,159
4	2,689,923	2,059,197	550,142	221,559
5	2,542,869	1,970,000	221,499	67,489

(樟腦油と薄荷油の合)

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
山 形	20,000斤	27,800
大 阪	323,771	80,200
兵 庫	2,498,567	1,871,700

◎輸入の主要原因

内地は芳香性植物に乏しき事、製油技術外國に及ばざる事、外國品は盛んに宣傳する事等が主因である。

◎輸入防止の主要處置

國內に於て生産可能なるものは關稅引上げに依つて輸入を防止するところが急務である。

松精油は松、杉及類似の樹木より分泌する樹脂を原料として製したるものにして、其の普通品は硬黄、燐樹脂、ゴム等の溶解劑又は假漆塗油の原料に用ひられ、精製品は藥用に供せらる。國內の生産は未だ需要を充すに足らずして、北米その他の諸國より輸入さる。

輸入品の包装は通常五ガロン罐入又は五十ガロンの樽入、精製品は大部分罐入である。

◎輸入税率

罐入及樽入は百リットルに付六圓九五錢。  
 其他は價格に對する一五%

◎主要生産者

- 嶋岡松脂工業所 (東京)  
 東京化學製造所 (シ)  
 吉澤化學工業所 (シ)  
 高橋潔工場 (シ)  
 大正テレメン工業株式会社 (シ)  
 畑田製油所 (神戸)
- ◎主要輸入者  
 株式會社岩井商店 (大阪)

	國 産		輸 入	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	163,695斤	37,180圓	—立	—圓
11	206,257	57,411	—	—
12	233,099	71,532	—	—
13	146,033	34,219	502,748	325,525
14	127,960	25,320	332,302	228,435
昭和 1	94,245	17,672	398,841	239,426
2	74,650	17,300	452,977	212,873
3	15,800	3,317	396,186	144,159
4	204,082	74,046	550,142	221,559
5	259,216	79,554	221,499	67,489

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
東 京	49,353斤	22,243圓
長 野	3,250	650
大 阪	148,155	50,373
宮 崎	3,000	660

主要國別輸入額

國 名	數量	價 額
北 米	395千立	143千圓

◎外國競争者

- シーベル・ヘグナー商會 (神戸)  
 千代田貿易商會 (東京)

フリーラン會社 (米國)  
 ハーキユレス會社 (シ)  
 トーマスシーリー會社 (シ)  
 此の外佛、獨、露、瑞、スペイン、ギリシャ、印度等の産品もあるも、米國産品は全世界産額の約七割を占めて最も優勢である。又米國製品中に於てはフリーラン會社製「松印」が最も有名である。

◎輸入の主要原因

國內生産少く、需要に伴はざるがためである。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は臭氣多く、概して外國品に及ばないが、中には米國フリーラン會社製以上の優良品がある。

◎輸入防止の主要處置

本邦には原料材に乏しからざるを以て、大いに生産の増加を圖ることが肝要である。



七〇、亞麻子油

亞麻子油は亞麻の種子を原料として製したる脂肪油にして、ボイルド油と生油の二種がある。兩者とも主として工業上に用ひられ、塗油、假漆、印刷用インキ、防水布、油布等の製造原料に供せられるが、純良なるものは軟膏塗抹劑その他醫藥の原料に用ひらる。内地生産は豊富にして支那、滿洲方面に輸出されつゝあるが、又一方に於て米國その他より輸入さる。

輸入品の包装は普通五ガロン罐入又は五〇ガロン樽入である。

◎輸入税率

罐入又は樽入のボイルド油は百斤に付三圓七五錢。  
ボイルド油以外の罐入及樽入は價格に對する一割。  
其他は價格に對する二割。

◎主要生産者

- 日清製油株式会社 (東京)
- 攝津製油株式会社 (兵庫)
- 柏原製油株式会社 (大阪)
- 吉原製油所 (小樽)
- 小樽製油株式会社 (小樽)

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	13,307石	726,867圓	—斤	—圓
11	23,386	1,445,454	—	—
12	24,169	1,875,641	—	—
13	22,886	2,044,161	44,078	16,767
14	22,201	1,904,994	35,588	17,024
昭和1	5,876,167	1,520,004	25,169	11,564
2	6,487,044	1,584,332	18,956	8,389
3	10,560,150	2,733,100	32,045	14,512
4	11,156,196	2,945,224	10,294	5,216
5	12,136,149	2,656,388	18,569	7,965

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
北海道	25,289石	7,409圓
東京	423,100	124,974
神奈川	1,381,464	448,975
大阪	7,844,813	1,919,788
兵庫	1,466,685	440,115

主要國別輸入額

國名	數量	價額
英吉利	8,512斤	3千圓
北米	9,256	3

(近來輸入殆んとなし)

◎主要輸入者

近來輸入減少し、特に本品の輸入を坂扱ふ者として特掲すべきものがない。

◎外國競争者

主として米國産品及び英國産品であるが、輸入額微々たるものにして論ずるに足りない。

◎輸入の主要原因

本品の國內生産額は多少の過剩ありて輸出を見つゝあるを以て、輸入されるは爲替關係、相場の變動、その他特殊の事情に基くものにして、常時の輸入品ではない。

◎輸入品と國産品の優劣

近來内地生産者の技術向上せるため、品質に於て何等外國品に遜色なく、又價格に於ても優に海外品と競争し得る状態に在る。

◎輸入防止の主要處置

輸入額少きを以て、特に輸入防止策を講ずる必要なし。

七一、蓖麻子油及阿列布油

蓖麻子油は熱帶及温帶地方に産する蓖麻子より搾取せるものにして、機械油として或は石鹼、印肉等の製造原料として用ひらる。著名産地は支那、印度、爪哇、アフリカ、南北

額價額

- 190,910圓
- 111,409
- 262,701
- 478,488
- 333,900
- 237,156
- 425,495
- 128,200
- 250,622
- 170,066

(昭和三年)

額價額

- 千圓
- 80
- 11
- 13
- 16

◎主要生産者

- 日清製油株式会社 (東京)
- 攝津製油株式会社 (大阪)
- 吉原製油所 (小樽)



に付三圓七五錢。  
ポイルド油以外の罐入及樽入は價  
格に對する一割。  
其他は價格に對する二割。

◎主要生産者

- 日清製油株式會社 (東京)
- 攝津製油株式會社 (兵庫)
- 柏原製油株式會社 (大阪)
- 吉原製油所 (〃)
- 小樽製油株式會社 (小樽)

七一、蓖麻子油及阿列布油

蓖麻子油は熱帯及温帯地方に産す  
る蓖麻子より搾取せるものにして、  
機械油として或は石鹼、印肉等の製  
造原料として用ひらる。著名産地は  
支那、印度、瓜哇、アフリカ、南北  
アメリカ等にして、本邦に於ける生  
産は外國より原料蓖麻子を輸入して  
製造するに過ぎざるを以て、辛うじ  
て内地需要を充し得る状態である。  
阿列布油は歐洲南部地中海沿岸諸  
國に栽培される阿列布樹の果實を原  
料として製したる脂肪油にして、純  
精なる高級品は藥用及食用に供せら  
れ、茶子油、綿子油、胡麻油その他  
を混入せる不純なるものは機械油、  
燈油或は石鹼原料等に供せらる。又  
劣等品は染織用に供せらる。

◎輸入税率

蓖麻子油罐入、樽入又は重入は一  
〇〇斤に付二圓二〇錢。其他は價  
額の二割。  
阿列布油罐入又は樽入は無税(協  
定一〇〇斤に付一圓七〇錢)其他  
は一〇〇斤(容器共)に付一四圓六〇  
錢(協定一〇〇斤に付九圓二二錢)

	國 産		輸 入	
	數 量	價 額	數 量	價 額
大正10	—	275,084圓	597,357斤	190,910圓
11	—	458,928	269,727	111,409
12	—	569,067	864,327	262,701
13	—	468,717	1,641,808	478,488
14	—	432,065	746,766	333,900
昭和1	—	475,306	331,879	237,156
2	—	304,084	1,267,809	425,495
3	—	297,487	3,869	128,200
4	—	360,022	18,607	250,622
5	—	371,286	302,428	170,066

	國 産	
	數 量	價 額
大正10	13,307石	720
11	23,386	1,440
12	24,169	1,870
13	22,886	2,040
14	22,201	1,900
昭和1	5,876,167	1,520
2	6,487,044	1,580
3	10,560,150	2,730
4	11,156,196	2,940
5	12,136,149	2,650

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數 量	價 額
北海道	—	668圓
千葉	—	568
東京	—	35,425
愛知	—	19,881
三重	—	89,215
兵庫	—	145,808
奈良	—	65,215

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數 量	價 額
英 吉 利	10擔	—千圓
佛 蘭 西	—	80
獨 逸	18	11
瑞 西	—	13
西 班 牙	—	16

主要府縣別生産額

縣 名	數 量	價 額
北海道	25,289石	7,400
東京	423,100	124,900
神奈川	1,381,464	448,900
大阪	7,844,813	1,919,700
兵庫	1,466,685	440,100

◎主要生産者

- 日清製油株式會社 (東京)
- 攝津製油株式會社 (大阪)
- 吉原製油所 (〃)

右は何れも蓖麻子油の生産者にして、阿列布油の生産者として擧ぐべき者なく、且つ蓖麻子油生産者の使用する原料蓖麻子は殆んど全部輸入品である。

◎主要輸入者

- 株式會社岩井商店 (大阪)
- 熊澤商會 (神戸)
- ジールヘルグナー商會 (東京)
- 三井物産株式會社 (〃)
- 日瑞貿易株式會社 (大阪)
- 鹽野吉兵衛商店 (〃)

◎外國競争者

印度ベンガル州産品、南洋スラバヤ産品及滿州産品。

◎輸入防止の主要處置

原料たる阿列布樹及蓖麻子の國産なきため輸入は止むを得ないが、成るべく原料の輸入に努め、又原料樹移植を研究する必要がある。

◎輸入品と國産品の優劣

近來内地生産者の技術向上せるため、品質に於ても何等外國品に遜色なく、又價格に於ても優に海外品と競争し得る状態に在る。

◎輸入防止の主要處置

輸入額少きを以て、特に輸入防止策を講ずる必要なし。

常時の輸入品ではない。



七二、棉子油

棉子油は棉の子實を原料として製したるものにして、粗製油は黒色又は帯赤褐色を呈し悪臭を有す。精製油即ち粗製油を強苛性曹達を以て處理しステアリンを除去したるものは淡黄色を帯び佳快の香味を有し純良品は主として食料に供せられ、普通品は燈油、機械油、石鹼原料等に使用さる。本邦に於ける生産は逐年隆盛に赴きつゝあるも、尙ほ供給不足を告げ、支那、印度、北米、埃及等の主産國より輸入さる。

輸入品の包装は石油空罐を用ひ二罐を一箱とす。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——四圓四五錢

◎主要生産者

- 攝津製油株式会社 (大阪)
- 吉原製油所 (〃)
- 太田製油株式会社 (〃)
- 平野製油株式会社 (〃)
- 大阪製油所 (〃)
- 阪口製油所 (〃)
- 高井製油株式会社 (〃)
- 共同製油株式会社 (〃)

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	23,035石	1,154,058圓	—斤	—圓
11	15,486	745,256	—	—
12	22,592	1,320,531	—	—
13	20,862	1,428,689	499,606	299,208
14	32,851	2,040,500	368,050	228,279
昭和1	14,494,136	2,666,062	517,803	301,242
2	10,095,201	1,913,650	590,127	295,901
3	9,753,700	2,011,407	670,678	374,970
4	18,424,069	3,393,863	735,291	405,451
5	15,668,362	3,056,164	867,609	419,909

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	294,232石	64,731圓
大阪	14,458,208	2,621,751
兵庫	356,100	55,867
福岡	3,305,929	647,962

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
北米	6,707擔	374千圓

◎主要輸入者

- 攝津製油株式会社 (大阪)
- 吉原製油株式会社 (〃)
- 平野製油株式会社 (〃)
- 高井製油株式会社 (〃)
- 三井物産株式会社 (東京)

◎外國競争者

主として米國産品。

◎輸入の主要原因

本品の内地生産は内地需要を充すに足らざるに拘らず、爲替關係その他特殊の事情に因つて僅少なから輸出さるゝ場合あり。故に益々供給不足を告げ輸入の餘儀なきに至る状態であるが、輸出なくとも生産は常に不足勝ちである。

◎輸入品と國産品の優劣

品質價格共に殆んど優劣なし。

◎輸入防止の主要處置

原料棉子の内地生産増加、及び海外輸入の便を講ずる事が急務である

七三、桐油

桐油は油桐の種子より搾取せるものにして、粗製品は多量の不純物を含有するため、之に稀硫酸液又は生石灰を加へて熱し、或は長く放置し

額

價額

- 圓
- 
- 
- 246,689
- 285,990
- 221,047
- 267,871
- 328,987
- 380,801
- 293,095

(昭和三年)

價額

328千圓

◎外國競争者

株式会社三重商店

(神戸)

桐油の産地として著名なるは支那揚子江域にして、本邦に輸入される



一〇〇斤に付——四圓四五錢

◎主要生産者

- 攝津製油株式會社 (大阪)
- 吉原製油所 (〃)
- 太田製油株式會社 (〃)
- 平野製油株式會社 (〃)
- 大阪製油所 (〃)
- 阪口製油所 (〃)
- 高井製油株式會社 (〃)
- 共同製油株式會社 (〃)

七三、桐油

桐油は油桐の種子より搾取せるものにして、粗製品は多量の不純物を含有するため、之に稀硫酸液又は生石灰を加へて熱し、或は長く放置し不純物を沈澱せしめて精製す。精製油は外觀亞麻子油に類似し、黄色又は褐色の濃厚液にして微かに紅色を帯ぶ。毒性を有するため食料には供せられないが、亞麻子油よりも一層乾燥性に富めるため塗油の混和料として最適し、又假漆、石鹼等の原料に供せられ或は亞麻子油の代用としてリノリウム製造に應用される等用途頗る廣汎である。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——二圓二五錢

◎主要生産者

本品の生産地は福井縣にして、島根縣之に亞ぎ、その他千葉臺灣等にも相當生産されるが、特掲すべき大規模の生産者なし。

◎主要輸入者

- 尾張商會 (大阪)
- 吉原定次郎商店 (〃)

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	3,923石	247,798圓	—斤	—圓
11	4,040	293,546	—	—
12	3,356	310,492	—	—
13	3,044	281,086	773,533	246,689
14	2,410	257,298	823,327	285,990
昭和1	629,464	205,567	734,507	221,047
2	722,596	208,465	785,694	267,871
3	825,902	261,197	884,859	328,987
4	801,253	220,549	1,030,993	380,801
5	784,576	218,218	1,152,449	293,095

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
千葉	49,943石	14,027圓
東京	46,800	13,572
福井	461,780	133,157
滋賀	5,940	1,723
島根	219,973	55,693

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
支那	8,843擔	328千圓

	國産數量	價額
大正10	23,035石	1,154
11	15,486	745
12	22,592	1,320
13	20,862	1,428
14	32,851	2,040
昭和1	14,494,136	2,666
2	10,095,201	1,913
3	9,753,700	2,011
4	18,424,069	3,393
5	15,668,362	3,056

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	294,232石	64,7
大阪	14,458,208	2,621,7
兵庫	356,100	55,8
福岡	3,305,929	647,9

足を告げ輸入の餘儀なきに至る状態であるが、輸出なくとも生産は常に不足勝ちである。

◎輸入品と國産品の優劣

品質價格共に殆んど優劣なし。

◎輸入防止の主要處置

原料棉子の内地生産増加、及び海外輸入の便を講ずる事が急務である

株式會社三重商店 (神戸)

◎外國競争者

桐油の産地として著名なるは支那揚子江域にして、本邦に輸入されるものも、殆んど全部同地方の産品である。

◎輸入の主要原因

桐油はペイント原料油として需要多きに拘らず、國內に於ける産出は不足を告げ、加ふるに支那産品は價格頗る低廉なるが爲めに、輸入は逐年増加の傾向に在る。

◎輸入品と國産品の優劣

品質に於ては殆んど優劣なく、寧ろ國産品が優良であるが、支那産品は價格概ね低廉である。のみならず生産豊富なるため一時に多量を購入するに便利である。

◎輸入防止の主要處置

塗料原油に乏しき我が國に於ては本品の如き有望且つ生産増加の見込みあるを以て、政府は宜しく保護獎勵すべきである。



七四、椰子油

椰子油は椰子の中にある固形蛋白質より製したるものにして、石鹼及蠟燭の原料がその主たる用途である就中石鹼原料に最適し、本品を原料とせる石鹼は白色硬固にして軽く鹹水に溶解し易き特長を有す。椰子油の産地として著名なるはマラバール、錫蘭、東印度諸島、アフリカ等にして、商業上には交址油、錫蘭油及コブラ油の三種がある。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——二圓四五錢

◎主要生産者

- 大正製油株式會社 (東京)
東京榨油株式會社 (シ)
株式會社長瀬商會 (シ)
株式會社乙宗商店 (大阪)
株式會社喜多組 (シ)

◎主要輸入者

東京榨油株式會社 (東京)

Table with 5 columns: Year, Domestic Quantity, Domestic Value, Import Quantity, Import Value. Rows include years from 1921 to 1935.

(大正十四年以降不詳)

主要府縣別生産額(昭和三年)

Table with 3 columns: Prefecture Name, Quantity, Value. Lists prefectures like Tokyo, Kanagawa, Shizuoka, etc.

主要國別輸入額(大正十四年)

Table with 3 columns: Country Name, Quantity, Value. Lists countries like British India, Philippines, etc.

◎外國競争者

シンガポール産品、セイロン産品、ジャバ産品及マニラ産品等。

◎輸入の主要原因

本邦には原料椰子の産出はないが椰子油の製造は相當盛大に行はれ、略自給自足の状態に在る。故に常時多額の輸入を見ることなく、生産不足を生じたる場合、需而者直接又は神戸在留の支那商館の手を経て少量の輸入を見るに過ぎず、而も現今は殆んど輸入されない。

◎輸入品と國産品の優劣

品質は略同等であるが、國産品は原料コブラを遠く南洋方面よりの輸入に仰ぐ關係上、生産費高く、従つて價格高價である。

◎輸入防止の主要處置

原料輸入を一層圓滑ならしめ、生産費の低下に努めれば、輸入より輸出に轉ずる事容易である。

◎輸入の主要原因

國産椿油は生産量少く、國內の需要を充すに足らざるのみならず、支那産品に比すれば頗る高價なるため

七五、カメリヤ油(椿油)

カメリヤ油は椿又は山茶の種子を原料とせるものにて、普通種子一斗に付一升五合の油が得られる。不乾性にして純良なるものは無色又は淡黄色を呈し、悪臭なく、食料として

額

Table with 2 columns: Unit, Amount. Shows values like 385,050 and 284,082.

降輸入僅少)

價額



◎主要生産者

大正製油株式会社 (東京)  
 東京榨油株式会社 (〃)  
 株式会社長瀬商會 (〃)  
 株式会社乙宗商店 (大阪)  
 株式会社喜多組 (〃)

◎主要輸入者

東京榨油株式会社 (東京)

國産

年次	數量	價額
大正10	26,210石	2,000,000
11	19,356	1,200,000
12	25,352	1,800,000
13	35,710	2,500,000
14	39,138	2,700,000
昭和1	13,547,403	2,800,000
2	7,837,899	2,000,000
3	8,823,676	2,500,000
4	11,925,158	2,800,000
5	12,056,196	2,600,000

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	1,057,491石	281,000
神奈川	6,000,000	1,452,000
静岡	6,958	27,000
三重	406,175	36,000
大阪	4,021,33	893,000
香川	433,196	108,000

◎輸入品と國産品の優劣

品質は略同等であるが、國産品は原料コブラを遠く南洋方面よりの輸入に仰ぐ關係上、生産費高く、従つて價格高價である。

◎輸入防止の主要處置

原料輸入を一層圓滑ならしめ、生産費の低下に努めれば、輸入より輸出に轉ずる事容易である。

七五、カメリヤ油 (椿油)

カメリヤ油は椿又は山茶の種子を原料とせるものにて、普通種子一斗に付一升五合の油が得られる。不乾性にして純良なるものは無色又は淡黄色を呈し、惡臭なく、食料としても用ひられるが、主たる用途は毛髪用、機械油等である。カメリヤ油の一種たる茶油は、茶の種子より搾取せるものにして、外觀カメリヤ油に類似してゐるが不快の臭氣を有し又苦澁味を有す。

輸入額

年次	數量	價額
大正10	—斤	—圓
11	—	—
12	—	—
13	1,110,085	385,050
14	783,523	284,082
昭和1	—	—
2	—	—
3	—	—
4	—	—
5	—	—

(大正十四年以降輸入僅少)

◎輸入税率

一〇〇斤に付——六圓

◎主要生産者

奥山平之助 (大島)  
 竹田荒次郎 (熊本)  
 永松與作 (長崎)

◎主要輸入者

三井物産株式会社 (東京)

◎外國競争者

本邦に輸入されるは主として支那産品であるが、近年輸入額漸減し競争も又激烈でない。

國産額

年次	數量	價額
大正10	4,587石	1,637,412圓
11	4,839	1,390,366
12	4,501	1,566,159
13	4,721	1,563,764
14	4,180	1,490,297
昭和1	736,572斤	1,184,771
2	625,446	1,013,593
3	623,919	814,459
4	555,776	728,262
5	615,873	796,514

主要國別輸入額

國名	數量	價額
(近來輸入殆んどなし)		

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
北海道	35,683石	52,700圓
東京	103,888	137,890
福井	23,590	24,540
静岡	48,610	74,278
京都	49,880	104,162
福岡	18,982	29,455
長崎	153,636	144,736
熊本	47,554	49,747

◎輸入の主要原因

國産椿油は生産量少く、國內の需要を充すに足らざるのみならず、支那産品に比すれば頗る高價なるため往年は盛に輸入されたが、近年國産増加のため輸入漸減し、價格の著しき相異、その他特殊の事情ある場合に輸入さるゝに過ぎない。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は殆んど全部椿の種子を原料とし、輸入品は大部分茶の種子を原料としたものである。故に兩者の間に相當の相違があるが、使用上に於ける價値に於ては殆んど優劣を認めない。但し色相、香氣等に於ては國産品優り、價格に於ては輸入品が遙に低廉である。

◎輸入防止の主要處置

國産椿油は品質優秀であるが、産額少く價格高きため支那産茶油がその代用品として輸入さる。故に寧ろ支那より茶又は山茶の種子を輸入する事に努めるのが得策である。



七六、牛

脂

牛脂は牛の脂肪組織を熔融精製したる帶黄白色又は灰白色の固形脂にして、特異の臭氣を有す。精製品は食物調理用及び人造バター製造原料に供せられ、粗製品は石鹼及蠟燭の原料、鞣皮用、機械減摩油等に供せらる。内地生産は逐年増加し一ヶ年七百萬斤内外に達するも尙ほ需要を充すに足らず、毎年巨額の輸入を見つゝある。

輸入品の包装は普通樽入にして一樽の重量三百十封度内外である。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——一圓二〇銭

◎主要生産者

旭電化工業株式會社 (東京)  
 合同油脂グリセリン株式會社(シ) (神戸)  
 ベルベツト石鹼株式會社(神戸)  
 大阪酸素株式會社 (大阪)  
 北海油脂株式會社 (北海道)  
 以上は孰れも石鹼原料として用ひられる人造牛脂の生産者にして、牛脂又はその他の獸脂生産者は概ね規模狭小且つ設備不完全にして特掲すべきものがない。

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	7,351,296斤	1,380,227圓	276,741擔	5,269,869圓
11	6,406,500	1,266,377	220,087	4,345,583
12	13,954,140	3,226,102	186,114	4,119,476
13	28,222,169	6,792,571	266,874	6,993,482
14	27,050,611	7,427,574	207,728	5,941,993
昭和 1	25,395,767	5,514,402	245,543	6,324,051
2	15,948,925	6,676,627	235,306	5,025,452
3	44,035,028	11,697,488	227,529	5,407,041
4	40,298,159	9,885,294	208,519	5,019,914
5	37,509,486	7,569,489	205,550	3,894,684

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
北海道	1,480,229斤	280,952圓
東 京	19,599,768	4,318,399
新 瀧	1,473,000	360,890
京 都	4,799,478	1,055,885
兵 庫	14,376,273	5,173,980
福 岡	2,306,280	507,382

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
支 那	23,895擔	583千圓
北 米	1,775	15
濠太刺利	201,846	4,807

◎主要輸入者

三井物産株式會社 (東京)  
 大倉商事株式會社 (シ)  
 株式會社兼松商店 (神戸)  
 株式會社喜多組 (シ)  
 株式會社岩井商店 (大阪)

◎外國競争者

主として支那産品、濠州産品及び米國産品等である。

◎輸入の主要原因

内地に於ける硬化油の製造は逐年進歩し、現今に於ては牛脂と殆んど同様の産品を製出し得るに至つたが消費者は製造作業の困難なること其他の理由に依つて依然輸入牛脂を歓迎する者尠なからざるに因る。

◎輸入品と國産品の優劣

國産牛脂は品質不定にして且つ豚脂馬脂等の混入多く、腐敗變色し易く、輸入品より頗る粗悪である。

◎輸入防止の主要處置

硬化油を以て牛脂に代用せしむべく宣傳獎勵する事が急務である。

七七、スチアリン及オレイン

スチアリン及オレインは共に動物性脂肪の主成分をなすものにして、他の脂肪酸類と共に化合物となりて脂肪中に存在し、牛脂豚脂羊脂等

額	價 額
268,076圓	
245,847	
354,417	
334,930	
258,923	
415,787	
415,110	
380,770	
553,308	
354,778	

額(昭和三年)

價 額
6千圓
17
54
33
157
107

◎主産生要者

合同油脂グリセリン株式會社(東京)

◎主要輸入者

大倉商事株式會社 (東京)



旭電化工業株式會社 (東京)  
 合同油脂グリセリン株式會社(シ)  
 ベルベツト石鹼株式會社(神戸)  
 大阪酸素株式會社 (大阪)  
 北海油脂株式會社 (北海道)  
 以上は孰れも石鹼原料として用ひられる人造牛脂の生産者にして、牛脂又はその他の獸脂生産者は概ね規模狭小且つ設備不完全にして特掲すべきものがない。

七七、スチアリン及オレイン

スチアリン及オレインは共に動物性脂肪の主成分をなすものにして、他の脂肪酸類と共に化合物となりて脂肪中に存在し、牛脂豚脂羊脂等の如き硬質脂を多量に含有す。スチアリンはスチアリン酸又は硬脂酸と謂ひ、純粹なるものは純白にして光澤に富み、無味無臭にして水に溶解せず、蠟燭及石鹼の原料として用ひらる。オレインはオレイン酸又は油酸とも稱し、純粹なるものは扁桃油及阿列布油を原料として製造されるが、普通工業用に供せられるものはスチアリン酸製造の際動物性脂肪より固形油分を搾取し副物として得らる。主たる用途は石鹼原料及び機械減摩油である。

◎輸入税率

スチアリン一〇〇斤に付一二圓  
 オレイン 同上 七圓六〇錢

	國 産		輸 入	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—瓦	—圓	1,027,076斤	268,076圓
11	—	—	975,433	245,847
12	—	—	1,189,565	354,417
13	10,219	681,397	938,809	334,930
14	104,519	767,397	716,457	258,923
昭和1	95,646	716,529	442,958	415,787
2	112,389	800,398	527,669	415,110
3	141,298	965,268	1,138,113	380,770
4	132,255	902,546	1,387,266	553,308
5	138,296	915,385	1,099,852	354,778

	國 産	
	數量	價 額
大正10	7,351,296斤	1,3
11	6,406,500	1,2
12	13,954,140	3,2
13	28,222,169	6,7
14	27,050,611	7,4
昭和1	25,395,767	5,5
2	15,948,925	6,6
3	44,035,028	11,6
4	40,298,159	9,8
5	37,509,486	7,5

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東 京	—	352,548圓
大 阪	—	101,283
兵 庫	—	76,549

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
支 那	221擔	6千圓
英 吉 利	473	17
獨 逸	1,713	54
和 蘭	1,171	33
北 米	4,031	157
濠太刺利	3,684	107

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
北海道	1,480,229斤	280,
東 京	19,599,768	4,318,
新 瀋	1,473,000	360,
京 都	4,799,478	1,055,
兵 庫	14,376,273	5,173,
福 岡	2,306,280	507,

他の理由に依つて依然輸入牛脂を歓迎する者尠なからざるに因る。  
 ◎輸入品と國産品の優劣  
 國産牛脂は品質不定にして且つ豚脂馬脂等の混入多く、腐敗變色し易く、輸入品より頗る粗悪である。  
 ◎輸入防止の主要處置  
 硬化油を以て牛脂に代用せしむべく宣傳奨励する事が急務である。

◎主産生要者

合同油脂グリセリン株式會社(東京)

◎主要輸入者

- 大倉商事株式會社 (東京)
- 野澤組 (シ)
- 三井物産株式會社 (シ)
- 株式會社兼松商店 (神戸)
- 合資會社安藤商店 (大阪)

◎外國競争者

- エメリーコードル會社 (米國)
- ホークネスエンドコーイング(シ)
- アピトン會社 (濠州)
- ゼー・ケー・エス會社 (シ)

◎輸入の主要原因

輸入品は概して品質優良、且つ低廉なるがためである。

◎輸入品と國産品の優劣

品質に於ては大差なく、價格は内地品が高價である。

◎輸入防止の主要處置

品質の向上及び價格の低下に努め製造技術に依いて尙ほ研究を要す。



七八、原

油

原油は炭水素化合物にしてパラフィン系とナフテン系の二種あり。之を蒸溜して軽油、燈油及重油等を製す。本品の世界的産地は米、露、蘭領印度、ガリシヤ、ルーマニア、印度等にして、米國産はパラフィン系、露國産はナフテン系である。

◎輸入税率

割温蒸溜法に依り攝氏二七五度に至る間に於て蒸溜する液の原液の容量に對する百分率に依つて夫々左の如く定む。(單位百ガロンに付)

- (甲) 二〇%以下——一圓七〇錢
  - (乙) 二五%以下——二圓〇五錢
  - (丙) 三〇%以下——二圓四〇錢
  - (丁) 三五%以下——二圓七五錢
  - (戊) 四〇%以下——三圓一〇錢
  - (己) 其 他——三圓四五錢
- 但し四五%以上一を増す毎に二〇〇ガロンに付七錢を増加す。

◎主要生産者

- 日本石油株式會社 (東京)
- 小倉石油株式會社 (シ)
- 旭石油株式會社 (シ)
- 北樺太石油株式會社 (シ)

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	1,961,068石	34,149,264圓	11,234,405ガロン	2,626,521圓
11	1,799,096	25,151,176	23,665,156	5,412,410
12	1,576,353	18,042,592	47,180,060	9,269,527
13	1,579,212	19,443,740	77,980,712	13,047,074
14	1,637,452	16,835,930	103,141,898	15,701,724
昭和 1	1,496,476	14,971,914	117,895,604	19,235,074
2	1,449,883	12,466,489	162,656,255	23,992,884
3	1,620,104	12,945,601	380,654,907	45,162,680
4	3,400,240 <sup>立方</sup> 米	13,707,355	4,198,161 <sup>百ガ</sup> ロン	46,603,450
5	3,986,568	12,886,514	4,263,747	44,775,518

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
北海道	159,138 <sup>立方</sup> 米	811,394圓
秋 田	1,169,748	3,940,565
新 瀉	2,070,232	9,844,396
長 野	274	1,280
靜 岡	188	1,086

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
蘭領印度	91,926 <sup>千ガ</sup> ロン	12,707千圓
露領アジヤ	25,824	3,426
其他アジヤ諸國	25,344	4,747
北 米	215,032	20,548
秘 露	5,600	692

◎主要輸入者

- 三井物産株式會社 (東京)
- 三菱商事株式會社 (シ)
- 淺野物産株式會社 (シ)
- 旭石油株式會社 (シ)
- 日本石油株式會社 (シ)
- 小倉石油株式會社 (シ)

◎外國競争者

- ゼネラル石油會社 (米國)
- アソシエツテツド石油會社(シ)
- ユニオン石油會社 (シ)
- ライデングサン石油會社(シ)
- スタンダード石油會社 (シ)

◎輸入の主要原因

内地生産量が需要を充すに足らざるが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

産地に因つて夫々性質を異にし各々一長一短があるが、品質に於ては大差なし。

◎輸入防止の主要處置

内地生産の急激なる増加は望み得られざるため輸入は止むを得ない。

七九、重

油

額 價 額

—
—
—
—
—
—
—
—
—
—

額(昭和三年) 價 額

—
—

◎輸入の主要原因

ゼネラル石油會社 (米國)  
此の外米國石油會社多數あり。

本品の需要は逐年激増しつつある

重油は原油より燈油を製出したる残油にして、石蠟を多量に含有するものは石蠟油と稱し石蠟製造の原料に用ひらる。又石蠟を含有せざるものにして適度の粘稠を有するものは



(丁) 三五%以下—二圓七五錢  
 (戊) 四〇%以下—三圓一〇錢  
 (己) 其 他—三圓四五錢  
 但し四五%以上一を増す毎に二〇  
 〇ガロンに付七錢を増加す。

◎主要生産者

- 日本石油株式會社 (東京)
- 小倉石油株式會社 (〃)
- 旭石油株式會社 (〃)
- 北樺太石油株式會社 (〃)

七九、重 油

重油は原油より燈油を製出したる  
 殘油にして、石蠟を多量に含有する  
 ものは石蠟油と稱し石蠟製造の原料  
 に用ひらる。又石蠟を含有せざるも  
 のにして適度の粘稠を有するものは  
 機械油の原料に供せられ、其他のも  
 のは燃料等に用ひらる。

◎輸入税率

前項原油の税率規定に據る。

◎主要生産者

- 日本石油株式會社 (東京)
- 小倉石油株式會社 (〃)
- 旭石油株式會社 (〃)
- 北樺太石油株式會社 (〃)

◎主要輸入者

- 三井物産株式會社 (東京)
- 三菱商事株式會社 (〃)
- 淺野物産株式會社 (〃)
- 日本石油株式會社 (〃)

◎外國競争者

- スタンダード石油會社 (米國)
- ライデングサン石油會社 (〃)
- テキサス石油會社 (〃)

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	104,325石	1,675,684圓	11,234,405ガロン	—
11	164,436	1,965,451	23,665,156	—
12	144,673	1,095,763	47,180,000	—
13	143,691	874,672	77,980,712	—
14	188,244	1,005,443	103,141,898	—
昭和 1	211,028	1,244,604	87,549,366	—
2	181,564	1,107,699	59,866,294	—
3	216,351	1,264,120	89,873,219	—
4	379,873	3,003,145	76,894,223	—
5	312,294	2,358,469	124,568,296	—

	國 産 額	
	數量	價 額
大正10	1,961,068石	34,149
11	1,799,096	25,151
12	1,576,353	18,042
13	1,579,212	19,443
14	1,637,452	16,835
昭和 1	1,496,476	14,971
2	1,449,883	12,466
3	1,620,104	12,945
4	3,400,240 <sup>立方</sup> 米	13,707
5	3,986,568	12,886

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
北海道	53,144立百	175,377圓
秋 田	46,956	154,956
東 京	3,891	7,550
神奈川	127,470	2,173,491
新 瀧	148,411	491,767

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
北 米	68,215,366ガロン	—
蘭領印度	9,369,845	—

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
北海道	159,138 <sup>立方</sup> 米	811,39
秋 田	1,169,748	3,940,56
新 瀧	2,070,232	9,844,39
長 野	274	1,28
靜 岡	188	1,08

内地生産量が需要を充すに足らざるが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

産地に因つて夫々性質を異にし各々一長一短があるが、品質に於ては大差なし。

◎輸入防止の主要處置

内地生産の急激なる増加は望み得られざるため輸入は止むを得ない。

ゼネラル石油會社 (米國)  
 此の外米國石油會社多數あり。

◎輸入の主要原因

本品の需要は逐年激増しつつあるに拘らず、國內生産は之に伴はずして常に供給不足を告ぐる事が主因である。

◎輸入品と國産品の優劣

各國産品の間にも多少の相違はあるが、國産品は輸入品に比して毫も遜色がない。

◎輸入防止の主要處置

國産量が需要に満たざるを以て輸入は止むを得ないが、當面の策として成るべく原油の輸入を奨励し、原油より重油その他を製出する者及之を輸出する者に對しては戻税その他の保護を講ずることも、輸入防止の一策である。更に國家百年の計としては、試堀補助金を與へて民間の原油試堀を奨励し、或は全國的に地質調査を行ひ、或は税金を減免し或は海外に於ける石油投資を援助する事等が肝要である。



八〇、揮發油

揮發油は輕油を高壓蒸氣にて加熱し分別蒸溜したるものにして、沸騰點四〇度乃至七〇度のものを石油エーテル、七〇度乃至八〇度のものをガソリン、八〇度乃至一〇〇度のものをナフサ、一〇〇度乃至一二〇度のものをリゴレン、一二〇度乃至一五〇度のものをベンジンと稱す。用途は自動車、飛行機等の燃料、樹脂及油類の溶解用、機械洗滌用等として工業上に重要なのみならず、醫療上に於ては局部癩劑、藥品の溶媒劑等に用ひられ、用途は頗る廣汎である。

輸入税率

攝氏四五度に於ける比重〇・八七六二以下のものは一〇〇ガロンに付八圓。〇・九二二八以下のものは同七圓。其他は同一圓六〇錢。

主要生産者

- 日本石油株式會社 (東京)
小倉石油株式會社
旭石油株式會社
北樺太石油株式會社

主要輸入者

(シ)

Table with columns: 國産額 (Quantity, Price), 輸入額 (Quantity, Price). Rows include years from 大正10 to 昭和5.

主要府縣別生産額(昭和三年)

Table with columns: 縣名, 數量, 價額. Rows include 北海道, 秋田, 東京, 神奈川, 新瀉, 静岡.

主要國別輸入額(昭和三年)

Table with columns: 國名, 數量, 價額. Rows include 蘭領印度, 北米.

外國競争者

- 淺野産物株式會社 (東京)
梁瀬商事株式會社 (シ)

輸入の主要原因

主として内地産額の不足に因る。

輸入品と國産品の優劣

品種に依つて夫々異つてゐるが、大體に於て優劣は認め難い。

輸入防止の主要處置

原油の輸入に努める事、分解蒸溜法を盛大ならしめる事、國産品愛用を宣傳する事等が肝要である。

外國競争者

- スタンダード石油會社 (米國)
ライディングサン石油會社 (シ)

八一、木

蠟

木蠟の原料には種々あり。本邦に於て生産されるものは櫨の實を原料とせるものであるが、米國産品は楊梅科に屬する植物ミリカ・セリフエラ等の子實を原料とし、南米産品は

Table with columns: 輸入額 (Price), 輸入額 (Price). Rows include values like 1,276圓, 22,716.

Table with columns: 價額. Row includes 22,699圓, 17.



攝氏四五度に於ける比重〇・八七六二以下のものは一〇〇ガロンに付八圓。〇・九二二八以下のものは同七圓。其他は同一圓六〇錢。

◎主要生産者

- 日本石油株式會社 (東京)
- 小倉石油株式會社 (〃)
- 旭石油株式會社 (〃)
- 北樺太石油株式會社 (〃)

	國産額	
	數量	價額
大正10	141,283石	7,250
11	145,361	6,024
12	152,870	5,688
13	159,508	5,744
14	275,884	8,429
昭和1	387,656	10,441
2	551,654	12,083
3	646,587	16,233
4	1,815,148立百	19,999
5	1,994,215	21,324

◎輸入防止の主要處置

原油の輸入に努める事、分解蒸溜法を盛大ならしめる事、國産品愛用を宣傳する事等が肝要である。

◎輸入品と國産品の優劣

品種に依つて夫々異つてゐるが、大體に於て優劣は認め難い。

八一、木

蠟

木蠟の原料には種々あり。本邦に於て生産されるものは蠟の實を原料とせるものであるが、米國産品は楊梅科に屬する植物ミリカ・セリフエラ等の子實を原料とし、南米産品は棕櫚科に屬する喬木セロキシロン・アンデコロの幹より滲出する蠟を原料とす。此の他カルナウバ蠟、ミルツス蠟の如きも亦本品の一種である。主たる用途は蠟燭及鬢附の原料織物の艶出し用、細工物の模型用等である。

◎輸入税率

漆蠟及蠟燭は一〇〇斤に付六圓。カノールパワックス其他は無税。

◎主要生産者

- 肥後製蠟株式會社 (熊本)
- 愛媛製蠟株式會社 (愛媛)
- 保内製蠟株式會社 (〃)
- 周桑製蠟所 (〃)
- 山陰製蠟株式會社 (島根)

◎主要輸入者

輸入額僅少にして、特掲すべき輸入取扱者なし。

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	554,851貫	1,069,044圓	—	—
11	868,480	1,835,858	—	—
12	384,432	756,019	—	—
13	920,488	2,266,837	4,894斤	1,276圓
14	768,413	2,079,947	107,218	22,716
昭和1	578,484	1,195,291	—	—
2	1,103,921	2,877,735	—	—
3	1,080,223	2,810,225	—	—
4	1,254,325	3,056,229	—	—
5	1,124,695	2,965,116	—	—

(輸入殆んどなし)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
兵庫	462,672貫	1,299,480圓
島根	5,920	8,910
愛媛	178,102	424,821
福岡	165,600	381,900
熊本	172,143	480,235
大分	38,400	81,600
鹿兒島	54,202	125,319

主要國別輸入額(大正十四年)

國名	數量	價額
支那	107,208斤	22,699圓
佛蘭西	10	17

◎外國競争者

スタンダード石油會社 (米國)  
ライデングサン石油會社 (〃)

◎輸入の主要原因

木蠟を原料とせる蠟燭はパラフィン製の所謂西洋蠟燭に壓迫せられて需要漸減しつつあるが、織物の艶出し其他工業上に於ける用途は漸次擴大され、従つて蠟の需要は逐年増加しつつある。然るに内地に於ける生産は著しき激増なく、而も本邦特産品として尠ならず輸出されるため國內に於て供給不足を告ぐる場合がある。是れ輸入の主因である。

◎輸入品と國産品の優劣

輸入品の中國産木蠟に對比すべきものとしては、支那四川省に産する漆蠟及支那蠟がある。品質に於ては遠く國産品に及ばないが、価格は遙に低廉である。

◎輸入防止の主要處置

原料肝樹の増植、生産組織改善に因る價格の低下等が肝要である。



# 八二、ワセリン

ワセリンは一種の炭化水素にして石油などと共に原油に含まれて地中より採掘され、分溜法に依つて分類さる。精製されたる純良品は白色無味無臭の粘稠たる半流動體であるが粗製品は淡黄色、又は褐色である。本品はその粘稠性を利用して機械類の減摩用に供せられる外、或は化粧品及香脂類の原料に用ひられ、或は塗抹劑、軟膏等の材料として醫藥上に用ひらる。

輸入品の包装は普通樽入にして、一樽の重量は三百五十封度乃至四百三十封度である。

### ◎輸入税率

一個の重量(容器共)一キログラムを超えざるものは、一〇〇斤に付一五圓九〇錢。其他のものは一〇〇斤に付三圓五〇錢。

### ◎主要生産者

日本石油株式會社 (東京)  
東京ワセリン工業株式會社(シ)

### ◎主要輸入者

三井物産株式會社 (東京)

年次	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	—	1,310,849斤	637,170圓
11	—	—	1,053,604	434,586
12	—	—	930,624	299,043
13	—	—	1,668,281	656,621
14	—	—	886,914	332,848
昭和1	—	—	1,028,175	313,371
2	—	—	866,482	223,016
3	170,778斤	89,161圓	1,116,446	331,411
4	199,568	101,546	782,264	195,823
5	258,469	132,219	603,114	130,369

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	102,543斤	53,214圓
大阪	50,214	25,389

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
獨逸	691擔	17千圓
和蘭	320	7
北米	10,103	254

### ◎外國競争者

三菱商事株式會社 (東京)  
スタンダード石油會社 (米國)  
ライデングサン石油會社(シ)

### ◎輸入の主要原因

國內に於ける需要は逐年増加しつつあるに拘らず、本品製造原料たる原油の國産少く大部分海外輸入に待つ状態であるため、勢ひ生産不足を告ぐるが故である。

### ◎輸入品と國産品の優劣

本品は製造上特殊の設備乃至技術を要するにあらずして、製法頗る簡單である。故に國産品も品質上に於て何等外國品に異ならないが、原料を輸入に仰ぐもの多きため生産費の高價なるを免れず、従つて國産品は普通外國品よりも割高である。

### ◎輸入防止の主要處置

本品の輸入はその額少く、而も内地生産不足のため止むを得ざるものである、故に特に輸入防止の手段を講ずる必要を認めない。

# 八三、パラフィンワックス

パラフィンワックスは地蠟と稱する一種の礦物として天然に産出する固形炭化水素類の混合物であるが、又瀝青質石炭、石炭タール、石油蒸溜の残滓等の中にも含有され、普通

年次	價額
大正10	6,708,267圓
11	6,299,503
12	5,452,450
13	6,854,465
14	6,060,205
昭和1	6,695,248
2	6,014,979
3	6,697,469
4	5,425,104
5	4,363,763

額(昭和三年)

價額
500千圓
4,735
4
22
1,428

### ◎主要輸入者

二宮到商店 (東京)

此の外スタンダード石油會社、ライデングサン石油其他米國大石油會



一個の重量(容器共)一キログラムを超えざるものは、一〇〇斤に付一五圓九〇錢。其他のものは一〇〇斤に付三圓五〇錢。

◎主要生産者

日本石油株式會社 (東京)  
東京ワセリン工業株式會社(シ)

◎主要輸入者

三井物産株式會社 (東京)

八三、パラフィンワックス

パラフィンワックスは地蠟と稱する一種の礦物として天然に産出する固形炭化水素類の混合物であるが、又瀝青質石炭、石炭タール、石油蒸溜の残滓等の中にも含有され、普通は石油蒸溜の残滓より製造される。その用途は頗る廣汎にして蠟燭、燐寸、蠟紙の原料を始めとし、紙、革及布類の蠟引き用、機械類の減摩用、電氣絶縁用、罎口の密閉用等に使用さる。國內生産額は需要に及ばざること遠きため蘭領印度、北米等の諸國より輸入さる。

◎輸入税率

融解點攝氏四五度以下は無税。其他は一〇〇斤に付一二圓。

◎主要生産者

日本石油株式會社 (東京)  
小倉石油株式會社 (シ)  
旭石油株式會社 (シ)

此の外石油會社の副業的に生産する者多し。

	國 産		輸 入	
	數 量	價 額	數 量	價 額
大正10	—	—	258,772擔	6,708,267圓
11	—	—	311,818	6,299,503
12	—	—	315,229	5,452,450
13	50,979石	111,004圓	365,811	6,854,465
14	—	—	288,704	6,060,205
昭和 1	—	—	334,580	6,695,248
2	—	274,943	322,449	6,014,979
3	—	386,088	352,762	6,697,469
4	—	356,492	285,452	5,425,104
5	—	—	318,932	4,363,763

	國 産		輸 入	
	數 量	價 額	數 量	價 額
大正10	—	—	—	—
11	—	—	—	—
12	—	—	—	—
13	—	—	—	—
14	—	—	—	—
昭和 1	—	—	—	—
2	—	—	—	—
3	170,778疋	89,	—	—
4	199,568	101,	—	—
5	258,469	132,	—	—

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數 量	價 額
北海道	—	31,590圓
東 京	—	211,428
京 都	—	143,070

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數 量	價 額
英領 印度	27,941擔	500千圓
蘭領 印度	233,676	4,735
英 吉 利	259	4
獨 逸	1,258	22
北 米	89,112	1,428

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數 量	價 額
東 京	102,543疋	53,21
大 阪	50,214	25,38

◎主要輸入者

二宮到商店 (東京)

此の外スタンダード石油會社、ライディングサン石油其他米國大石油會社支店の手を経て輸入されるもの少なからず、又横濱、神戸等の貿易商にして本品を取扱ふ者も少くない。

◎外國競争者

スタンダード石油會社 (米國)  
ライディングサン石油會社(シ)

此の外蘭領印度産品は何れも多額に輸入され、有力なる競争者である。

◎輸入の主要原因

國內生産額は需要の一割にも達せざる状態である。故に大部分は輸入に仰がざるを得ない。

◎輸入品と國産品の優劣

品質に於ては優劣がないが、價格は外國品が幾分割安である。

◎輸入防止の主要處置

内地生産の急激なる増加は至難なる爲め、當分輸入は止むを得ない。

單である。故に國産品も品質上に於て何等外國品に異ならないが、原料を輸入に仰ぐもの多きため生産費の高價なるを免れず、従つて國産品は普通外國品よりも割高である。

◎輸入防止の主要處置

本品の輸入はその額少く、而も内地生産不足のため止むを得ざるものである、故に特に輸入防止の手段を講ずる必要を認めない。



八四、化粧用石鹼

化粧用石鹼は白色純良の曹達石鹼に、所要の顔料及び香料等を加へて製す。原料としては阿列布油、扁桃油、豚脂、牛脂、椰子油等の優良品を用ふ。輸入品中には一般化粧用の外に透明石鹼、髴剃用石鹼等がある

◎輸入税率

一〇〇斤(内装共)——二八圓六〇錢(協定は同上八圓)

◎主要生産者

- 合資會社長瀬商會 (東京)
- 丸見屋商店 (シ)
- 合同油脂グクセリン株式會社(シ)
- 芳誠舍 (シ)
- 井村整興社 (シ)
- 資生堂 (シ)
- 合資會社若山太陽舍 (シ)
- 日本ベルベツト石鹼株式會社 (大阪)
- 中山太陽堂 (大阪)
- 合資會社春元石鹼工場 (シ)
- 日東石鹼株式會社 (シ)
- 粟津久次郎商店 (シ)
- 平尾贊平商店東京工場 (東京)
- マルエス石鹼株式會社 (横濱)

八五、洗濯用石鹼

洗濯石鹼は單に苛性加里又は苛性曹達にて製したる儘の石鹼にして、その原料及性能に於ては化粧石鹼と略同様である。用途は家庭に於ける一般洗濯の外、工業上の洗滌に用ひ

入 額	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
64,795圓	大正10 5,037,405貫	11,840,647圓	180,639斤	266,184圓
82,896	11 14,860,752	14,327,220	271,424	352,083
113,357	12 10,624,203	13,916,390	209,417	253,375
104,935	13 14,752,521	17,981,656	373,103	521,757
30,287	14 16,294,506	20,526,367	39,019	37,808
185,576	昭和1 16,408,079	21,123,722	—	185,576
101,952	2 18,172,345	23,094,989	—	161,952
197,661	3 19,240,963	23,418,982	—	197,661
227,682	4 21,656,239	24,166,316	—	227,682
129,407	5 23,165,312	22,365,214	—	129,407

(昭和年度の輸入額は各種石鹼の合計額)

主要府縣別生産額(昭和三年)			主要國別輸入額(昭和三年)		
縣 名	數量	價 額	國 名	數量	價 額
東 京	9,659,953貫	12,440,269	英 吉 利	—	66千圓
神奈川	648,757	847,378	佛 蘭 西	—	22
愛 知	606,341	475,919	獨 逸	—	26
大 阪	7,259,302	8,652,577	北 米	—	69
兵 庫	305,788	282,535			
佐 賀	272,000	300,000			
長 崎	188,755	137,871			

◎主要輸入者

- 佐々木商店 (東京)
- ウイトコスキ (横濱)
- ドットウエル (神戸)
- 謙信洋行 (シ)
- 山中商店 (大阪)
- ベツカ商會 (シ)

◎外國競争者

- 米國産品(ポンピアン、コルゲート、パーモリーブ)
- 佛國産品(ピノー、ロジヤীগレット)
- 英國産(ヤードレー、ペアース)
- 獨逸産品(ピーバー、ヴルフ、ウインド・ゾーン)

◎輸入の主要原因

主として特殊階級者の嗜好に因る

◎輸入品と國産品の優劣

品質に於て何等の相異なく、價格は國産品が遙に低廉である。

◎輸入防止の主要處置

舶來品崇拜熱を打破し、高率の關稅を課して輸入を根絶すべし。

◎輸入の主要原因

外國産品は原料豊富なるため品質良好であるが、國産品は原料として最も適當なる阿列布油に乏しきため

入 額	價 額
64,795圓	
82,896	
113,357	
104,935	
30,287	
185,576	
101,952	
197,661	
227,682	
129,407	

百圓の合計額)

價 額
66千圓
22
26
69



八五、洗濯用石鹼

洗濯石鹼は單に苛性加里又は苛性曹達にて製したる儘の石鹼にして、その原料及性能に於ては化粧石鹼と略同様である。用途は家庭に於ける一般洗濯の外、工業上の洗濯に用ひられ、特殊のものとしては紙石鹼、捺染石鹼、流動石鹼等の各種類がある。

◎輸入税率

一〇〇斤(内装共)一五圓七〇錢  
(協定同一二圓九十錢)

◎主要生産者

旭電化工業株式会社 (東京)  
合同油脂グリセリン株式会社(シ)  
ライオン石鹼株式会社 (大阪)  
日東石鹼株式会社 (シ)  
日本ベルベツト石鹼株式会社

◎主要輸入者

株式会社稻畑商店 (大阪)  
株式会社長瀬商店 (シ)

◎外國競争者

マルセーユ石鹼 (佛國)  
プロクターガンブル石鹼(米國)

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	511,977貫	697,045圓	219,828斤	64,795圓
11	271,584	383,311	297,046	82,896
12	3,499,771	2,718,009	357,197	113,357
13	2,380,637	3,093,412	328,395	104,935
14	1,350,759	1,964,034	110,601	30,287
昭和1	1,890,173	2,114,113	—	185,576
2	1,508,645	1,849,730	—	161,952
3	1,612,055	2,283,040	—	197,661
4	—	—	—	227,682
5	—	—	—	129,407

(昭和年度の輸入額は各種石鹼の合計額)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
群馬	17,643貫	17,643圓
東京	229,309	370,303
神奈川	2,000	3,400
三重	260,000	470,000
京都	723,701	926,437
大阪	114,896	156,294
兵庫	224,108	274,393
長崎	40,398	64,570

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	—	66千圓
佛蘭西	—	22
獨逸	—	26
北米	—	69

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	9,659,953貫	12,440,26
神奈川	648,757	847,37
愛知	606,341	475,91
大阪	7,259,302	8,652,57
兵庫	305,788	282,53
佐賀	272,000	300,00
長崎	188,755	137,87

◎輸入の主要原因

主として特殊階級者の嗜好に因る

◎輸入品と國産品の優劣

品質に於て何等の相異なく、價格は國産品が遙に低廉である。

◎輸入防止の主要處置

舶來品崇拜熱を打破し、高率の關稅を課して輸入を根絶すべし。

◎輸入の主要原因

外國産品は原料豊富なるため品質良好であるが、國産品は原料として最も適當なる阿列布油に乏しきため外國品に比して品質稍々劣等なるものが多い。加ふるに多年の因習的嗜好も加味されて輸入を續けてゐるが現今に於てはマルセーユ石鹼その他特殊品の外、殆んど輸入されない。

◎輸入品と國産品の優劣

絹練用石鹼に於て阿列布油を原料とせるものは、棉子油及牛脂等を原料とせる國産品よりも優良であるがその他の一般洗濯石鹼に就いて比較すれば、國産品は鹼化の技術に於ても、品質その他に於ても毫も遜色なきのみならず、價格に於て優に外國品に對抗し得る。國産品中には頗る劣等品も少くないが、之は市場に於ける價格の關係上特に不良品を製造したるものにして、技術の拙劣なるが爲めではない。

◎輸入防止の主要處置

阿列布油に代るべき適當の原料を研究する事が唯一の急務である。



八六、化粧用油・脂・蠟及同製品

化粧用油、脂、及その製品は種類頗る多きも、主たるものは香油、ポマード、コスメチック等である。香油即ち髪油は植物性油又はその他の油に香料を加へたるものにして上等品は主として扁桃油を原料とす。薔薇香油。ジャスミン、ヘリオトロープ、トンガリ、ヴァニア等は即ち扁桃油を原料とせる優良品である。

香料即ちポマードは脂肪に香料を加へたるものにして、原料には牛脂豚脂、阿列布油、扁桃油、木蠟、ヴァセリン、パラフィン等を用ふ。

製蠟香料脂即ちコスメチックはポマードよりも硬く、普通圓筒形、隨圓形等に製せらる。

◎輸入税率

一〇〇斤(容器及内装共)に付七  
八圓(協定同三五圓)

◎主要生産者

平尾賛平商店 (東京)  
伊東胡蝶園 (シ)  
丸見屋商店 (シ)  
中山太陽堂 (大阪)

年次	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	8,160,298圓	180,639斤	266,184圓
11	—	6,348,474	271,424	352,083
12	—	5,167,141	95,268	151,561
13	—	5,571,086	246,351	511,690
14	—	12,066,729	42,856	78,014
昭和1	—	6,375,547	107,421	153,471
2	—	6,463,259	113,942	200,743
3	—	6,417,650	168,636	310,723
4	—	7,159,423	167,988	309,536
5	—	7,021,438	181,567	265,403

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	—	1,625,330圓
神奈川	—	54
大阪	—	4,496,049
兵庫	—	64,947
愛媛	—	231,270

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	151擔	23千圓
佛蘭西	1,040	219
和蘭	41	4
北米	404	58

桃谷順天館 (大阪)

◎主要輸入者

佐々木商店 (東京)  
ベリツク商會 (横濱)  
岡本米藏商店 (シ)  
ウイトコスキー (シ)  
丹波商店 (神戸)  
ラワプリー (シ)  
メルキ商會 (シ)

◎外國競争者

佛國産(ロジャールガレット・コティ・トスカ・ピノー)  
米國産(ボンピアン、コルゲル・ト・コクノス)  
獨逸産(グロツケンガツセ)

◎輸入の主要原因

主として舶來品崇拜の觀念と、一部特殊階級の需要に因る。

◎輸入防止の主要處置

外國品崇拜の陋習を打破し、國産品を奨励すると共に生産者は優良品の多量生産及生産費の低減に努力を要す。

八七、香水

水

香水は芳香性揮發油を純粹なるアルコールに溶解して製したるものにして、香精の單純なるものと、數種の香精を混合せるものと二種に大別さる。本品の世界的産地は佛、獨

年次	價額
大正10	878,334圓
11	659,002
12	563,564
13	1,331,544
14	334,016
昭和1	290,525
2	354,782
3	490,672
4	447,637
5	326,905

額(昭和三年)

價額
201千圓
266
8
8
6

◎主要輸入者

岡本信太郎商店 (東京)  
セーフレザー商會 (シ)  
伴野商店 (シ)



圓形等に製せらる。

◎輸入税率

一〇〇斤(容器及内装共)に付七  
八圓(協定同三五圓)

◎主要生産者

平尾賛平商店 (東京)  
伊東胡蝶園 (〃)  
丸見屋商店 (〃)  
中山太陽堂 (大阪)

八七、香

香水は芳香性揮發油を純粹なるアルコールに溶解して製したるものにして、香精の單純なるものと、數種の香精を混合せるものと二種に大別さる。本品の世界的産地は佛、獨兩國製は香氣穩和且つ香氣の長保する點を特徴とし、獨逸製は香氣馥郁且つその製法の化學的なるを特徴とす。國產香水は製造の歴史淺きに拘はず、現今に於ては相當優良品を産出し得るに至つたが、高級品は尙ほ大部分歐米諸國より輸入されつゝある。

◎輸入税率

薰香を附したるヴキネガー一〇〇斤に付三〇圓。その他は一〇〇斤に付五〇圓(何れも容器内装共)

◎主要生産者

安藤井筒堂 (東京)  
高橋林三郎商店 (〃)  
株式會社高橋東陽堂 (〃)  
資生堂 (〃)  
中山太陽堂 (大阪)  
株式會社大崎組 (〃)  
桃谷順天館 (〃)

	國 産 額		輸 入 額	
	數 量	價 額	數 量	價 額
大正10	—	731,055圓	116,017斤	878,334圓
11	—	868,731	96,452	659,002
12	—	227,756	109,846	563,564
13	—	824,255	267,811	1,331,544
14	—	1,017,789	50,876	334,016
昭和1	—	882,660	80,074	290,525
2	—	1,415,127	68,511	354,782
3	—	2,885,445	111,445	490,672
4	—	3,269,243	88,788	447,637
5	—	3,868,568	74,554	326,905

水

	國 産 額	價 額
大正10	—	8,16
11	—	6,3-
12	—	5,16
13	—	5,57
14	—	12,06
昭和1	—	6,37
2	—	6,4-
3	—	6,4-
4	—	7,1-
5	—	7,0-

主要府縣別生産額(昭和四年)

縣 名	數 量	價 額
東 京	—	2,022,028圓
京 都	—	147,931
大 阪	—	1,162,777
兵 庫	—	31,737

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數 量	價 額
英 吉 利	91擔	201千圓
佛 蘭 西	852	266
獨 逸	55	8
和 蘭	88	8
北 米	26	6

主要府縣別生産額(昭和)

縣 名	數 量	價 額
東 京	—	1,625,
神奈川	—	
大 阪	—	4,496,
兵 庫	—	64,
愛 媛	—	231,

◎輸入の主要原因

主として舶來品崇拜の觀念と、一部特殊階級の需要に因る。

◎輸入防止の主要處置

外國品崇拜の陋習を打破し、國産品を奨励すると共に生産者は優良品の多量生産及生産費の低減に努力を要す。

◎主要輸入者

岡本信太郎商店 (東京)  
セールフレージャー商會 (〃)  
伴野商店 (〃)  
中山太陽堂 (大阪)

◎外國競争者

コツテー會社 (佛國)  
ロージヤ・ガレー會社 (〃)  
ウビガン會社 (〃)  
ビルテイー會社 (〃)  
ルバン會社 (〃)  
コルゲート會社 (米國)  
アトキンソン會社 (英國)

◎輸入の主要原因

佛國産の如き高級優秀品は内地に於て生産されざるが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

外國品は香料の調分方法に秀で品質良好なるのみならず、容器、包装等に至るまで國産品に優る。

◎輸入防止の主要處置

品質の改善、香料配合方法の改善等が急務である。



# 八八、ホップ

ホップは蕁麻科に属する植物の雌花の乾燥したるものにして、葉狀の薄片より成り形狀松球の如く帶綠黄色を呈す。ルプリンと稱する苦味原質及び揮發油分を含有するため、特異の苦味と香氣を有し、此の苦味及び香氣を利用してビール味の付原料に供せらる。本邦に於けるビール醸造の發達に伴ひ、本品の需要激増せるため各地に原樹を移植し、近年漸く生産を見るに至つたが、その量少くして到底需要を充し得ざるため、内地需要の大部分は海外より輸入されつゝある。世界的生産地は歐洲諸邦北米及濠洲等にして、本邦へ輸入されるものは主として米國産品及び獨逸産品である。

輸入品の包装は、各産地に依つて異り、獨逸産は二五疋入の麻袋四個を麻布にて包み、内面に亜鉛を張りたる箱入とし、一箱の重量は一〇〇疋が普通である。米國産は二重の麻袋入にして、一袋の重量一八〇封度乃至二〇〇封度である。

◎輸入税率  
無税

輸入額	
数量	價額
493,314斤	795,473圓
569,954	891,148
698,773	704,280
914,160	1,285,308
681,127	1,198,950
598,359	1,261,349
764,403	1,407,774
757,429	1,114,326
621,989	686,652
875,335	483,788

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
獨逸	6,570擔	1,030千圓
北米	1,004	84

大正10  
11  
12  
13  
14  
昭和 1  
2  
3  
4  
5

◎主要生産者

大日本麥酒株式會社 (東京)  
麒麟麥酒株式會社 (横濱)  
大日本麥酒株式會社は長野縣及び北海道に原樹を栽培し、麒麟麥酒株式會社は山梨縣下に栽培を試み、此の外にも多少生産されつゝあるが、その生産額は未だ微々たるものである。

◎主要輸入者

三井物産株式會社 (東京)  
大倉商事株式會社 ( )  
大日本麥酒株式會社 ( )  
日本麥酒鑛泉株式會社 ( )  
帝國麥酒株式會社 ( )

◎外國競争者

ランドマン社 (獨逸)  
クレメンスホルスト (米國)  
ジョンバルト (獨逸)  
チエツコ・トレイデング・エキスポート (チエツコ)

◎輸入の主要原因

本品は従來内地に於て生産せられ

なかつた爲め、本邦ビール醸造會社

は何れも海外よりの輸入を仰ぐ外なかつた。近年大日本麥酒株式會社を始め需要者の原樹栽培に依つて多少の生産を見るに至つたが、その生産量は全國ビール醸造家の需要を満すに足らず、且つ内地品は未だ經驗に乏しきため品質の不定を免れず、輸入品の如き優良品を得られざるため依然として歐米諸國より輸入を仰がざるを得ない。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は未だ試験的の時代に屬するを以て、現在の産品を以て直ちに外國品に比較し難いが、品質は寧ろ外國品に優り、而も新鮮なるものを供給し得る便がある。但し一般の需要を充すに足る生産を見るは前途遠である。

◎輸入防止の主要處置

本品の國內生産は前途有望なるを以て、一般農家に原樹栽培を奨励し生産の増加を圖れば、輸入を或る程度まで減少せしむることは比較的容易であらう。

# 八九、藥用人蔘

藥用に供せらるゝ人蔘には數種類あるが、その主たるものはバナツクスジンセンス及びバナツクスフキンケフオリユムの兩種にして、バナツクスジンセンスは支那及本邦に産し

入額	價額
16,889圓	
15,835	
8,141	
33,801	
60,743	
28,549	
39,255	
58,268	
73,660	
78,969	

額(昭和三年)	價額
58,268圓	

易商の手を経て輸入され、或は需要者が直接に輸入するが如き場合は殆んどなく、朝鮮國境附近の産品を少量宛輸入するに過ぎない。従つてその量も少く、取扱者として特掲すべ



輸入品の包装は、各産地に依つて異り、獨逸産は二五疋入の麻袋四個を麻布にて包み、内面に亞鉛を張りたる箱入とし、一箱の重量は一〇〇疋が普通である。米國産は二重の麻袋入にして、一袋の重量一八〇封度乃至二〇〇封度である。

◎輸入税率

無税

八九、藥用人蔘

藥用に供せらるゝ人蔘には數種類あるが、その主たるものはバナツクスジンセンス及びバナツクスフキンケフオリユムの兩種にして、バナツクスジンセンスは支那及本邦に産しバナツクスフキンケフオリユムは主として北米に産す。本邦に於ける生産の大部分は朝鮮産にして、支那その他へ輸出されつゝあるが、又滿州方面より輸入されるものもある。而して輸入は主として價格關係等に因るものにして、内地生産は普通内地需要を充して尙幾分の過剰がある。

◎輸入税率

價額に對する二割。

◎主要生産者

- (紅蔘) 朝鮮京畿道開城 (朝鮮)
- 朝鮮總督府專賣局開城出張所(シ)
- (白蔘) 開城蔘業組合 (シ)
- 京畿道開城 (シ)

◎主要輸入者

本品の輸入は一般輸入品の如く買

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量
獨逸	6,570擔
北米	1,004

	國產額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	32,897貫	637,009圓	15,291斤	16,889圓
11	26,279	700,062	13,835	15,835
12	24,807	727,333	3,432	8,141
13	26,012	725,344	14,029	33,801
14	32,716	864,108	25,416	60,743
昭和1	28,216	577,158	—	28,549
2	19,619	658,395	—	39,255
3	26,004	849,641	—	58,268
4	29,568	769,468	6,258疋	73,660
5	25,465	679,214	7,546	78,969

主要府縣別生産額(昭和四年)

縣名	數量	價額
北海道	849貫	16,112圓
福島	8,691	282,941
長野	14,036	435,943
島根	2,283	110,300

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
支那	—	58,268圓

◎外國競争者

- ランドマン社 (獨逸)
- クレメンホルスト (米國)
- ジョンバルト (獨逸)
- チエツコ・トレイデング・エキ (チエツコ)
- スポーツ

◎輸入の主要原因

本品は従來内地に於て生産せられ

供給し得る便がある。但し一般の需要を充すに足る生産を見るは前途遠くである。

◎輸入防止の主要處置

本品の國內生産は前途有望なるを以て、一般農家に原樹栽培を奨励し生産の増加を圖れば、輸入を或る程度まで減少せしむることは比較的容易であらう。

◎外國競争者

主として吉林省及び奉天省の産品である。

◎輸入の主要原因

朝鮮人蔘の名聲は普く海外に知られてゐる。故に價格の比較的低廉なる滿洲産品を購入し、朝鮮人蔘の名に於て海外に輸出し、又は内地の需要に充てんが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品就中朝鮮産品は品質最も優良且つ生産額豊富にして外國品の追随を許さず。

◎輸入防止の主要處置

本品の輸入はその額頗る僅少にして、内地品に殆んど影響を及ぼさざるを以て、特に輸入防止の必要なし



九〇、桂皮

桂皮は桂樹の幹及枝の皮を剥ぎ、外層を除去して乾燥したるものにして、その主成分は桂皮油である。用途は菓子及混成酒の香味料或は健胃薬、矯味薬、矯臭薬等の材料に供せらる。海外より輸入されるものには支那桂皮とセイロン桂皮の二種あり支那桂皮は支那南部の産品にして特異の快香を有し、セイロン桂皮は主としてセイロン島に産し、辛烈微甘の味を有す。

◎輸入税率

無税

◎主要生産者

本邦に産するものは高知縣の縮々桂皮及和歌山縣の中巻、小巻等にして、特揚すべき生産者なし。

◎主要輸入者

- 海老原直一郎商店 (東京)
島貿易株式會社 (東京)
三共株式會社 (東京)
三井物産株式會社 (東京)
田邊元三郎商店 (東京)
岩井商店東京支店 (東京)

Table with columns: 國産額 (Quantity, Price), 輸入額 (Quantity, Price). Rows include years from 大正10 to 昭和5.

主要府縣別生産額(昭和三年)

Table with columns: 縣名, 數量, 價額. Lists prefectures like 和歌山, 愛媛, 高知, etc.

主要國別輸入額(昭和三年)

Table with columns: 國名, 數量, 價額. Lists countries like 支那, 喜望峰殖民及地ナタル, 蘭領印度, etc.

◎外國競争者

- 鳥居商店 (東京)
岩城市太郎商店 (東京)
島久商店 (東京)
小西安兵衛商店 (東京)
藤澤友吉商店 (大阪)
田邊五兵衛商店 (東京)
武田長兵衛商店 (東京)
鹽野儀商店 (東京)
小西新兵衛商店 (神戸)
デラカンプピールパー商會 (神戸)

◎輸入の主要原因

國産額少く、需要に充たざるが爲である。

◎輸入品と國産品の優劣

國産桂皮は、セイロン産には及ばないが、支那産よりは優良である。

◎輸入防止の主要處置

國産肉桂の用途を研究すれば、輸入は漸次減少すべし。

九一、沒食子・五倍子及其他のタンニン材料

沒食子は苦味を有し收斂性あり且つ多量の鞣酸を含有するを以て、黒色染料、墨汁原料、鞣皮原料等に用ひらる。

Table with columns: 額, 價額. Lists values from 1,357,770 to 1,644,542.

Table with columns: 價額. Lists values from 410千圓 to 166.

- 森村商事株式會社 (東京)
株式會社兼松商店 (神戸)
菅井豐藏商店 (大阪)
合名會社山本商店 (東京)
上杉台兵衛商店 (東京)



桂皮及和歌山縣の中巻、小巻等にして、特掲すべき生産者なし。

◎主要輸入者

- 海老原直一郎商店 (東京)
- 島貿易株式會社 (〃)
- 三共株式會社 (〃)
- 三井物産株式會社 (〃)
- 田邊元三郎商店 (〃)
- 岩井商店東京支店 (〃)

國 産

數量	國 産
大正10	12,618束
11	4,345
12	12,600
13	14,087
14	10,861
昭和1	12,295
2	14,511
3	11,286
4	13,654
5	16,544

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
和歌山	8,853束	1
愛 媛	650	
高 知	1,215	
熊 本	196	
鹿兒島	63	
靜 岡	61	
山 口	215	

國産額少く、需要に充たざるが爲である。

◎輸入品と國産品の優劣

國産桂皮は、セイロン産には及ばないが、支那産よりは優良である。

◎輸入防止の主要處置

國産肉桂の用途を研究すれば、輸入は漸次減少すべし。

九一、沒食子・五倍子及其他のタンニン材料

沒食子は苦味を有し收斂性あり且つ多量の鞣酸を含有するを以て、黑色染料、墨汁原料、鞣皮原料等に用ひらる。

五倍子は質堅脆にして破碎し易く多量の鞣酸を含有し味苦く收斂性に富み、工業上に於ては布帛の染料、鞣皮の原料、黒汁原料等に使用され醫療上に於ては收斂薬に用ひらる。

此の外單寧材料として鞣皮用その他に用ひらるゝものにはミロバラン檳榔子、オーク樹皮、栲皮、ミモサ樹皮、マールレット樹皮、ヘムロツク樹皮、シヌーマツク、ヴァロニア等の各種があるが、本邦に生産されざるもの多く、大部分輸入さる。

◎輸入税率

タンニン材料各種共——無税

◎主要生産者

國産タンニン材料の主たるものは柏皮、五倍子等であるが、その生産量少く、特掲すべきものなし。

◎主要輸入者

三井物産株式會社 (東京)

輸 入 額

數量	價 額	輸 入 額	數量	價 額
大正10	719,466斤	186,349圓	213,151擔	1,357,770圓
11	648,036	175,700	159,479	1,633,909
12	589,857	136,680	150,609	1,396,896
13	419,017	106,639	169,647	1,266,094
14	427,780	87,000	164,833	1,682,291
昭和1	477,410	101,447	222,266	1,990,135
2	430,920	85,068	176,922	1,560,598
3	452,279	87,749	196,990	1,843,294
4	466,352	88,021	176,969	1,603,906
5	478,965	89,654	198,595	1,644,542

(五倍子の産額)

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
支 那	11,085擔	410千圓
關 東 州	18,214	105
英 吉 利	2,553	36
北 米	6,389	49
亞 爾 然 丁	3,718	63
喜望峰殖民地及なたる	116,756	878
東部アフリカ	5,450	84
其他アフリカ諸國	16,891	166

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
兵 庫	15,155斤	3,459圓
和歌山	43,334	10,749
島 根	17,066	3,694
岡 山	106,684	10,478
山 口	76,517	15,737
香 川	29,597	10,883
愛 媛	72,936	12,881

◎外國競争者

各種類に依つて夫々異り、五倍子は主として支那産品、沒食子は英領シンガポール産品、ミロバロンは英領印度産品、ミモサ樹皮は南亞弗利加産、オークバークは北米産が夫々最も多く輸入さる。

◎輸入の主要原因

タンニン材料にはその種類多く、而もその各種類に依つて性質を異にし、製品の種類に依つて適宜配合するため二、三種の國産品を以ては到底不足なるが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

概して輸入品が優良である。

◎輸入防止の主要處置

柏皮その他優良タンニン材料の増産を奨励するの外なし。



九二、阿仙藥及其他のタンニン・エキス

阿仙藥は植物の若芽、葉及木心等を原料として製したる乾燥エキスにして、多量の阿仙藥鞣酸を含有するを以て、工業上に於ては黒色染料、各種獸皮の鞣し材料等に用ひられ、又醫療上に於ては收斂劑として使用さる。世界に於ける本品の産地は印度、セイロン島、ビルマ、アフリカ等にして、ガムビール阿仙藥及びアカシア阿仙藥の兩種がある。此の外タンニンエキスには栲皮、槲皮、ヘムロック樹皮、シューマツク等を原料として製したる各種類がある。本邦に於ては材料不足のため本品の製出少く、消費の大部分は輸入に仰ぐの外なき状態である。

輸入品の包装は各産地に依つて異り、海峽殖民地方面より輸入されるものは普通三〇〇斤の箱入、印度方面より輸入されるものは麻袋又は竹籠入りにして、麻袋入は一個二五〇封度内外、竹籠入は三五〇封度乃至六五〇封度である。

◎輸入税率

阿仙藥その他各種共——無税

◎主要生産者

輸入額	
数量	價額
大正10	213,151擔
11	159,479
12	93,734
13	81,617
14	82,034
昭和1	106,696
2	108,514
3	117,200
4	133,925
5	166,664

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英領印度	3,100擔	57千圓
海峽殖民地	13,521	233
蘭領印度	16,775	277
英吉利	5,290	91
北米	7,935	162
喜望峯殖民地	9,429	144
亞爾然丁	47,702	635

合資會社新田帶革製造所(大阪)阿仙藥を始めとし、カツチエキスケブラホエキス、ミモサバーク等は何れも國內に於て多量の需要あるも生産者なく、新田帶革製造所は主として自家用に充てるため北海道に工場を建設して、澁木エキス、オークパークエキス等を製出し、本邦に於ける斯業界に先鞭を着けたが其の生産額は尙ほ微々たるものである。

◎主要輸入者

- (阿仙藥)
  - 三井物産株式會社 (東京)
  - 三菱商事株式會社 (大阪)
  - 株式會社岩井商店 (大阪)
  - 株式會社長瀬商店 (大阪)
  - 菅井商店 (大阪)
- (カツチエキス)
  - 東京トレーディング商會 (東京)
  - 中外貿易合名會社 (大阪)
  - 株式會社長瀬商店 (大阪)
  - 株式會社岩井商店 (大阪)
  - ドットウエル商會 (神戸)
  - サミュエル・サミュエル商會 (神戸)
- (ケブラホエキス)
  - 三井物産株式會社 (東京)
  - 森村商事株式會社 (大阪)
  - 東京トレーディング商會 (大阪)
  - 島貿易合名會社 (東京)
  - 中外貿易合名會社 (大阪)
  - 株式會社長瀬商店 (大阪)
  - ドットウエル商會 (神戸)

◎外國競争者

南米アルゼンチン産品、蘭領印度産品、及び海峽殖民地産品等が主たる競争者である。

◎輸入の主要原因

タンニンエキスを必要とする各種工業は逐年盛大に赴きつゝあるも、國産額之に伴はざるが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

輸入品と國産品は品種異なるため優劣を比較し難い。

◎輸入防止の主要處置

國內生産の増加を圖り、本品生産者に適當の保護を加へる必要あり。

◎主要輸入者

- 三井物産株式會社 (東京)
- 安宅商會 (大阪)
- 株式會社長瀬商店 (大阪)

九三、松

脂

松脂は松の木より自然に滲出したるもの又は松の木に疵傷をつけて滲出せしめたるものを採集せるものにして、類白色、類黄色或は帶褐黄色を呈し、稍々透明にして微にターベ

額價額

1,062,609圓
1,140,909
2,110,499
2,534,929
3,195,414
4,774,989
3,600,753
3,691,317
3,756,805
2,520,397

額價額

216千圓
17
45
17
3,393



九三、松

脂

り、海峽殖民地方面より輸入されるものは普通三〇〇斤の箱入、印度方面より輸入されるものは麻袋又は竹籠入りにして、麻袋入は一個二五〇封度内外、竹籠入は三五〇封度乃至六五〇封度である。

◎輸入税率

阿仙藥その他各種共——無税

◎主要生産者

松脂は松の木より自然に滲出したるもの又は松の木に疵傷をつけて滲出せしめたるものを採集せるものにして、類白色、類黄色或は帯褐黄色を呈し、稍々透明にして微にターペンチンに類似せる香氣を有し、質脆くして破碎し易く破碎面は貝殻状をなす。醫療用及工業用に廣く用ひられ、醫療用としては硬膏及軟膏の添加劑、工業用としては燐寸、假漆、封蠟、石鹼等の原料或は金屬接合の錐着藥等に供せらる。國産品は品質悪く且つ産額少きため、國內消費の大部分は輸入さる。

◎輸入税率

無税

◎主要生産者

本邦には到る所に松樹あるも、松脂の品質悪しきため殆んど顧みられず、九州及中國諸縣下に生産者あるもその量少く、生産者として特掲するに足るものがない。

主要國別輸入額

國名	數量
英領印度	3,100擔
海峽殖民地	13,521
蘭領印度	16,775
英吉利	5,290
北米	7,935
喜望峯殖民地	9,429
亞爾然丁	47,702

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	100,013斤	12,109圓	135,141擔	1,062,609圓
11	102,537	18,092	162,656	1,140,909
12	53,596	6,163	316,267	2,110,499
13	20,629	1,698	308,807	2,534,929
14	6,273	1,842	260,675	3,195,414
昭和1	10,850	1,210	308,349	4,774,989
2	12,051	2,001	297,071	3,600,753
3	11,293	1,649	351,880	3,691,317
4	10,958	1,597	379,854	3,756,805
5	11,362	1,827	334,912	2,520,397

主要府縣別生産額(昭和四年)

縣名	數量	價額
福島	50斤	15圓
神奈川	800	60
石川	1,000	100
大阪	62	37
和歌山	9,300	1,427

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
支那	27,509擔	216千圓
蘭領印度	1,669	17
佛領印度支那	4,201	45
佛蘭西	1,475	17
北米	316,949	3,393

株式会社長瀬商店 (〇)

菅井商店 (〇)

(カツチエキス)

東京トレーディング商會 (東京)

中外貿易合名會社 (〇)

株式會社長瀬商店 (大阪)

株式會社岩井商店 (〇)

ドットウエル商會 (神戸)

サミュエル・サミュエル商會(〇)

(ケブラホエキス)

工業は逐年盛大に赴きつゝあるも、國産額之に伴はざるが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

輸入品と國産品は品種異なるため優劣を比較し難い。

◎輸入防止の主要處置

國內生産の増加を圖り、本品生産者に適當の保護を加へる必要あり。

◎主要輸入者

- 三井物産株式會社 (東京)
- 安宅商會 (大阪)
- 株式會社岩井商店 (〇)
- 米國貿易株式會社 (東京)
- シーベルヘグナー商會 (神戸)

◎外國競争者

松脂の世界的産地として著名なるは北米及露國であるが、本邦に輸入されるものは大部分北米産品にして其他支那産品、佛領印度支那、蘭領印度等の産品が輸入されるが、北米産品に比すれば僅少である。

◎輸入の主要原因

國産品は需要を充すに足らず且つ品質粗悪なるが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は劣等にして、加工して一部の需要に供するに過ぎない。

◎輸入防止の主要處置

輸入品に代るべき適當の代用品を研究製出する事が急務である。



九四、阿膠

阿膠は動物質の結締組織、軟骨質或は皮等を原料とせるものにして、牛、羊、豚其他の獸類の骨、蹄、角又は屑皮等より製したるものを骨膠と稱し、魚の頭尾、鱗、鰓等より製したるものを魚膠と謂ふ。普通扁形に製せられ、類黄色又は褐色を呈す。魚膠は一名アイシングラスと呼び無味無臭にして食用、又は葡萄酒、麥酒等の精製用に供せられ、骨膠は接着料として工業上に廣く用ひられ、その他製紙、製墨、蒟蒻版、燐寸等の製造に用ひられて需要頗る多し。

輸入品の包装は樽入又は麻袋入にして、一個の重量一〇〇匁が普通である。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——三圓五〇錢

◎主要生産者

- 合資會社新田帶革製造所(大阪)
- 中村膠製造所 (奈良)
- 伊達昌一商店 (東京)
- 松田友七商店 ( )
- 大橋商店 ( )

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	1,622,342封度	411,077圓	797,782斤	530,918圓
11	2,985,622	625,488	1,548,380	630,205
12	4,857,678	401,914	1,570,359	476,101
13	3,236,051	738,505	1,968,863	609,848
14	3,064,756	184,364	2,041,706	650,742
昭和1	4,046,385	951,110	1,891,887	493,055
2	4,721,822	931,395	1,646,915	425,484
3	5,856,401	1,487,087	1,784,124	605,523
4	6,568,296	1,356,024	2,220,589	761,011
5	6,966,256	1,124,321	1,370,161	476,887

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	214,271封度	37,557圓
大阪	4,341,440	1,151,662
兵庫	402,685	93,917
奈良	854,430	186,686

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	7,5192擔	212千圓
佛蘭西	5,017	199
獨逸	2,284	70
白耳義	2,223	102
伊太利	266	7
瑞西	167	4

◎主要輸入者

- 田寺源太夫商店 (兵庫)
- 辻村商店 ( )
- 中井利助商店 ( )
- 高島商店 (大阪)
- 山田彦兵衛商店 ( )
- 荒川正太郎商店 ( )

◎外國競争者

英國、佛國及、白耳義產品等。

◎輸入の主要原因

高級優良品の國産少きに因る。

◎輸入品と國産品の優劣

上等品は品質價格共に、外國品に及ばないが、普通品は遜色がない。

◎輸入防止の主要處置

品質の向上を圖り、原料の供給を潤澤ならしめる事が肝要である。

九五、ゼラチン

ゼラチンは阿膠を更に精製したるものにして、牛及犢の骨を原料とせるものは最良品であるが、その他の獸骨も用ひらる。無味、無臭にして無色透明に近く、硝子に似たる光澤

額	價額
—	—
101,127圓	
233,648	
209,849	
264,255	
208,982	
264,309	
305,701	
256,427	

額(昭和三年)

價額
13千圓
65
107
52
18
6

◎外國競争者

- 株式會社武田長兵衛商店(大阪)
- デラカンプビーパー商會( )
- 獨逸產品、佛國產品、白耳義產品



◎輸入税率

一〇〇斤に付——三圓五〇錢

◎主要生産者

合資會社新田帶革製造所(大阪)  
中村膠製造所 (奈良)  
伊達昌一商店 (東京)  
松田友七商店 ( )  
大橋商店 ( )

國 産

年次	數量	價 額
大正10	1,622,342封度	4
11	2,985,622	6
12	4,857,678	4
13	3,236,051	7
14	3,064,756	1
昭和1	4,046,385	9
2	4,721,822	9
3	5,856,401	1,4
4	6,568,296	1,3
5	6,966,256	1,1

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東 京	214,271封度	37
大 阪	4,341,440	1,151
兵 庫	402,685	93
奈 良	854,430	186

◎輸入の主要原因

高級優良品の國産少きに因る。

◎輸入品と國産品の優劣

上等品は品質價格共に、外國品に及ばないが、普通品は遜色がない。

◎輸入防止の主要處置

品質の向上を圖り、原料の供給を潤澤ならしめる事が肝要である。

九五、ゼラチン

ゼラチンは阿膠を更に精製したるものにして、牛及犢の骨を原料とせるものは最良品であるが、その他の獸骨も用ひらる。無味、無臭にして無色透明に近く、硝子に似たる光澤を有し、アルコール及エーテルには不溶解である。主として食料及菓子類の製造、酒類の清澄劑、石版寫眞等に應用せらる。内地に於ける生産は需要に伴はざるため、大部分海外諸國より輸入さる。

輸入品の包装は箱入にして、一箱の重量は普通二五〇封度である。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——一六圓三〇錢

◎主要生産者

本邦には阿膠の生産少きため、本品の生産も微々として振はず、生産者として特に掲ぐべき大規模のものがない。

◎主要輸入者

株式會社長瀬商店 (大阪)  
株式會社岩井商店 ( )  
株式會社稻畑商店 ( )

輸 入 額

年次	數量	價 額	數量	價 額
大正10	12,000封度	9,600圓	—	—
11	1,716,620	56,427	—	—
12	—	—	88,530斤	101,127圓
13	3,000	2,100	156,494	233,648
14	3,500	2,450	187,909	209,849
昭和1	—	—	253,949	264,255
2	30,000	12,000	186,233	208,982
3	1,200	840	243,757	264,309
4	5,900	4,000	249,427	305,701
5	7,800	5,900	200,694	256,427

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
英 吉 利	53擔	13千圓
佛 蘭 西	685	65
獨 逸	1,075	107
白 耳 義	517	52
瑞 西	79	18
北 米	29	6

◎外國競争者

獨逸産品、佛國産品、白耳義産品及び北米産品。

◎輸入の主要原因

本邦に於ては原料阿膠の生産少き爲め、大部分阿膠のまゝ使用されてゼラチンの原料に充當すべき過剰少きのみならず、氣候溫暖にして濕氣多く本品の製造に適せざるがため、従來本品の大量生産を企畫する者殆んどなく、小規模組織に依つて副業的に生産されるに過ぎざるが爲め、輸入は止むを得ない。

◎輸入品と國産品の優劣

良質の原料に乏しく、且つ製造設備不完全なるため、國産品は品質及價格共に輸入品に及ばない。

◎輸入防止の主要處置

原料阿膠の増産を圖ると共に、その需給關係の圓滑を圖れば、輸入を或程度まで防止し得るであらう。



九六、磷

磷には黄磷、赤磷、硫化磷等がある。黄磷は類黄色にして蠟様の光澤あり、酸素と結合力強く大氣中に於て臭氣を放ち白煙を發し、六〇度にて發火燃焼す。黄磷を空氣の流通を遮斷して攝氏二五〇度乃至二六〇度に熱して製したるものは即ち赤磷である。黄磷は普通圓柱形の塊であるが、赤磷は赤褐色不透明の粉末にして、共に化學的試験に用ひられ、又工業上に於ては燐寸及爆發藥の原料となり、醫療上に於ては軟膏、塗抹劑等に用ひらる。内地生産は略需要を充し得るが、生産少き時には歐米諸國より輸入さる。

◎輸入税率

無税

◎主要生産者

特掲すべき生産者なし。

◎主要輸入者

シーベルヘグナー商會 (東京)

九七、硼

酸

硼酸は飲食物の防腐劑、醫療上の含嗽劑、塗布劑、注射劑、軟膏その他、工業上の釉藥、人造寶石及フリント硝子の原料、綠色煙火の原料等に供せられ、用途頗る廣汎である。

入

額		國産額		輸入額	
價額	數量	價額	數量	價額	數量
472,653圓	—	—	—	—	—
289,988	—	345,187圓	—	—	—
437,088	588,270封度	1,142,737	—	—	—
404,510	1,511,820	534,344	237,338斤	280,031圓	—
336,101	640,630	—	270,104	379,381	—
417,812	—	656,677	285,369	332,456	—
308,618	昭和 1 874,177	870,564	236,414	323,519	—
296,341	2 732,833	598,366	288,396	394,548	—
325,536	3 1,026,928	496,566	296,563	339,683	—
228,795	4 859,864	562,124	277,364	354,696	—
	5 989,298				

額(昭和三年)

價額
131千圓
12
94
22
34

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
福島	518,000封度	311,200圓
富山	508,928	287,166

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
佛蘭西	105,828斤	138,130圓
英吉利	116,575	168,297
獨逸	39,951	61,181
支那	2,268	3,450
北米	30	192
白耳義	4,580	6,599
瑞典	833	1,289

◎外國競争者

英國産品、佛國産品、獨逸産品及北米産品等。

◎輸入の主要原因

國産品は價格高く品質粗悪なるがためである。

◎輸入防止の主要處置

一時歐米品に壓倒されたが、近來又國産品復活し輸入激減した。更に優良品の生産に努めれば、輸入根絶は容易である。

◎外國競争者

- 三井物産株式會社 (東京)
- 鳥居商店 (〃)
- 田邊元三郎商店 (〃)
- 岩城市太郎商店 (〃)
- 島久商店 (〃)
- 三共株式會社 (〃)
- 小西新兵衛商店 (〃)
- 小西安兵衛商店 (〃)
- 海老原直一郎商店 (〃)
- 藤澤友吉商店 (大阪)
- 島貿易株式會社 (〃)
- 田邊五兵衛商店 (〃)
- 株式會社鹽野儀商店 (〃)
- 株式會社武田長兵衛商店 (〃)
- 三共株式會社 (東京)
- 株式會社岩井商店 (大阪)
- 株式會社鹽野儀商店 (〃)
- 株式會社武田長兵衛商店 (〃)



多く、普通一〇封度入一〇罐を以て一箱とす。

◎輸入税率

無税

◎主要生産者

特掲すべき生産者なし。

◎主要輸入者

シーベルヘグナー商會 (東京)

九七、硼

酸

硼酸は飲食物の防腐劑、醫療上の含嗽劑、塗布劑、注射劑、軟膏その他、工業上の釉藥、人造寶石及フリント硝子の原料、綠色煙火の原料等に供せられ、用途頗る廣汎である。一般的には硼砂を酸類に處理して製するが、伊太利産品は、タスカニ州に天産する礦石サソリン、及び同地方の火山近傍の地中より噴出する水蒸氣中に含有せるものを蒸發結晶せしめて製したるものである。

本邦に於ては大阪地方に於て生産されるが、量少くして需要の一部を充すに過ぎず、大部分は歐米諸國より輸入さる。

輸入品の包装は普通箱入又は樽入にして、箱入は一―二封度、樽入は五〇珎入乃至一〇〇珎入である。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——三圓三〇錢

◎主要生産者

特掲すべきものなし

◎主要輸入者

三井物産株式會社

(東京)

	國 産 額		輸 入 額	
	數 量	價 額	數 量	價 額
大正10	—	—	1,132,354斤	472,653圓
11	—	—	860,972	289,988
12	—	—	1,391,303	437,088
13	—	—	1,336,480	404,510
14	1,102封度	386圓	1,129,657	336,101
昭和1	17,524	350	1,724,083	417,812
2	—	—	1,392,651	308,618
3	20,322	4,267	1,462,471	296,341
4	25,249	4,889	1,909,461	325,536
5	27,315	5,015	1,360,600	228,795

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數 量	價 額
大 阪	20,322封度	4,267圓

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數 量	價 額
英 吉 利	6,927擔	131千圓
佛 蘭 西	643	12
獨 逸	4,180	94
白 耳 義	1,188	22
北 米	1,678	34

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數 量	價 額
福 島	518,000封度	311,
富 山	508,928	287,

◎輸入の主要原因

國産品は價格高く品質粗悪なるがためである。

◎輸入防止の主要處置

一時歐米品に壓倒されたが、近來又國産品復活し輸入激減した。更に優良品の生産に努めれば、輸入根絶は容易である。

◎外國競争者

- 三共株式會社 (東京)
- 株式會社岩井商店 (大阪)
- 株式會社鹽野儀商店 (〃)
- 株式會社武田長兵衛商店 (〃)

◎輸入の主要原因

各方面に需要多きに拘はらず、内地生産は之に伴はず、年々不足を告ぐるが爲である。

◎輸入品と國産品の優劣

品質は略同様であるが、輸入品は概して廉價である。

◎輸入防止の主要處置

生産設備を改善し、生産費の低下及産額増加に努める外なし。



九八、醋 酸

醋酸はアルコールを含有する液を醱酵せしめ、又は木錯酸を原料として製造されるが、工業用として多量生産するには、木材乾溜の際副産物として生ずる不純醋酸石灰を原料として製す。本品は食用としては合成酢の原料となり。醫藥上に於ては利尿剤に用ひられ、工業上に於ては、醋酸鹽類、炭酸鉛、アニリン色素等の製造に用ひらる。

本邦に於ける生産は近來長足の進歩をなし、國內の需要を充して尙ほ過剩あり支那その他へ輸出されつゝあるが、一方試験用その他として歐米より少量の輸入がある。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——一一圓

◎主要生産者

- 日本錯酸製造株式會社 (東京)
- 大日本製劑株式會社 (〃)
- 伊藤醋酸製造工場 (大阪)
- 廣榮製藥株式會社 (〃)
- 廣業株式會社 (〃)
- 近藤製藥工場 (堺)

九九、サリチール酸

サリチール酸は從來石楠科に屬する植物ガルセリア及フリカ屬等より製出されたが、現今は人工的分成法に依り石炭酸より製す。白色鍼狀の結晶又は結晶粉末にして酸味及び微かなる甘味を有し、一名水楊酸とも

入 額	國 産		輸 入	
	價 額	數 量	價 額	數 量
131,667圓	9,558,806封度	2,155,676圓	—	—
310,017	5,335,867	1,753,222	—	—
449,101	8,912,426	2,559,862	—	—
349,337	10,727,883	3,226,267	21,651斤	24,705圓
229,859	8,759,447	3,033,124	31,164	37,144
311,073	9,813,135	3,257,051	30,259	36,598
164,408	9,308,489	2,742,047	33,456	39,653
297,112	19,712,193	3,256,539	31,198	37,258
231,158	20,156,199	3,568,264	25,466	30,598
150,770	21,215,269	3,263,224	29,896	36,012

額(昭和三年)

價 額
58千圓
10
209
10
7

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數 量	價 額
東 京	3,000,800封度	1,050,000圓
岐 阜	624,399	124,880
愛 知	9,483	1,893
大 阪	16,072,593	2,077,295
福 岡	4,050	2,228

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數 量	價 額
獨 逸	14,568斤	18,022圓
英 吉 利	8,376	10,234
和 蘭	8,286	7,908
佛 蘭 西	847	885
海峽殖民地	85	95

◎主要輸入者

本品は研究材料として極く少量の輸入あるに過ぎざるを以て、輸入取扱者と見做すべきものはない。

◎外國競争者

獨逸産品、米國産品及獨逸産品等にして、獨逸より輸入されるは合成醋酸である。

◎輸入の主要原因

外國に於ける本品の製造技術は進歩せるを以て、外國製品中の特殊品を研究材料とする爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

外國産品中には本邦に於て生産されざる特殊の製法に依るものもあるが、普通に就いて比較すれば何等の優劣を認めない。

◎輸入防止の主要處置

特殊品が研究材料として輸入されるに過ぎざるを以て、國産品に對して何等の影響もない。故に特に防止策を講ずる必要を認めない。

◎外國競争者

- 株式會社鹽野儀商店 (大阪)
- 田邊五兵衛商店 (〃)

主として獨逸産品、英國産品及び



◎輸入税率

一〇〇斤に付——一一圓

◎主要生産者

- 日本錯酸製造株式会社 (東京)
- 大日本製劑株式会社 (〃)
- 伊藤醋酸製造工場 (大阪)
- 廣榮製藥株式会社 (〃)
- 廣業株式会社 (〃)
- 近藤製藥工場 (堺)

國 産 額

年次	數量	價 額
大正10	9,558,806封度	2,155,
11	5,335,867	1,753,
12	8,912,426	2,559,
13	10,727,883	3,226,
14	8,759,447	3,033,
昭和1	9,813,135	3,257,
2	9,308,489	2,742,
3	19,712,193	3,256,
4	20,156,199	3,568,
5	21,215,269	3,263,

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東 京	3,000,800封度	1,050,000
岐 阜	624,399	124,800
愛 知	9,483	1,800
大 阪	16,072,593	2,077,200
福 岡	4,050	2,200

外國産品中には本邦に於て生産されざる特殊の製法に依るものもあるが、普通に就いて比較すれば何等の優劣を認めない。

◎輸入防止の主要處置

特殊品が研究材料として輸入されるに過ぎざるを以て、國産品に對して何等の影響もない。故に特に防止策を講ずる必要を認めない。

九九、サリチール酸

サリチール酸は從來石楠科に屬する植物ガルセリア及びフリカ屬等より製出されたが、現今は人工的分成法に依り石炭酸より製す。白色絨狀の結晶又は結晶粉末にして酸味及び微かなる甘味を有し、一名水揚酸とも謂ふ。殺菌力強きため飲食物の防腐劑として用ひられ、或は解熱劑、軟膏、撒布藥等の製造に用ひらる。從來内地需要の大部分を輸入に仰ぎつゝあつたが、近年内地生産額増加せるため、輸入額は國産額の三分の一内外となつた。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——四五圓

◎主要生産者

- 三共株式会社 (東京)
- 此の外多數生産者あるも、三共製品は品質及數量に於て最も顯はる。

◎主要輸入者

株式会社武田長兵衛商店(大阪)

輸 入 額

年次	數量	價 額
大正10	141,525斤	131,667圓
11	388,371	310,017
12	479,300	449,101
13	388,623	349,337
14	262,288	229,859
昭和1	356,901	311,073
2	195,407	164,408
3	404,641	297,112
4	301,971	231,158
5	185,031	150,770

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
英 吉 利	625擔	58千圓
佛 蘭 西	143	10
獨 逸	3,025	209
奧 地 利	150	10
北 米	102	7

◎輸入の主要原因

内地生産能力は優に國內の需要を充し得るに拘らず、需要者は價格その他の關係上外國品を歓迎する傾向あり、特に獨逸バイエル、ハイデン等の製品は盛んに使用されるが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は品質に於て毫も輸入品に劣らないが、生産費高きため價格に於て常に輸入品に壓迫され勝ちである。

◎輸入防止の主要處置

政府は關稅の引上げに依つて徹底的に輸入を防遏すべく、一方生産業者は生産設備を改善して生産費の低減に努力すれば、輸入を根絶せしむることは比較的容易である。



100、アセチール・サリチール酸

アセチールサリチール酸は、石炭酸と炭酸瓦斯に依つて合成せるサリチール酸の酸基を醋酸基に置換せる白色の結晶粉にして主として解熱劑に用ひらる。本品の世界的生産國は獨逸にして就中バイエル會社製品の名聲は普く認められ本邦へも少なからず輸入さる。本邦の生産は歐州大戰當時頗る盛大であつたが、大戰終了後歐米品の輸入復活するに及んで價格の點に於て次第に壓迫され、近時は頗る振はない。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——四五圓

◎主要生産者

三井株式會社 (東京)  
田邊製藥所 (山口)

◎主要輸入者

株式會社武田長兵衛商店(大阪)  
田邊五兵衛商店 (〃)  
株式會社鹽野儀商店 (〃)  
日瑞貿易株式會社 (〃)  
株式會社岩井商店 (〃)

年次	國産額		輸入額
	數量	價額	
大正10	—	—	—
11	—	—	—
12	—	—	—
13	—	—	275,832斤
14	1,039匁	3,637圓	135,404
昭和1	—	—	126,901
2	—	—	277,267
3	2,474	9,153	186,914
4	2,054	8,563	272,808
5	2,378	8,767	170,568

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	1,569瓦	6,011圓
山口	658	2,456
大阪	156	675

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
佛蘭西	597擔	69千圓
獨逸	1,205	194
瑞西	66	7

◎外國競争者

バイエル會社製その他の獨逸産品は最も多く輸入され、之に次ぐは佛國産品、瑞西産品、及び米國産品、和蘭産品等である。

◎輸入の主要原因

歐州大戰後、獨逸その他の歐米諸國は舊來の販路を回復すべく、頗る廉價を以て競争したる結果、國産品は次第に壓迫されて需要激減し、輸入品の跳梁に委する外なき状態となり、近時幾分復活したが尙ほ價格に於て輸入品に對抗し得ず、従つて内地生産額に比し頗る微々たるものである。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は品質に於ては輸入品の最優良品に匹敵し得るが、價格に於て競争不可能である。

◎輸入防止の主要處置

生産者が規模を擴張し大量生産に依る價格の低下に努めることが最も肝要である。

101、石炭酸

石炭酸は石炭タール中に多量に含有され、製品は無色長針狀の結晶又は白色結晶性の塊にして、特異の臭氣を有し、腐蝕性及び殺菌防腐性に富む。故に醫療上に於ては消毒藥及び瘡重の剝瘍療法に用ひられ、工

年次	輸入額
大正10	862,442圓
11	854,198
12	1,073,374
13	917,837
14	686,464
昭和1	494,733
2	496,668
3	447,126
4	148,771
5	62,810

縣名	輸入額
東京	367千圓
山口	61
大阪	8
他	10

三井物産株式會社 (東京)

◎外國競争者

英國産品最も多く、之に次いで獨逸産品、北米産品和蘭産品等であ



◎主要生産者

三井株式會社 (東京)  
田邊製藥所 (山口)

◎主要輸入者

株式會社武田長兵衛商店(大阪)  
田邊五兵衛商店 (〃)  
株式會社鹽野儀商店 (〃)  
日瑞貿易株式會社 (〃)  
株式會社岩井商店 (〃)

一〇一、石炭酸

石炭酸は石炭タール中に多量に含有され、製品は無色長針状の結晶又は白色結晶性の塊にして、特異の臭氣を有し、腐蝕性及び殺菌防腐性に富む。故に醫療上に於ては消毒藥及び諸種の創傷療法に用ひられ、工業上に於てはサリチル酸、ピクリン酸、アニリン色素等の製造原料として用ひられ、用途廣汎である。國産額は國內需要に比し遙かに少きため従來巨額の輸入を見つゝあつたが近年内地の生産増加に依り、輸入激減しつゝある。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——一五圓七〇錢

◎主要生産者

八幡製鐵所 (八幡)  
三井鑛山株式會社 (東京)  
三井株式會社 (〃)  
由良染料株式會社 (和歌山)

◎主要輸入者

株式會社岩井商店 (大阪)  
株式會社長瀬商店 (〃)  
株式會社武田長兵衛商店(〃)

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	—	—	1,994,784斤	862,442圓
11	—	—	2,652,662	854,198
12	35,597封度	23,139圓	1,851,380	1,073,374
13	4,720	944	1,964,366	917,837
14	13,236	4,632	1,845,626	686,464
昭和1	142,396	141,508	1,553,094	494,733
2	1,018,303	235,503	1,212,798	496,668
3	30,979	11,968	1,088,579	447,126
4	57,869	21,095	369,800	148,771
5	96,514	39,865	161,710	62,810

國産額  
數量 價

	數量	價
大正10	—	—
11	—	—
12	—	—
13	—	—
14	1,039疋	3
昭和1	—	—
2	—	—
3	2,474	9
4	2,054	8
5	2,378	8

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價
東京	1,569瓦	6,0
山口	658	2,4
大阪	156	6

主要國別輸入額(昭和三年)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額	國名	數量	價額
東京	—	5,268圓	英吉利	8,917擔	367千圓
福岡	—	3,298	獨逸	1,547	61
和歌山	—	1,326	和蘭	167	8
大阪	—	968	北米	239	10

(推定額)

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は品質に於ては輸入品の最優良品に匹敵し得るが、價格に於て競争不可能である。

◎輸入防止の主要處置

生産者が規模を擴張し大量生産に依る價格の低下に努めることが最も肝要である。

三井物産株式會社 (東京)

◎外國競争者

英國産品最も多く、之に次いで獨逸産品、北米産品和蘭産品等である。

◎輸入の主要原因

歐米諸國に依ては生産規模擴大にして大量生産し、加ふるに原料豊富等の關係上價格頗る低廉である。故に内地製品は常に輸入品の壓迫を免れず、生産者は採算上全能力を發揮し得ざる状態に在る従つて生産不足を告げ輸入さる。

◎輸入品と國産品の優劣

國産石炭酸は品質に於て毫も輸入品に劣らないが、原料その他の關係上輸入品に比して割高である。然れども近來生産設備の改善國産品需要の増加等に因り生産逐年増加し、輸入は漸減しつゝある。

◎輸入防止の主要處置

コールドタール企業を盛大ならしむることが急務である。



一〇二、枸橼酸

クエン酸は柚、臭橙、密柑等の果實中に多く含有せられ、是等果實の熟せざるもの或は腐敗せるもの等を原料として製したるものにして、無色無臭、稜柱状の結晶をなし、佳快なる酸味を有す。醫療上に於てはレモナーデとなし、種々の熱病治療に用ひられ、工業上に於ては酸及び鹽類として捺染、拔染、及びその他絹染の補助劑として、染色に應用さる。本邦に於ては和歌山縣、山口縣その他各地に生産されるが、量少くして需要の一部を充すに足らず、大部分は歐米諸國より輸入さる。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——三三圓

◎主要生産者

本品の生産は概ね小規模にして特掲すべきものなし。

◎主要輸入者

株式会社武田長兵衛商店(大阪)  
株式會社長瀬商店 (〳)  
此の外東京、大阪その他各地の藥業者に依つて直接輸入さる。

	國 産 額		輸 入 額	
	數 量	價 額	數 量	價 額
大正10	—	—	36,001斤	82,482圓
11	—	—	113,394	134,534
12	—	—	174,508	183,678
13	—	—	118,974	97,086
14	—	—	94,305	92,895
昭和1	—	—	148,476	133,858
2	—	—	98,476	85,271
3	13,685担	41,055圓	120,670	134,486
4	16,546	46,298	167,695	233,087
5	22,314	58,369	53,180	59,757

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數 量	價 額
山 口	5,813瓦	16,298圓
和歌山	3,296	9,582

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數 量	價 額
英 吉 利	165擔	17千圓
佛 蘭 西	370	43
獨 逸	201	22
伊 太 利	330	35
瑞 西	141	15

◎外國競争者

佛蘭西産品、伊太利産及び英國産品等にして、伊太利には原料枸橼汁の生産多く、英、佛等の産品も大部分伊太利産枸橼汁を原料とせるものである。故に伊太利産品は競争上最も有利なる立場に在る。

◎輸入の主要原因

本品の需要は逐年増加するに拘はらず、國內生産は之に伴はざるがためである。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は品質に於て輸入品に劣らないが、價格は概して割高であるのみならず、大規模の生産者なきため一時に多量の買入をなすに不便が甚くない。

◎輸入防止の主要處置

柑橘類の國産は豊富なるを以て、その主産地民の副業的生産を奨励し又は主産地に粗製製造工場を建設する等適策を講ずべきである。

一〇三、苛性曹達

苛性曹達は水酸化ナトリウムにして食鹽の溶液に電氣を通じて製す。本品は石鹼製造、石油精製、製紙の木纖維溶劑、化學藥品及水硝子の製造、木綿の漂白、染色劑等に用ひら

額 價 額
275,201圓
3,974,741
3,152,359
2,604,722
3,819,853
5,380,092
5,699,139
8,201,121
6,004,043
5,009,829

額(昭和三年)

價 額
4,529千圓
344
175
3,151

- シーベルヘグナー商會 (東京)
- 濱野商店 (〳)
- 小原商店 (〳)
- 株式會社岩井商店 (大阪)
- 株式會社長瀬商店 (〳)



一〇〇斤に付——三三圓

◎主要生産者

本品の生産は概ね小規模にして特掲すべきものなし。

◎主要輸入者

株式会社武田長兵衛商店(大阪)  
株式会社長瀬商店 (〳)  
此の外東京、大阪その他各地の業者者に依つて直接輸入さる。

一〇三、苛性曹達

苛性曹達は水酸化ナトリウムにして食鹽の溶液に電氣を通じて製す。本品は石鹼製造、石油精製、製紙の木纖維溶劑、化學藥品及水硝子の製造、木綿の漂白、染色劑等に用ひられ、需要頗る多く、内地生産不足の爲め巨額の輸入を見つゝある。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——一圓五〇錢

◎主要生産者

日本曹達株式会社 (東京)  
大日本人造肥料株式会社 (〳)  
北海曹達株式会社 (〳)  
東海曹達株式会社 (〳)  
ラサ島燐礦株式会社 (〳)  
旭電化工業株式会社 (〳)  
三井鑛山株式会社 (〳)  
保土谷曹達工場 (神奈川)  
大阪曹達株式会社 (大阪)  
南海晒粉株式会社 (和歌山)  
福島電燈株式会社 (福島)  
土佐硫曹株式会社 (高知)  
◎主要輸入者  
三井物産株式会社 (東京)

	國 産 額			輸 入 額	
	數量	價 額		數量	價 額
大正10	26,420,423封度	1,927,765圓	.....	21,744擔	275,201圓
11	19,346,492	1,651,695	.....	348,781	3,974,741
12	43,198,016	4,082,754	.....	317,996	3,152,359
13	47,804,008	4,475,040	.....	259,056	2,604,722
14	56,048,164	5,210,755	.....	369,225	3,819,853
昭和 1	55,865,431	4,687,061	.....	603,476	5,380,092
2	53,116,722	4,279,104	.....	682,429	5,699,139
3	63,271,194	5,191,691	.....	976,547	8,201,121
4	63,328,050	5,312,597	.....	706,459	6,004,043
5	64,001,589	5,502,364	.....	626,525	5,009,829

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東 京	19,828,478封度	1,708,201圓
新 潟	5,186,950	425,330
富 山	5,533,553	453,915
愛 知	3,810,300	285,700
山 口	16,105,850	1,368,997

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
英 吉 利	550,786擔	4,529千圓
佛 蘭 西	45,747	344
獨 逸	19,878	175
北 米	360,136	3,151

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
山 口	5,813瓦	16,500
和歌山	3,296	9,000

ないが、價格は概して割高であるのみならず、大規模の生産者なきため一時に多量の買入をなすに不便が甚くない。

◎輸入防止の主要處置

柑橘類の國産は豊富なるを以て、その主産地民の副業的生産を奨励し又は主産地に粗製製造工場を建設する等適策を講ずべきである。

◎外國競争者

シーベルヘグナー商會 (東京)  
濱野商店 (〳)  
小原商店 (〳)  
株式会社岩井商店 (大阪)  
株式会社長瀬商店 (〳)  
安宅商會 (〳)  
ブランナーモンド會社 (英國)  
ケストナーアルカリ會社 (〳)  
ユナイテッドアルカリ會社(米國)  
ミシガンアルカリ會社 (〳)  
ソルヴェイプロツセス會社(〳)

◎輸入の主要原因

國産品は主として電氣分解法に依るため、その副産物たる鹽素の用途に制限せられて常に生産不足である加ふるに輸入品は價格頗る低廉なるがためである。

◎輸入防止の主要處置

食鹽の原價引下をなす事、輸入關稅を引上げる事、鹽素の利用法を研究する事、晒粉の使用奨励及輸出奨勵をなす事、電力の廉價供給を圖る事等が最急務である。



一〇四、曹達灰及天然曹達

曹達灰及天然曹達は工業上頗る重要なるものにして、苛性曹達及び曹達鹽類の原料、陶器、硝子、石鹼の製造及び製紙、染色、洗濯等各方面に利用さる。海藻その他の灰中に含まれ、或は鹼水湖中に溶解して天然に産出するものと、食鹽溶液より電氣分解法に依つて人工的に製せるものがある。本邦に於ては天然曹達の産出なく、曹達灰の生産は逐年増加しつゝあるが、尙ほ國內需要を充すに至らずして、海外諸國より多量輸入されつゝある。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——三五錢

◎主要生産者

旭硝子株式會社 (東京)  
日本曹達工業株式會社 (山口)

◎主要輸入者

日本ブランドナーモンド株式會社  
太陽曹達株式會社  
(前者は英國ブランドナーモンド會社の代理店、後者は英國マガジー曹達會社代理店である)

國産額		輸入額	
數量	價額	數量	價額
大正10	15,563,548封度	728,480圓	735,285擔
11	17,218,922	1,696,806	1,553,889
12	16,441,774	434,746	1,533,054
13	4,413,271	725,453	1,981,632
14	24,607,824	1,108,252	2,167,815
昭和1	38,178,913	872,684	610,570
2	50,993,006	2,087,284	1,673,896
3	68,182,362	2,475,880	1,301,810
4	67,895,020	2,382,358	1,318,594
5	69,772,356	2,501,588	1,086,759

(曹達灰の産額)

主要府縣別生産額

縣名	數量	價額
山口	13,226,897封度	548,916圓
福岡	54,955,465	1,926,964

主要國別輸入額

國名	數量	價額
支那	122,629擔	551千圓
英吉利	248,137	975
北米	122,709	478
東部アフリカ	633,308	2,477
其他アフリカ諸國	184,024	680

◎外國競争者

ブランドナーモンド會社 (英國)  
マガシー曹達會社 (シ)  
ユニナイテッドアルカリ會社(米)  
右三社は經營上及販賣上同一系統と見做すべく、相互間の競争は全然行はれず、提携一致して國産品と競争しつゝある。

◎輸入の主要原因

需要の激増に比し生産之に伴はざるが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は品價に於て毫も輸入品に劣らないが、價格に於て外國會社と競争することが困難である。

◎輸入防止の主要處置

内地生産の増加を圖ることが第一義である。其の方策としては關稅の引上げその他に依つて外國品の廉賣を防止する事、原料食鹽を安價に供給して生産費を低下せしむる事當業者に對して奨勵金を交付する事等が最も肝要である。

一〇五、重炭酸曹達

重炭酸曹達は炭酸曹達に炭酸瓦斯を通じて製したる白色結晶性粉末又は結晶塊にして、稍々アルカリ性の鹹味を有す。本品は制酸劑、含嗽劑吸入藥等として醫藥上に用ひられ。

額
787,517圓
599,002
916,838
752,753
530,391
771,757
803,913
703,569
742,854
302,843

(昭和三年)

價額
579千圓
122

◎外國競争者

に於ける貿易業者の手を経て輸入されるが、特に本品の専門取扱者として掲ぐべきものはない。



◎主要生産者

旭硝子株式会社 (東京)  
日本曹達工業株式会社 (山口)

◎主要輸入者

日本ブランナーモンド株式会社  
太陽曹達株式会社  
(前者は英國ブランナーモンド會社の代理店、後者は英國マガジ1曹達會社代理店である)

一〇五、重炭酸曹達

重炭酸曹達は炭酸曹達に炭酸瓦斯を通じて製したる白色結晶性粉末又は結晶塊にして、稍々アルカリ性の鹹味を有す。本品は制酸劑、含嗽劑吸入藥等として醫療上に用ひられ。又工業上に於てはソーダ水其他の沸騰性飲料水の原料、ペーキングパウダーの原料等に供せらるゝ、外染色、捺染等に應用せらる。本邦に於ては生産額僅少なるため、國內需要の大部分は輸入さる。

輸入品の包装は樽入又は袋入にして、一個の重量二二二封度内外が普通である。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——九五錢

◎主要生産者

旭硝子株式会社 (東京)

◎主要輸入者

日本ブランナーモンド會社(神戸)  
本品の輸入は英國産品が大部分を占め、英國産品の殆んど全部はブランナーモンド社の製品である。此の外米國産品その他は神戸、大阪方面

	國 産		輸 入	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	15,298圓	10,812,769斤	787,517圓
11	—	22,385	8,776,260	599,002
12	—	108,456	15,432,818	916,838
13	—	52,098	12,904,405	752,753
14	—	53,269	7,105,465	530,391
昭和 1	—	37,288	12,073,496	771,757
2	—	68,293	12,829,172	803,913
3	—	77,124	11,925,166	703,569
4	—	75,296	13,179,700	742,854
5	—	60,283	5,896,500	302,843

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東 京	—	41,296圓
福 岡	—	7,863
大 阪	—	4,126

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
英 吉 利	97,388斤	579千圓
北 米	21,703	122

主要府縣別生産額

縣 名	數量	價 額
山 口	13,226,897封度	548,9
福 岡	54,955,465	1,926,9

(曹達灰の産額)

劣らないが、價格に於て外國會社と競争することが困難である。

◎輸入防止の主要處置

内地生産の増加を圖ることが第一義である。其の方策としては關稅の引上げその他に依つて外國品の廉賣を防止する事、原料食鹽を安價に供給して生産費を低下せしむる事當業者に對して獎勵金を交付する事等が最も肝要である。

に於ける貿易業者の手を経て輸入されるが、特に本品の専門取扱者として掲ぐべきものはない。

◎外國競争者

ブランナーモンド社の製品斷然第一位を占め、米國製品之に次ぐ。

◎輸入の主要原因

本邦に於ける生産は頗る微々たるものにして、到底内地需要を満すに足らず、而も原料その他の關係上輸入品よりも安價に生産することは困難なるため、大規模生産を企圖するものなき故である。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は品質に於て輸入品に遜色を認めないが、價格は輸入品よりも高價である。

◎輸入防止の主要處置

曹達工業の全般的進歩を期し、原料食鹽の安價供給、當業者に對する保護獎勵、外國品の壓迫除去、生産者に對する低利資金貸付等を政府に於て速かに實行するの外なし。



一〇六、硅酸曹達

硅酸曹達は硅砂に曹達を加へて製したるものにして、白色結晶様の固塊又は無色透明の濃稠液をなす故に俗に之を水硝子と呼ぶ。主たる用途は硅酸石鹼の原料、染工用の固着劑、石材の接合劑、木材、紙及織布等の防火劑等である。従來主として輸入に仰ぎつゝあつたが、近年内地生産の増加に依り、輸入は激減した。輸入品の包装は普通樽入にして一樽五六〇封度内外である。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——一圓

◎主要生産者

日本製錬株式會社 (東京)

◎主要輸入者

株式會社武田長兵衛商店(大阪)  
株式會社岩井商店 (シ)  
日本ブランチーモンド會社(神戸)

◎外國競争者

ブランチーモンド會社 (英國)  
クロスフィールド會社 (シ)  
T・R 硅酸曹達 (米國)

年次	國産		輸入	
	數量	價額	數量	價額
大正10	3,358,718封度	221,000圓	—斤	—圓
11	1,853,333	108,400	—	—
12	2,276,000	120,000	—	—
13	4,666,000	276,000	2,334,159	151,634
14	—	—	2,837,486	228,524
昭和1	—	—	2,359,468	194,562
2	7,490,000	406,800	1,121,299	87,378
3	12,368,500	606,935	—	—
4	5,694,300	286,549	—	—
5	9,865,400	526,345	—	—

(輸入僅少)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	11,400,000封度	560,000圓
兵庫	968,500	46,935

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	1,426,283斤	117,791圓
北米	849,262	65,551
獨逸	528,404	42,131
白耳義	33,537	3,011

此の外獨逸品は大正末期より猛烈に割込運動を試み、是等各社間の競争は相當激烈であつたが、近來内地増産のため、輸入は極く微々たるものとなり、勢ひ外國競争者の勢力も振はない。

◎輸入の主要原因

國內に於ける生産能力は優に國內需要を充し得るに拘らず需要者が外國品を歓迎する傾向あり、加ふるに外國會社は犠牲を辭せずして賣込みに努め、又品質に於ても外國品が幾分優良であつた爲め、内地産品の需要は思はしくなかつたが、現今に於ては内地品の需要漸次増加し、輸入額は激減した。

◎輸入品と國産品の優劣

品質に於ては大差なく、或種のものに對しては國産品寧ろ優良であるが、價格に於ては概して外國品が低廉である。

◎輸入防止の主要處置

原料の一たる曹達灰の安價供給を圖り、一方關稅を引上ぐる事。

一〇七、硝酸加里

硝酸加里は含窒有機物が硝酸に變じ、地中のアルカリ土質と化合して生ずる一種の鹽類にして、六角稜柱狀の結晶をなし清涼なる鹹味を有す(攝氏三四〇度で於て溶融し、火中

年次	價額
大正10	160,251圓
11	331,858
12	129,496
13	322,934
14	168,534
昭和1	135,698
2	102,458
3	95,056
4	100,124
5	176,524

(昭和三年)

價額
92,462圓
1,824

◎主要輸入者

ハーアールレンス繼續社 (東京)

◎外國競争者



一〇七、硝酸加里

硝酸加里は含窒有機物が硝酸に變じ、地中のアルカリ土質と化合して生ずる一種の鹽類にして、六角稜柱狀の結晶をなし清涼なる鹹味を有す攝氏三四〇度に於て熔融し、火中に投ずれば爆發燃焼する特性を有するを以て、火藥、烟火等の原料に供せられ又硝酸、硝子等の原料、或は染布、冶金等に應用せられて用途頗る廣汎である。從來大部分輸入に仰ぎつゝあつたが、現今に於ては國內生産増加のため、殆んど自給自足の域に達した。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——三圓〇五錢

◎主要生産者

- 日本化學工業株式會社 (東京)
  - 株式會社鈴木商店 (シ)
  - 武田工業所 (シ)
  - 森興業株式會社 (千葉)
- 此の外副業的生産者多數あり。

	國 産		輸 入	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	739,184封度	131,997圓	945,966斤	160,251圓
11	2,780,241	507,768	2,148,634	331,858
12	267,738	54,161	886,025	129,496
13	630,202	70,832	2,012,435	322,934
14	428,810	75,814	967,818	168,534
昭和1	3,077,738	450,198	765,442	135,698
2	2,438,335	318,969	581,964	102,458
3	2,234,448	515,127	379,688	95,056
4	2,368,996	511,298	399,564	100,124
5	2,868,456	539,989	582,124	176,524

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
千 葉	707,484封度	93,090圓
東 京	1,241,164	195,007
靜 岡	119,800	19,030
大 阪	166,000	208,000

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
獨 逸	356,129斤	92,462圓
北 米	7,865	1,824

- ◎主要輸入者
- 株式會社武田長兵衛商店(大阪)
  - 株式會社岩井商店 (シ)
  - 日本ブランナーモンド會社(神戸)
- ◎外國競争者
- ブランナーモンド會社 (英國)
  - クロスフィールド會社 (シ)
  - T・B・硅酸曹達 (米國)

	國 産	
	數量	價 額
大正10	3,358,718封度	
11	1,853,333	
12	2,276,000	
13	4,666,000	
14	—	
昭和1	—	
2	7,490,000	
3	12,368,500	
4	5,694,300	
5	9,865,400	

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東 京	11,400,000封度	568,000
兵 庫	968,500	48,000

◎輸入品と國産品の優劣

品質に於ては大差なく、或種のものに對しては國産品寧ろ優良であるが、價格に於ては概して外國品が低廉である。

◎輸入防止の主要處置

原料の一たる曹達灰の安價供給を圖り、一方關稅を引上ぐる事。

◎主要輸入者

ハーアールレンス繼續社 (東京)

◎外國競争者

パジエツシユ會社 (獨逸)

◎輸入の主要原因

輸入品は鑛産物を原料として製したるもの多く、鑛産物原料は安價なるため自然製品も安價であるが、國産品は鹽化加里と硝酸曹達とを原料とし、鹽化加里は更に海草を原料として製し硝酸曹達は國産なく南米チリより輸入せるものであるため、生産費、高價である。是れ本品輸入の主因である。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は品質に於て毫も外國品に劣らないが、價格に於ては尙ほ幾分割高である。

◎輸入防止の主要處置

關稅引上げ以來輸入額漸減し、現在に於ては殆んど問題とするに足らざるを以て防止の必要なし。



一〇八、硫酸加里

硫酸加里は炭酸加里製造その他化學藥品製造の副産物として多量に得らる。無色堅硬の四角形又は六角形の稜柱狀結晶にして苦味及鹹味を有す。硝子、明礬及加里鹽類の原料に供せられ、又肥料に用ひらる。國內生産は需要を充すに足らずして、輸入額逐年増加の傾向がある。

◎輸入税率

無税

◎主要生産者

日本化學工業株式會社 (東京)

◎主要輸入者

三井物産株式會社 (東京)

日本カーロローデ株式會社(ク)

◎外國競争者

獨逸産品最も優勢にして、英國産品、白耳義産品等之に次ぐ。

◎輸入の主要原因

本邦に於ける化學工業は近來長足の進歩をなしつつあるも、尙ほ獨逸米國、英國等に比して及ばざること

	國産		輸入	
	數量	價額	數量	價額
大正10	1,205,047貫	600,909圓	1,985,525斤	224,044圓
11	1,614,602	533,944	12,483,968	1,003,560
12	781,582	327,519	8,103,531	544,499
13	193,702	85,404	21,530,357	1,412,487
14	22,838	9,850	36,329,668	2,678,336
昭和1	154,699	61,369	44,597,181	3,353,353
2	16,200	7,592	52,764,630	4,241,277
3	160,663	71,022	58,505,684	4,493,733
4	198,456	78,654	90,339,100	6,672,682
5	174,259	72,463	113,026,000	7,699,496

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	85,296貫	35,249圓
愛知	42,168	19,865
大阪	30,543	16,124

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
支那	6,671擔	31千圓
英吉利	21,097	161
佛蘭西	6,773	47
獨逸	528,756	4,031
白耳義	22,094	194
北米	3,899	27

遠く、加里工業の如きも微々として振はざるため、副産物として生産される。本品の生産量は頗る僅少額である。然るに本品を原料とする硝子製造その他の工業は相當進歩し、本品の需要は逐年増加し供給不足を告げつつある。是れ本品輸入の主たる原因であるが、又國內に於て本品を製造するも、原料その他の關係上到底輸入品の如き廉價を以て生産し得る可能性に乏しきことは、益々輸入増加を見る所以である。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は品質粗悪にして到底輸入品と比較し得ず、僅に低級品を以て一部の需要に充てるに過ぎざる状態である。

◎輸入防止の主要處置

本品の需要は逐年増加し、毎度數百萬圓の輸入を見つゝあるを以て、大いに國産を振興して輸入を防遏する必要あり。その手段としては本品の生産者に奨励金を交附し、或は原料の増産を圖り、或は低利資金を供給する等適宜の處置を講ずべし。

一〇九、重クローム酸加里

重クローム酸加里はクローム酸加里に硫酸又は硝酸を作用せしめて製したるものにして、赤色稜柱狀の美麗なる結晶をなし、微かなる甜味あ

額  
價額

199,323圓
779,465
476,157
409,736
177,127
139,198
155,809
170,257
93,227
116,058

昭和三年)

價額

37千圓

130

◎外國競争者

小西安兵衛商店 (東京)  
デラカンピューパー商會(神戸)  
日本ブランナーモンド會社(ク)



日本カールローデ株式會社(ク)

◎外國競争者

獨逸産品最も優勢にして、英國産品、白耳義産品等之に次ぐ。

◎輸入の主要原因

本邦に於ける化學工業は近來長足の進歩をなしつつあるも、尙ほ獨逸米國、英國等に比して及ばざること

國 産

年次	數量	價 額
大正10	1,205,047貫	
11	1,614,602	
12	781,582	
13	193,702	
14	22,838	
昭和 1	154,699	
2	16,200	
3	160,663	
4	198,456	
5	174,259	

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東 京	85,296貫	35
愛 知	42,168	19
大 阪	30,543	16

◎輸入防止の主要處置

本品の需要は逐年増加し、毎度數百萬圓の輸入を見つゝあるを以て、大いに國産を振興して輸入を防遏する必要あり。その手段としては本品の生産者に奨励金を交付し、或は原料の増産を圖り、或は低利資金を供給する等適宜の處置を講ずべし。

一〇九、重クローム酸加里

重クローム酸加里はクローム酸加里に硫酸又は硝酸を作用せしめて製したるものにして、赤色稜柱狀の美麗なる結晶をなし、微かなる甘味あり收斂性を有す。本品は媒染劑及拔染劑として染色上に用ひられる外寫真石版に應用され、或はクロミウム鹽類、顔料等の原料に供せられる等、工業用頗る有用品である。歐州大戰當時及直後に於ては國內に於て相當生産されたが、歐州品の出廻るに及んで甚だしく壓迫され、漸次衰微して現在に於ては需要の殆んど全部輸入される状態となつた。

輸 入 額

年次	數量	價 額	數量	價 額
大正10	559,650封度	223,252圓	536,538斤	199,323圓
11	21,500	70,250	2,379,559	779,465
12	1,000,000	270,000	1,603,368	476,157
13	909,000	222,000	1,368,288	409,736
14	1,706,950	396,375	665,663	177,127
昭和 1	1,257,200	302,459	594,875	139,198
2	1,859,300	412,358	728,042	155,809
3	1,863,200	421,259	754,703	170,257
4	1,321,400	351,488	401,982	93,227
5	1,562,900	379,963	557,831	116,058

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
英 吉 利	1,569擔	37千圓
獨 逸	5,893	130

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東 京	1,128,000封度	285,659圓
大 阪	19,000	3,598

◎外國競争者

獨逸産品、英國産品及米國産品にして、英國産品は日本ブランナーモンド社の手を通じて盛んに輸入されたが、大正十四年以來獨逸品は盛んに賣込みをなし、廉價供給を以て英米品と競争の結果終に兩者を壓倒し現今に於ては輸入品の大部分は獨逸産品である。

◎輸入の主要原因

國産品の不足、及び外國品は價格低廉なるが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

各國品共に夫々特徴はあるが、品質に於ては英、米、獨及國産品の何れも略同等である。

◎輸入防止の主要處置

原料曹達灰及び石炭の安價供給策生産業者の保護奨励策等に依り、國産の振興を圖る外なし。

◎主要生産者

日本製錬株式會社 (東京)

◎主要輸入者

- 株式會社長瀬商店 (大阪)
- 株式會社稻畑商店 (ク)
- 株式會社岩井商店 (ク)
- 大阪合同株式會社 (ク)
- 春元商業株式會社 (ク)



一一〇、重クローム酸曹達

本品はクローム酸曹達に硫酸又は硝酸を作用せしめて製したるものにして、綿布の浸染、染工の媒染劑及び拔染劑等を始めとし、皮革、電池、インキ等の製造に用ひらる。

輸入品の包装は樽入にして一樽の重量一一二封度乃至八九六封度が普通である。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——五圓一〇銭

◎主要生産者

日本製錬株式會社 (東京)

◎主要輸入者

株式會社長瀬商店 (大阪)  
株式會社稻畑商店 (〃)  
大阪合同株式會社 (〃)  
春元商業株式會社 (〃)  
株式會社岩井商店 (〃)  
小西安兵衛商店 (東京)  
デラカンピューパー商會(神戸)  
日本ブランナーモンド會社(〃)

◎外國競争者

英國産品、獨逸産品及北米産品に

國産額			輸入額		
年次	數量	價額	年次	數量	價額
大正10	——封度	——圓	.....	409,553斤	136,809圓
11	——	——	.....	1,471,148	343,628
12	——	——	.....	116,724	25,091
13	338,000	61,000	.....	99,816	24,560
14	345,000	63,000	.....	1,452,392	318,793
昭和1	412,000	65,000	.....	2,009,046	346,080
2	425,000	66,000	.....	1,392,827	232,279
3	542,000	71,000	.....	2,267,963	394,103
4	384,000	63,000	.....	1,326,900	250,385
5	392,000	63,000	.....	618,300	103,785

(推定産額)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	329,000封度	58,000圓
大阪	35,000	6,000

(推定産額)

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
獨逸	5,936擔	105千圓
北米	16,706	287

◎輸入の主要原因

國內に於ける産生能力は必ずしも國內需要を充すに足らざるものではないが、外國品は廉價に輸入されるため之に對抗し得ずして生産を手控えつゝある。故に供給不足を告げ外品の輸入は益々増加す。

◎輸入品と國産品の優劣

外見的色彩乃至形狀に於ては夫々相異なる點が尠くないが、品質に於ては何等の優劣を認めない。但し價格は國産品が割高である。

◎輸入防止の主要處置

本品も亦重クローム酸加里と同様に、原料曹達灰及燃料石炭の安價供給策を講じ、其他生産者の保護獎勵策を確立することが急務である。

◎外國競争者

輸入殆んどなく、従つて外國競争者を見做すべきものなし。

◎輸入の主要原因

ヨード加里は苛性加里にヨードを作用せしめたるものにして、無色又は白色の骰子形結晶をなし苛烈なる鹹味を有す。醫療上に於ては微毒性諸症、腺病性諸症リウマチスその他

一一一、ヨード加里

年次	數量	價額
大正10	——	——圓
11	——	——
12	——	——
13	4,113	967
14	——	——
昭和1	——	——
2	——	——
3	——	——
4	——	——
5	——	——

(推定産額)

縣名	數量	價額
東京	——	——
大阪	——	——

(推定産額)

殆んどなし



大阪合同株式会社 (シ)  
 春元商業株式会社 (シ)  
 株式會社岩井商店 (シ)  
 小西安兵衛商店 (東京)  
 デラカンピューター會社(神戸)  
 日本ブランナーモンド會社(シ)

◎外國競争者

英國産品、獨逸産品及北米産品に

一、ヨード加里

ヨード加里は苛性加里にヨードを作用せしめたるものにして、無色又は白色の骰子形結晶をなし苛烈なる鹹味を有す。醫療上に於ては微毒性諸症、腺病性諸症リウマチスその他の藥劑に用ひられ、工業上に於ては顔料製造寫眞等に應用さる。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——一二二圓

◎主要生産者

日本化學工業株式会社 (東京)  
 株式會社鈴木商店 (シ)  
 日本ヨード株式会社 (シ)  
 森工業株式会社 (千葉)  
 大阪鑛業株式会社 (大阪)  
 三重沃度製造株式会社 (三重)

◎主要輸入者

株式會社武田長兵衛商店(大阪)  
 株式會社岩井商店 (シ)

此の外本品の輸入取扱者は多數ありしも、現今に於ては國産額豊富にして、特殊の事情ある場合に限り極く少量の輸入を見るに過ぎざるを以て、特掲すべきものなし。

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	70,512封度	411,609圓	—斤	—圓
11	20,889	168,805	—	—
12	76,279	709,456	—	—
13	97,757	814,519	411	4,113
14	95,737	779,551	63	967
昭和1	125,467	847,090	—	—
2	97,773	714,997	—	—
3	90,213	733,148	—	—
4	99,196	788,214	—	—
5	98,124	734,219	—	—

(輸入殆んどなし)

	國産數量
大正10	—封度
11	—
12	—
13	338,000
14	345,000
昭和1	412,000
2	425,000
3	542,000
4	384,000
5	392,000

(推定産額)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
千葉	2,010封度	14,850圓
東京	25,622	193,306
大阪	62,581	524,863

主要國別輸入額(大正十四年)

國名	數量	價額
獨逸	63斤	967圓

(大正十四年以後輸入殆んどなし)

主要府縣別生産額(推定)

縣名	數量
東京	329,000封度
大阪	35,000

(推定産額)

◎外國競争者

輸入殆んどなく、従つて外國競争者と見做すべきものなし。

◎輸入の主要原因

本品の内地生産量は、内地需要を充して尙ほ過剩あり、少額ながら支那その他海外各地へ輸出されつゝある、従つて何等輸入の必要を見ず輸入の原因と見做すべきものはない。

強いて求むれば爲替關係、相場の變動に依つて、内地品よりも割安となれる場合が即ち本品の輸入される動機となるが、現今に於ては國産品安價なるため、國産品以下の安値を以て輸入し得る場合は稀れである。

◎輸入品と國産品の優劣

國産品は往年屢々外國品の壓迫を蒙つたが、當業者の努力に依つて品質改善され且つ生産費低減され、現在に於ては何等の遜色がなない。

◎輸入防止の主要處置

輸入殆んどなく、従つて特に防止策を講ずる必要はない。

外見的色彩乃至形状に於ては夫々相異なる點が尠くないが、品質に於ては何等の優劣を認めない。但し價格は國産品が割高である。

◎輸入防止の主要處置

本品も亦重クロム酸加里と同様に、原料曹達灰及燃料石炭の安價供給策を講じ、其他生産者の保護獎勵策を確立することが急務である。



一一二、過酸化バリウム及過酸化水素

過酸化バリウムは硝酸バリウムを原料として製したるものにして、主として漂白、及び酸素製造等に用ひらる。

過酸化水素は過酸化バリウムに酸類を作用せしめて製し、又は弗化水素酸を用ひて製す。純粹なるものは無色無臭の液體にして、醫療上に於ては防腐劑及消毒劑或は創傷の洗滌料等に供せられ、工業上に於ては酸化劑及漂白劑として羊毛、木纖維、藁その他の漂白に應用さる。

◎輸入税率

過酸化バリウムは一〇〇斤に付二圓五〇錢  
過酸化水素は價格に對する三割。

◎主要生産者

- 三共株式会社 (東京)
- 大日本製藥株式会社 ( )
- 星製藥株式会社 ( )
- 第一製藥株式会社 ( )
- 丸石製藥株式会社 ( )
- ◎主要輸入者 (東京)
- 三井物産株式会社 (東京)

年次	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	— 疋	— 圓	— 斤	— 圓
11	—	—	—	—
12	—	—	—	—
13	—	—	117,582	43,730
14	—	—	155,367	56,040
昭和1	—	—	—	—
2	—	—	—	—
3	551,275	330,765	186,025 疋	172,306
4	578,459	349,853	—	—
5	783,296	568,291	—	—

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	456,289 疋	289,654 圓
大阪	6,012	3,865

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
獨逸	25,963 斤	10,289 圓
英吉利	109,568	37,569
支那	7,329	3,848
瑞西	1,192	1,114
北米	7,819	1,598

◎外國競争者

主として獨逸産品及英國産品。

◎輸入の主要原因

國産品は生産少く且つ價格概ね高價なるが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

品質に於ては略同等である。

◎輸入防止の主要處置

生産量の増加及生産費の低下に努むることが第一義である。

一一三、明礬

明礬は硫酸アルミニウムと硫酸加里との複鹽にして、加里、曹達、安母尼の三種があるが、普通に所謂明礬は加里明礬である。明礬の用途は頗る廣く、工業上に於ては鞣革、

年次	輸入額
—	— 圓
—	—
—	—
—	23,327
—	1,318
—	—
—	—
—	—
—	—
—	—

年次	價額
大正十四年	936 圓
—	373
—	7
—	2

- 田邊元三郎商店 (東京)
- 岩城市太郎商店 ( )
- 長瀬商店 ( )
- 島久商店 ( )
- 小西安兵衛商店 ( )



過酸化水素は價格に對する三割。

◎主要生産者

- 三井物産株式會社 (東京)
- 大日本製藥株式會社 (〃)
- 星製藥株式會社 (〃)
- 第一製藥株式會社 (〃)
- 丸石製藥株式會社 (〃)

◎主要輸入者

- 三井物産株式會社 (東京)

國 産 額

年次	數量	價 額
大正10	— 疋	—
11	—	—
12	—	—
13	—	—
14	—	—
昭和1	—	—
2	—	—
3	551,275	330,
4	578,459	349,
5	783,296	568,

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東 京	456,289疋	289,65
大 阪	6,012	3,86

◎輸入の主要原因

國産品は生産少く且つ價格概ね高價なるが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

品質に於ては略同等である。

◎輸入防止の主要處置

生産量の増加及生産費の低下に努むることが第一義である。

一 一 三、 明

礬

明礬は硫酸アルミニウムと硫酸加里との複鹽にして、加里、曹達、安母尼の三種があるが、普通に所謂明礬は加里明礬である。明礬の用途は頗る廣く、工業上に於ては鞣革、製紙、染色、寫眞の膠製種板、顔料製造等に用ひられ、或は酒類の清澄劑、防火劑等に應用され、醫療上に於ては止血藥、腐蝕藥等の原料に供せらる。

輸入品の包装は籠入又は麻袋入にして、一個の重量一〇〇斤乃至一〇〇斤である。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——七〇錢

◎主要生産者

- 日本化學工業株式會社 (東京)
- 淺田明礬製造所 (兵庫)

◎主要輸入者

- 三井物産株式會社 (東京)
- 三共株式會社 (〃)
- 島貿易株式會社 (〃)
- シーベルヘグナー商會 (〃)
- 鳥居商店 (〃)

輸 入 額

年次	數量	價 額	數量	價 額
大正10	6,274,965封度	234,681圓	— 斤	— 圓
11	9,939,157	223,972	—	—
12	4,186,206	494,507	—	—
13	3,554,235	219,716	403,217	23,327
14	7,405,262	264,157	15,056	1,318
昭和1	8,716,944	388,730	—	—
2	4,425,029	737,997	—	—
3	9,685,229	330,210	—	—
4	5,863,594	214,096	—	—
5	8,756,296	298,953	—	—

(輸入殆んどなし)

主要國別輸入額(大正十四年)

國 名	數量	價 額
海峽殖民地	6,667斤	936圓
英 吉 利	8,350	373
獨 逸	15	7
佛 蘭 西	24	2

◎外國競争者

- 田邊元三郎商店 (東京)
- 岩城市太郎商店 (〃)
- 長瀬商店 (〃)
- 島久商店 (〃)
- 小西安兵衛商店 (〃)
- 小西新兵衛商店 (〃)
- 海老原直一郎商店 (〃)
- 岩井商店東京支店 (〃)
- 藤澤友吉商店 (大阪)
- 田邊五兵衛商店 (〃)

支那浙江省及福建省の產品が一時盛んに輸入され、又英國品、海峽殖民地品も相當輸入されたが、近來輸入殆んどなし。

◎輸入品と國産品の優劣

品質及び價格共に優劣なし。

◎輸入の主要原因

國産品不足の場合、その他特殊の事情ある場合のみ輸入さる。

◎輸入防止の主要處置

輸入額僅少なるを以て、特に防止策を講ずる必要はない。

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東 京	15,666封度	3,603圓
神奈川	—	8,534
愛 知	4,060,891	152,895
大 阪	1,156	185
兵 庫	5,607,516	164,993



一一四、フェロ青化曹達及フェロ青化加里

フェロ青化曹達は鐵又は鐵の化合物に青化曹達を加へて製したるものにして、黄色單斜形の結晶をなし、染色及顔料の製造等に用ひらる。

フェロ青化加里は含窒素有機物の炭化せるものに炭酸加里を加へて製す。純粹なるものは黄色八面形の結晶にして苦味を有し、染色、捺染、寫眞及白色火藥、爆發藥の製造に應用せらる。

兩品とも内地生産不足にして、需要の大部分は歐米より輸入さる。輸入品の包装は普通罐入にして、五六封度入二罐又は二八封度入四罐を以て一箱とす。

◎輸入税率

フェロ青化曹達は一〇〇斤に付二圓九〇錢。フェロ青化加里は一〇〇斤に付五圓。

◎主要生産者

川藤合名會社 (大阪)

◎主要輸入者

三共株式會社 (東京)  
三井物産株式會社 (シ)

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	266,600オンス	205,110圓	—斤	—圓
11	293,200	190,880	—	—
12	96,000	67,200	—	—
13	108,000	57,240	1,110,385	426,318
14	120,000	51,600	554,730	232,398
昭和1	156,000	63,250	—	—
2	198,000	70,000	—	—
3	256,000	95,000	1,046,204	400,416
4	354,000	121,000	902,874	345,389
5	423,000	176,000	1,008,916	355,786

(推定産額)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
大阪	200,000オンス	70,000圓
東京	20,000	7,000

(推定産額)

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	7,728百斤	335千圓
獨逸	1	0
北米	2,733	64

◎外國競争者

英國産品、獨逸産品、米國産品。

◎輸入の主要原因

主として國産不足に因る。

◎輸入品と國産品の優劣

品質に於ては略同様である。

◎輸入防止の主要處置

國內の生産増加を奨励し、又關稅率の引上げをなす事が肝要である。

◎外國競争者

獨逸バデンシュ・アニリン・ソーダ會社製品、及び英國ブランドナーモンド會社製品は代表的競争者にして、ブ

一一五、鹽化アムモニウム

鹽化アムモニウムはアムモニアと格魯水素瓦斯の化合物より生成せる白色結晶性の粉末又は纖維狀の堅き結晶塊にして、醫療上に於ては吸入藥祛痰藥等に用ひられ、工業上に於ては金屬の淨着劑、起寒劑、アンモ

入額	價額
354,443圓	
867,250	
599,540	
791,839	
340,936	
729,376	
551,815	
616,328	
401,124	
296,506	

額(昭和三年)

價額
316千圓
296
1
1



◎輸入税率

フェロ青化曹達は一〇〇斤に付二圓九〇錢。フェロ青化加里は一〇〇斤に付五圓。

◎主要生産者

川藤合名會社 (大阪)

◎主要輸入者

三共株式會社 (東京)  
三井物産株式會社 (〃)

一一五、鹽化アムモニウム

鹽化アムモニウムはアムモニアと格魯水素瓦斯の化合物より生成せる白色結晶性の粉末又は纖維狀の堅き結晶塊にして、醫療上に於ては吸入藥祛痰藥等に用ひられ、工業上に於ては金屬の鍍着劑、起寒劑、アンモニア鹽類及アンモニア瓦斯の製造原料等に供せらる。本品は内地生産尠きたため、需要の大部分は海外より輸入さる。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——二圓三〇錢

◎主要生産者

眞壁製藥所 (東京)

◎主要輸入者

シーベルヘグナー商會 (東京)  
バデシユ・アニリン・ソーダ會社代表  
表ハーアーレンス會社 (神戸)  
日本ブランナーモンド會社(〃)  
日瑞貿易株式會社 (大阪)

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	18,956圓	1,337,924斤	354,443圓
11	—	112,358	3,798,503	867,250
12	—	124,513	2,947,125	599,540
13	—	130,249	4,429,858	791,839
14	—	101,533	1,895,107	340,936
昭和 1	—	125,362	5,140,599	729,376
2	—	114,298	4,148,204	551,815
3	—	130,569	4,908,133	616,328
4	—	156,291	4,172,100	401,124
5	—	132,654	3,631,900	296,506

	國 産 額	
	數量	價 額
大正10	266,600オンス	205,
11	293,200	190,
12	96,000	67,
13	108,000	57,
14	120,000	51,
昭和 1	156,000	63,
2	198,000	70,
3	256,000	95,
4	354,000	121,
5	423,000	176,

(推定産額)

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東 京	—	63,549圓
大 阪	—	49,263
愛 知	—	9,654

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
英 吉 利	22,052擔	316千圓
獨 逸	26,835	296
白 耳 義	153	1
北 米	41	1

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
大 阪	200,000オンス	70,000
東 京	20,000	7,000

(推定産額)

英國産品、獨逸産品、米國産品。

◎輸入の主要原因

主として國産不足に因る。

◎輸入品と國産品の優劣

品質に於ては略同様である。

◎輸入防止の主要處置

國內の生産増加を奨励し、又關稅率の引上げをなす事が肝要である。

◎外國競争者

獨逸バデシユ・アニリン・ソーダ會社製品、及び英國ブランナーモンド會社製品は代表的競争者にして、ブランナーモンド會社は東京、大阪等に常時在庫品を備へ、獨逸品その他の輸入される場合は隨時價格を引下げて對抗し、獨逸品も亦常に頑強に對抗して兩國製品の間激烈なる競争が續けられて居る。

◎輸入の主要原因

英、獨逸品が互に競争の結果價格低廉に輸入され、内地に於ては是れに對抗し得る生産費を以ては到底製造困難なるため生産振はず、従つて供給不足を告ぐる爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

品質に於ては優劣がないが、價格は國産品が高價である。

◎輸入防止の主要處置

關稅を引上げると共に或る時期まで生産者に奨勵金を下附し、以て内地生産の増加を圖る外なし。



一一六、硫酸アムモニウム (粗製)

本品は石炭ガス製造の副生物たるアムモニウム水より製せる白色六面稜柱状の結晶にして、粗製品は白色、灰色又は青色を呈し窒素を多量に含有するため肥料としての需要頗る多く、又工業上に於ては明礬、苛性アムモニウム及アムモニウム鹽類の製造に供せらる。  
輸入品の包装は、普通二三四封度又は一〇〇疋の麻袋入である。

◎輸入税率

無税

◎主要生産者

- 電氣化學工業株式会社 (東京)
- 東京瓦斯株式会社 (〃)
- 三井鑛山株式会社 (〃)
- 大日本人造肥料株式会社 (〃)
- 株式会社日本製鋼所 (〃)
- 日本窒素肥料株式会社 (大阪)
- 大阪瓦斯株式会社 (〃)
- 八幡製鐵所 (八幡)
- 大同肥料株式会社 (福井)
- 三井物産株式会社 (東京)

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	48,112,340貫	18,694,855圓	1,320,409擔	11,006,040圓
11	20,587,796	14,188,314	1,550,376	12,742,145
12	25,225,370	16,911,943	2,428,840	24,950,609
13	30,401,504	18,617,983	2,806,621	26,542,764
14	26,811,213	19,319,428	3,392,386	33,184,692
昭和1	28,475,402	21,036,153	4,933,778	44,962,205
2	37,259,208	20,583,360	4,166,908	32,750,383
3	56,640,995	27,087,612	4,741,341	36,303,949
4	57,687,018	27,668,129	6,344,299	48,086,154
5	61,374,127	33,404,587	5,050,107	29,624,064

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
北海道	516,810貫	268,479圓
新潟	8,888,558	4,514,787
富山	5,566,491	2,565,695
福井	1,373,828	700,653
山口	1,454,100	727,090
福岡	12,514,889	6,083,624
熊本	17,215,857	8,006,870
宮崎	12,006,358	5,684,700

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
關東州	21,891擔	169千圓
英吉利	1,633,577	12,799
獨逸	2,485,309	18,844
白耳義	30,514	230
和蘭	50,533	410
北米	473,602	3,477
加奈陀	23,112	202

◎外國競争者

- 増田屋合資會社 (東京)
- 株式會社鈴鹿商店 (〃)
- 淺野物産株式会社 (〃)
- 三菱商事株式会社 (〃)
- シーベルヘグナー商會 (〃)
- ハイアーレンス繼續社 (神戸)
- 湯淺貿易株式会社 (〃)
- 株式會社安宅商會 (大阪)

◎輸入の主要原因

主として内地需要の激増に因る。

◎輸入品と國産品の優劣

品質は略同等であるが、價格は外國品が低廉である。

◎輸入防止の主要處置

大豆粕その他窒素肥料の増産を圖り、又本品の増産を圖る必要あり。

一一七、炭酸アムモニウム

炭酸アムモニウムは白色透映にして硬き纖維狀結晶を爲し、特異の臭氣及び苛烈の鹹味を有す。醫療上及工業上に用途廣く、醫藥としては祛痰藥、利尿劑、興奮劑等に用ひられ

入額	價額
48,693圓	
239,770	
182,403	
253,528	
119,435	
121,616	
157,613	
117,706	
144,366	
132,010	

額(昭和三年)

價額
65千圓
48

ランナーモンド會社製月印及びC耳が最も優勢にして、神戸の日本ブランナー株式會社が一手に之を取扱つてゐる。獨逸産品の代表的な事はバデッシュ・アニリン・ソーダ會社製椿花



一一七、炭酸アムモニウム

炭酸アムモニウムは白色透映にして硬き纖維狀結晶を爲し、特異の臭氣及び苛烈の鹹味を有す。醫療上及工業上に用途廣く、醫藥としては祛痰藥、利尿劑、興奮劑等に用ひられ工業上に於てはアムモニウム鹽類の製造、色素の溶解等に用ひられ、又菓子、麵粉等を膨脹せしむる材料として一般的需要多し。

輸入品の包装は二八封度の壘入、一一二封度乃至三三六封度の樽入一五疋の罐入等種々ある。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——三圓四五錢

◎主要生産者

日本窒素株式会社 (東京)

◎主要輸入者

ハー・アーレンス繼續社(神戸)  
デラカンプビーパー商會(シ)  
日本ブランナーモンド會社(シ)

◎外國競争者

英國産品及び獨逸産品の間競争激烈にして、英國産品中に於ては

	國 産 額		輸 入 額	
	數量	價 額	數量	價 額
大正10	—	—圓	251,170斤	48,693圓
11	—	—	1,268,339	239,770
12	—	—	1,026,779	182,403
13	—	56,214	1,746,695	253,528
14	—	45,239	554,835	119,435
昭和1	—	48,056	667,523	121,616
2	—	—	1,012,423	157,613
3	—	—	753,356	117,706
4	—	—	1,014,647	144,366
5	—	—	1,092,155	132,010

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東 京	—	45,055圓
大 阪	—	2,023

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
英 吉 利	3,947百斤	65千圓
獨 逸	3,336	48

	國 産 額	
	數量	價 額
大正10	48,112,340貫	18,694,8
11	20,587,796	14,188,3
12	25,225,370	16,911,9
13	30,401,504	18,617,9
14	26,811,213	19,319,4
昭和1	28,475,402	21,036,1
2	37,259,208	20,583,3
3	56,640,995	27,087,6
4	57,687,018	27,668,1
5	61,374,127	33,404,5

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
北海道	516,810貫	268,47
新 潟	8,888,558	4,514,78
富 山	5,566,491	2,565,69
福 井	1,373,828	700,65
山 口	1,454,100	727,09
福 岡	12,514,889	6,083,62
熊 本	17,215,857	8,006,87
宮 崎	12,006,358	5,684,70

◎輸入の主要原因

主として内地需要の激増に因る。

◎輸入品と國産品の優劣

品質は略同等であるが、価格は外國品が低廉である。

◎輸入防止の主要處置

大豆粕その他窒素肥料の増産を圖り、又本品の増産を圖る必要あり。

◎輸入の主要原因

ランナーモンド會社製月印及びC耳が最も優勢にして、神戸の日本ブランナー株式會社が一手に之を取扱つてゐる。獨逸産品の代表的な事はバデン・アニン・ソーダ會社製椿花印にして、デラカンプビーパー商會が専ら之を取扱つてゐる。

ブランナーモンド會社及びバデン・アニン・ソーダ會社は相互間の競争激烈なるのみならず、若し内地に於ける生産盛んとなれば採算以下に價格を引下げて對抗するため、國産品は到底競争困難である。故に内地に於て大量生産を試みる者なく、常に供給不足を告ぐるが爲めに輸入は絶えない。

◎輸入品と國産品の優劣

色合等に於て輸入品は稍々良好であるが、品質に於ては優劣がない。

◎輸入防止の主要處置

外國品の競争を避けるため關稅を高率に引上げ、以て内地生産を保護獎勵することが緊要である。



一一八、醋酸石灰

醋酸石灰は木醋酸製造の副生物として生じたる酸液より製したるものにして、純粹なるものは菱形又は針狀の結晶をなし、絹糸の如き光澤を有す。不純なるもの即ち普通市場に販賣されるものは灰色、白色又は褐色を呈す。本品は醋酸曹達、醋酸鐵、醋酸アルミナ、醋酸マンガンニス等の製造原料に供せられ、又染色上媒染劑として使用さる。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——四一錢

◎主要生産者

日本醋酸製造株式会社 (東京)

◎主要輸入者

米國貿易株式会社 (東京)  
株式会社長瀬商店 (大阪)  
株式会社武田長兵衛商店 ( )  
日本ブランドナーモンド會社(神戸)

◎外國競争者

主として米國産品、加奈陀産品、及び英國産品等にして、英國ブランドナーモンド會社製品は神戸日本ブラ

	國産額		輸入額	
	數量	價額	數量	價額
大正10	951,308封度	87,373圓	112,346擔	781,878圓
11	—	—	153,330	1,041,449
12	—	—	124,195	1,369,488
13	570,862	41,101	147,137	1,702,224
14	683,700	44,653	164,427	1,706,561
昭和1	683,700	44,655	136,966	1,390,076
2	521,092	33,160	112,392	1,188,308
3	1,067,697	90,955	150,138	1,649,767
4	1,186,594	92,780	107,266	1,363,101
5	1,386,050	94,402	26,847	312,152

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
秋田	527,802封度	46,782圓
群馬	539,895	44,173

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英領印度	28,888擔	315千圓
獨逸	819	8
伊太利	33,533	367
北米	79,574	880

ンナーモンド社が一手に之を取扱ひ輸入品中最も普く認められてゐる。

◎輸入の主要原因

諸工業の隆盛に伴れ本品の需要は逐年増加するに拘らず、國內に於ける生産は之に伴はずして供給不足なる爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

國産醋酸石灰には木材乾溜の際生ずる酸液を以て製したるものと、木炭燒窯の煙より採取せるものと、兩種がある。酸液を用ひたるものは輸入品よりも寧ろ優良であるが價格は概して輸入品より高價である。又木炭燒成の際生ずる噴煙より採取せるものは輸入品に比して品質幾分劣等である。

◎輸入防止の主要處置

本邦に於ける木炭の生産額は逐年増加しつつある。故に此の噴煙を利用して醋酸石灰を製出すれば優に内地需要を充し得べく、國家經濟上頗る有利である。故に政府は大いに之を奨励保護すべきである。

一一九、アセトン

アセトンは木材乾溜の副産物中に多量に含有さるゝ無色透明の液體にして、樹脂、ゴム其他有機物質の溶劑に供せられるを始めとし、人造絹糸、假漆、クロロフォルム、沃度フ

額	價額
—	圓
—	—
125,168	—
108,287	—
96,514	—
110,542	—
65,238	—
89,563	—
75,864	—

額(昭和三年)

價額
45,213圓
3,758
5,639
122

◎外國競争者

主として米國産品及獨逸産品等。

◎輸入の主要原因



一一九、アセトン

アセトンは木材乾溜の副産物中に多量に含有さるゝ無色透明の液體にして、樹脂、ゴム其他有機物質の溶劑に供せられるを始めとし、人造絹糸、假漆、クロロフォルム、沃度フォルム、スルフオール、或はセルロイド、無烟火藥等の製造に用ひられ、近年セルロイド工業の勃興に伴ひ需要激増しつゝある。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——一五圓一三錢

◎主要生産者

日本醋酸製造株式会社 (東京)  
大阪化学工業株式会社 (大阪)  
北河製品所 (静岡)

◎主要輸入者

三井物産株式会社 (東京)  
館山貿易株式会社 (〃)  
米國貿易株式会社 (〃)  
甘粕商店 (〃)  
島貿易株式会社 (大阪)  
株式会社長瀬商店 (〃)  
眞鍋商店 (〃)  
日本ブランナーモンド會社(神戸)

	國 産 額		輸 入 額
	數量	價 額	
大正10	1,337,325封度	1,188,900圓	—斤 —圓
11	847,986	548,184	—
12	618,831	433,751	—
13	788,156	571,985	177,956 125,168
14	475,635	258,580	186,017 108,287
昭和1	301,752	149,893	156,219 96,514
2	375,134	194,377	188,233 110,542
3	1,184,506	375,210	98,056 65,238
4	1,163,088	372,263	136,215 89,563
5	1,210,589	400,123	112,456 75,864

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
東 京	175,806封度	87,900圓
靜 岡	600,000	60,000
京 都	2,700	2,160
大 阪	406,000	225,150

主要國別輸入額(昭和三年)

國 名	數量	價 額
北 米	75,453斤	45,213圓
獨 逸	4,563	3,758
加 奈 陀	8,239	5,639
佛 蘭 西	49	122

◎主要輸入者  
米國貿易株式会社 (東京)  
株式会社長瀬商店 (大阪)  
株式会社武田長兵衛商店(〃)  
日本ブランナーモンド會社(神戸)

◎外國競争者  
主として米國産品、加奈陀産品、及び英國産品等にして、英國ブランナーモンド會社製品は神戸日本ブラ

	國 産 額	
	數量	價 額
大正10	951,308封度	87,5
11	—	—
12	—	—
13	570,862	41,
14	683,700	44,
昭和1	683,700	44,
2	521,092	33,
3	1,067,697	90,
4	1,186,594	92,
5	1,386,050	94,

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣 名	數量	價 額
秋 田	527,802封度	46,78
群 馬	539,895	44,17

炭焼成の際生ずる噴煙より採取せるものは輸入品に比して品質幾分劣等である。

◎輸入防止の主要處置

本邦に於ける木炭の生産額は逐年増加しつゝある。故に此の噴煙を利用して醋酸石灰を製出すれば優に内地需要を充し得べく、國家經濟上頗る有利である。故に政府は大いに之を奨励保護すべきである。

◎外國競争者

主として米國産品及獨逸産品等。

◎輸入の主要原因

輸入にはメチールアセトン及び普通のアセトンの二種がある。何れも大規模の生産設備に依つて大量生産される爲國産品よりも價格概して低廉である。加ふるに内地生産は需要を満たすに足らざるが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

メチールアセトンに於ては、輸入品は國産品よりも溶解力稍々劣る。普通アセトンに於ては溶解劑として使用する場合は國産品と略同様であるが、無烟火藥、製藥等の原料として用ふる場合は、輸入品は再三加工して純度を高める必要があり、到底國産品に及ばない。

◎輸入防止の主要處置

輸入は主として價格に因るを以て關稅を引上げる事、内地品の生産費低下に努める事、官廳に於て國産品を使用する事が急務である。



一三〇、フォルマリン

フォルマリンはメチールアルコールの酸化に依つて生ずるフォルムアルデヒドの水溶液より製したる無色透明の液體にして、竄透臭を有し頗る強き殺菌力を有す。故に主として防腐劑及び消毒劑として用ひらる本邦に於ける生産量は需要に充たざる爲め大部分輸入さる。

輸入品の包装は一八〇瓩乃至一八五瓩の樽入、又は三〇瓩入のデミジョンが普通であるが、一封度瓩入五〇個を以て一箱となしたるもの等もある。

◎輸入税率

一〇〇斤に付——五圓一〇錢

◎主要生産者

日本醋酸製造株式会社 (東京)

◎主要輸入者

三井物産株式会社 (東京)  
 内外貿易株式会社 (シ)  
 米國貿易株式会社 (シ)  
 株式会社武田長兵衛商店(大阪)  
 日瑞貿易株式会社 (シ)  
 島貿易株式会社 (シ)

國産		輸入	
數量	價額	數量	價額
大正10	9,586圓	454,273斤	209,209圓
11	10,259	1,061,201	359,678
12	18,765	825,235	356,447
13	18,258	1,523,949	624,559
14	41,562	1,307,330	483,927
昭和1	36,958	1,988,656	663,267
2	58,296	2,085,836	607,601
3	77,255	559,064	148,686
4	92,233	814,864	197,486
5	96,542	862,092	166,479

主要府縣別生産額(昭和三年)

縣名	數量	價額
東京	—	56,543圓
大阪	—	11,029

主要國別輸入額(昭和三年)

國名	數量	價額
英吉利	201百斤	6千圓
獨逸	243	8
北米	5,147	132

◎外國競争者

米國産品及獨逸産品が主たる競争者であるが、近來價格その他に於て米國産品は常に獨逸を壓迫し、輸入の大部分を占めてゐる。

◎輸入の主要原因

本品の國內に於ける需要は逐年増加しつゝあるに拘らず、國內に於ける生産は常に外國品に壓迫されて振はず、外國品と同等以下の安價を以て多量に生産する事頗る困難なる状態に在るが爲めである。

◎輸入品と國産品の優劣

内地に於ける生産は單に價格に於て外國品と對抗し難きに過ぎず、品質に於ては何等遜色がない。

◎輸入防止の主要處置

關稅を現在以上に引上げて内地品の外國品對抗を可能ならしめると共に、原料木精の生産を豊富ならしめることが肝要である。

ハー・アレックス繼續社 (神戸)  
 オットライメル社 (シ)

一一一、木

精

木精即ちメチールアルコールは木材乾溜の際生ずる粗製木醋より製したるものにして、純粹品は無色の液體であるが、粗製品は黄色である。本品は主として樹脂、揮發油等の溶

額	價額
250,388圓	
262,984	
276,153	
591,871	
438,912	
340,828	
640,656	
753,419	
1,174,827	
703,241	

額(昭和三年)

價額
0千圓
0
495
62
194

◎外國競争者

株式会社長瀬商店 (大阪)  
 日瑞貿易株式会社 (シ)  
 島貿易株式会社 (シ)